令和３年度　自 己 点 検・評 価 報 告 書

令和４年６月

長崎大学

はじめに

平成14年11月の学校教育法の改正に伴い、すべての大学において、自己点検・評価の実施及び認証評価の受審が法的に義務付けられました。第109条１項には「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価をおこない、その結果を公表するものとする。」と定められています。これまで、本学においては、この第109条１項で規定されている「自己点検及び評価」と学校教育法第109条2項で規定されている認証評価機関による評価（認証評価）における「自己評価」を兼ねて行い、その結果は「自己評価書」としてすでに公表しています。

しかし、認証評価は7年に一度の実施であり、教育研究活動等の質保証のためには、継続して教育研究の質の向上・改善に努めることが肝要であるという観点から、令和２年２月には、長崎大学計画・評価本部規則の計画・評価本部の業務に「学校教育法(昭和22年法律第26号)第109条第１項に規定する本学の教育研究等の状況について自ら行う点検及び評価(以下「自己点検・評価」という。)に関する業務」を追加する改訂を行いました。さらに、令和２年３月に新たに制定した「長崎大学における内部質保証のための自己点検・評価と改善に関するガイドライン」において、「認証評価実施年度以外の各年度についてもその評価基準に準じて自己点検を実施する」と定めています。よって、令和3年度は、認証評価機関が提示する大学評価基準に基づき、自己点検・評価を実施することとしました。

なかでも、大学評価基準の分析項目に「教育課程ごとの点検・評価において、領域６の各基準に照らした判断を行うことが定められていること」と規定されていることから、すでに、教養教育および各部局における内部質保証に係る申合せ等を策定し、その中には、大学評価基準の領域6の各基準に準じた自己点検・評価項目が、各部局に共通した項目として別表に記載されています。そこで、この共通項目に基づいて、自己点検・評価のために共通様式を作成し、自己点検・評価を実施することとしました。それらの結果をとりまとめた自己点検・評価報告書を、ここに公表します。

連絡先
長崎大学　政策企画部　政策企画課
住所：　〒852-8521 長崎市文教町1-14
Tel：095-819-2013　　Fax：095-819-2056
E-mail： kaikaku@ml.nagasaki-u.ac.jp
この自己点検・評価報告書に関するご意見や質問等は、上記部署で受け付けております。

目　　次

Ⅰ　大学の現況、目的及び特徴　・・・　1

Ⅱ　大学評価基準に準じた領域ごとの自己点検・評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

　領域１　教育研究上の基本組織に関する基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

　領域２　内部質保証に関する基準　・・・１５

　領域３　財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

　領域４　施設及び設備並びに学生支援に関する基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

　領域５　学生の受入に関する基準　・・・３８

領域６　教育課程と学習成果に関する基準　・・４３

基準の判断
教養教育　・・４３
学部等総括表　・・・５０
多文化社会学部　・・５１
教育学部　・・５８
経済学部　・・６５
医学部医学科　・・・７２
医学部保健学科　・・・７９
歯学部　・・８６
薬学部　・・９３
情報データ科学部　・・１００
工学部　・・・１０６
環境科学部　・・１１３
水産学部　・・・１２０
研究科総括表　・・・１２７
多文化社会学研究科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２８
教育学研究科　・・・１３５
経済学研究科　・・・１４２
工学研究科　・・１５１
水産・環境科学総合研究科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６０
医歯薬学総合研究科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６９
熱帯医学・グローバルヘルス研究科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７７

Ⅲ　参考資料
・認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式１（令和４年５月１日現在）　・・・・・・・・・・・・・・・　別紙１
・認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式２（令和４年５月１日現在）　・・・・・・・・・・・・・・・　別紙２

Ⅰ　大学の現況、目的及び特徴

1　現況

（１）教育研究上の基本組織

学士課程	多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、情報データ科学部、工学部、環境科学部、水産学部
大学院課程	多文化社会学研究科、教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、水産・環境科学総合研究科、医歯薬学総合研究科、 熱帯医学・グローバルヘルス研究科

（２）学生数及び教員数（令和４年５月１日現在）

学生数	学部：７，４１９人、大学院：１，６２５人
教員数	専任教員数：１，１９３人、助手数：４５人

〔参考資料〕

・令和３年度 長崎大学大学概要（2021.7.1現在）

URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/overview/outline/index.html

・長崎大学 大学案内2022（発行/2021年5月）

URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/R04/2022annai.pdf

・認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式１（令和４年５月１日現在）　・・・・・・・・・・・・・・・・別紙１

・認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式２（令和４年５月１日現在）　・・・・・・・・・・・・・・・・別紙２

２　大学等の目的（令和３年度自己点検・評価報告書記入例として、令和３年度６月発行の大学機関別認証評価 自己評価書から引用・要確認）

【大学の理念】
『長崎大学は，長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ，豊かな心を育み，地球の平和を支える科学を創造することによって，社会の調和的発展に貢献する。』

長崎大学は，出島を介した『勉学の地』としての誇りと『進取の精神』を受け継ぐとともに，宗教や科学における非人道的な負の遺産にも学び，人々が『平和』に共存する世界を実現するという積極的な意志の下に教育・研究を行う。そして，蓄積された『知』を時代や価値観を越えて継承し，人類を愛する豊かな心を育て，未来を拓く新しい科学を創造することによって，地域と国際社会の平和的発展に貢献する。

【大学の基本的目標】
長崎大学は，東シナ海を介して大陸と向き合う地理的環境と出島，原爆被ばくなどの記憶を有する地域に在って，長年にわたり培ってきた大学の個性と伝統を基盤に，新しい価値観と個性輝く人材を創出し，大きく変容しつつある現代世界と地域の持続的発展に寄与する。第3期中期目標期間においては，具体的に以下の項目を基本的目的として設定し，新しい学長主導ガバナンス体制の下，改革を迅速かつ大胆に推進する。
（１）　熱帯医学・感染症，放射線医療科学分野における卓越した実績を基盤に，予防医学や医療経済学等の関連領域を学際的に糾合して，人間の健康に地球規模で貢献する世界的“グローバルヘルス”教育研究拠点となる。
（２）　全ての教育研究領域の高度化，国際化を推進するとともに，国内外のトップレベルの大学との連携の強化及び実質化，管理運営・人事システム改革，学内資源の適正再配置等をとおして，大学全体の総合力を格段に向上させ，世界最高水準の総合大学への進化のための基盤を構築する。
（３）　グローバル化する社会の要請に応えるべく，国際水準の教育，キャンパスの国際化，日本人学生の留学の飛躍的拡大の実現に向けた戦略的かつ包括的な教育改革を推進し，地域の課題を掘り下げる能力と，多文化が共生する国際社会の現場で活躍する力を兼ね備えた長崎大学ブランド人材を育成する。
（４）　特に学部教育においては，学生参加型の新しい教養教育と世界標準の学部専門教育との有機的結合により，問題解決能力・創造的思考力・コミュニケーションスキル等の学士力と各専門分野の知識・素養に裏打ちされ，現実の課題に即応できる個性輝く学士を育成する。また，新しい大学教育を高校教育改革と効果的に接続させるため，多面的かつ基盤的な資質・能力を測るための新しい入学者選抜方法を先進的に開発・導入する。
（５）　地域に基盤を置く総合大学として，地域のニーズに寄り添いつつ，教育研究の成果を地域の行政，産業，保健医療，教育，観光に還元し，グローバル化時代における地方創生の原動力となる。特に，海洋エネルギー，海洋生物資源，水環境，地域福祉医療，核兵器廃絶など，地域社会の持続的発展に大きく貢献し，かつ，地球規模課題にも直結する特色分野における教育研究を重点的に推進する。また，東日本大震災直後から継続している福島との協働を強化し，福島の未来創造に貢献する。

［出典］大学の理念・基本的目標　　http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/philosophy/university/index.html

【学部・研究科の教育目的】

多文化社会学部

［教育理念］
大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに、多文化社会において必要とされる人間力と社会力を身につけ、多様な文化的背景を持つ人々と協働し、グローバル化する社会を担い、たくましく生き抜く力を有する人材を養成します。

［教育研究上の目的］
人文社会系学部の学士課程教育における専門性を担保しつつ、グローバル人材の基盤的資質としての高度な外国語の運用能力・コミュニケーション能力とジェネリックスキルの涵養に重点的に取り組みます。すなわち、人文社会系諸分野を「多文化社会」の観点から再編・統合することで、政治・法律・経済等の社会科学系の知識と考え方と、世界の各地域の多様な社会・文化・歴史・宗教を理解できる人文学系の知識と考え方とをあわせ持つ人材を育成し、言語的・文化的背景を異とする人々と協働して、国際社会の様々な課題の解決に向けて行動できる人材を世界に送り出します。

［出典］多文化社会学部の教育理念・教育研究上の目的　http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/about/vision.html

教育学部

本学部における教育理念は、人間形成に関わる専門的学術の研究を通して高度な学識と豊かな人間性及び実践的な指導力を備えた専門的教育者を育成することです。
教員には、教育者としての使命感と豊かな人間性、深い教養、教育の理念、教科に関する専門的学力、優れた教育技術及び幼児・児童・生徒の理解等、専門職としての高度の資質と能力が求められています。また，高度情報化や国際化の進展など社会が変化する中で，新たな教育の課題が生まれており，教員には，これらの課題に的確に応えていく能力も求められています。
したがって、本学部では、人間教育の基礎とされる幼児教育、初等教育、中等教育および心身に障害のある子どものための特別支援教育に携わる優れた指導力を備え、幼児・児童・生徒の成長と発達についての深い理解の上に優れた専門の学術・技能を身につけた豊かな識見と，新しい教育課題に適切に対応できる能力を持つ教育者の養成を目標としています。

［出典］教育学部の教育理念・目標　http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/about/idea/

経済学部

経済学部は，「グローバルな視野を持って現代の経済・経営の諸問題を解決できる実践的エコノミストの養成」を教育理念として，グローバル化が進む現代経済社会の諸問題を解決し，社会の調和的発展に貢献する能力を持つ人材の育成を教育目標としています。このような人材は，広い教養や経済・経営に関する知識を持ち，問題解決とその結果の伝達に関する知的技術を身につけ，これら知識と技術，さらに創造的思考を組み合わせて，問題を論理的に俯瞰し，主体的に解決できる能力を備えた人材であると考えています。

［出典］経済学部の教育理念・目標　http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/intro/policy/index.html

医学部医学科

長崎大学医学部医学科の開祖ポンペ・ファン・メールデルフォールトは，長崎において，日本で初めて患者を主体とした医療を実践し，わが国の近代西洋医学教育を創立した。本学科は，ポンペの言葉「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上，もはや医師は自分自身のものではなく，病める人のものである。もしそれを好まぬなら，他の職業を選ぶがよい。」を建学の基本理念とし，深い医学知識と豊かな創造性，高い倫理観を身につけた医師及び医学者を育成することを目標としている。この目標を達成するために，医学科では，1)基礎医学，臨床医学知識の総合的理解（医学を学ぶ），2)医科学的創造性の養成（科学を学ぶ），3)医師としての社会的責任感と人間性の確立（人間を学ぶ）を重視した教育を実施する。

［出典］長崎大学医学部医学科の基本理念 https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/contents/02_philosophy.html

医学部保健学科

医学部保健学科は，生命や人間の尊厳に基づく心豊かな教養を備え，高度な専門的知識・技能を修得し，広く社会に貢献できる資質の高い医療専門職の育成を教育理念とし，卒業生に以下の諸能力・資質を身につけることを教育目標としています。
・豊かな教養と高い倫理観を身につけた心豊かな人間性
・高度の専門的知識と技能を身につけ，自主性と創造性に富む柔軟な思考力
・チームの一員として，地域医療に貢献できる能力
・生涯を通して，科学的探求の態度を継続できる能力
・専門性の確立を目指し，他領域の人々と連携できる学際的能力
・医療専門職者として幅広い社会活動や国際医療活動ができる能力

［出典］医学部保健学科の理念・教育目標　http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/introduction/diplomapolicy.html

歯学部

[理念]
基本的教養と幅広い歯科口腔医学専門知識を修得し，今後の歯科口腔医学，歯科口腔医療を切り拓くとともに社会に信頼される歯科医師および研究者を養成する。
[教育目標]
長崎大学の理念等に基づき，責任感，社会性，倫理観，豊かな人間性，コミュニケーション能力，協調性，リサーチマインドを備え，先進的な歯科口腔医療に対応できる幅広い知識と基本的技能を身につけた人材を育成する。特に，離島等の地域歯科口腔医療について保健・医療・福祉の側面から総合的に考えることができる歯科医師，および高度の専門的知識と経験，課題探求能力を身につけた研究者・教育者の養成を積極的に推進することを目標とする。
さらに，AO 入試選抜者および履修希望者を対象とした「歯学研究コース」では，大学院進学を前提に，臨床歯科口腔医学，基礎歯科口腔医学，口腔生命科学を切り拓く将来の担い手を養成することによって，ひいては歯科口腔医学を発展させることを目標とする。

［出典］歯学部の教育理念・目標　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/education/policy/file/25

薬学部

［基本理念］
「ヒトの健康を目指して」の標語のもと，医薬品の創製，医療，健康・環境に関する基礎及び応用の科学を教育，研究すること，並びに「くすり」の専門家として社会的使命を遂行し得る人材の養成を以て社会に貢献する。
［学部の目的］
本学部は，大学教育における基本的教養と専門の基礎となる幅広い知識を修得させるとともに，薬学に関する高度の専門的知識を修得させ，もって薬の専門家として社会に貢献しうる有為の人材を育成することを目的とする。
［各学科の目的］
・薬学科
医療薬学に関する高度の専門的知識及び技能・態度を修得させ，豊かな人格と高い倫理観を備えた薬学専門職者として社会に貢献しうる有為の人材を育成することを目的とする。
・薬科学科
医薬品の創製，環境衛生等に関する高度の専門的知識を修得させ，主体性と科学的創造性を備えた研究者，技術者として社会に貢献しうる有為の人材を育成することを目的とする。

［出典］薬学部　基本理念・学部の目的　http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/outline/rinen-mokuhyo.html

情報データ科学部

［教育理念・目標］
情報データ科学部は，高度情報化社会の基盤を支える情報技術とデータ分析技術に関する教育，研究において未来を拓く科学技術を創造することによって，社会の持続的発展に貢献することを教育理念とし，情報科学者として要求される課題解決能力，価値創造能力，コミュニケーション能力および技術者倫理を身につけた人材を養成することを教育目標としています。
［学修到達目標］
・情報データ科学分野に必要な基礎的知識を有する。
・社会の諸課題を情報データ科学に基づき多角的に分析し，課題解決や価値創造を図るための論理的思考力を有する。
・情報データ科学的思考に基づくデザイン能力，マネジメント能力，プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を有する。
・情報データ科学者としての倫理とセキュリティ意識を有する。

［出典］情報データ科学部　基本理念　https://www.idsci.nagasaki-u.ac.jp/overview/basicprinciple/

工学部

［教育理念・目標］
アジアの鼓動響く街長崎で，知と心と工学センスを育み，未来を拓く科学技術を創造することによって，社会の持続的発展に貢献することを教育理念とし，これに則して，工学技術者として要求される課題探究能力，コミュニケーション能力および技術者倫理を身につけた人材を養成することを教育目標としています。

［出典］工学部　工学部の教育理念・目標 http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/data/02_pdf/01_01_rinen.pdf

環境科学部

[理念]
人間と環境の調和的共生という人類史的な課題に対し、自然と人間との調和を踏まえた自然環境の保全と持続可能な人間社会の創造・実現に寄与する。
[教育目標]
1. 文系・理系の両面から環境をめぐる諸問題を多角的に捉える視座を持つ人材を育成する。
2. 実践的環境スペシャリストとして環境問題解決の専門的知識や能力を持つ人材を育成する。
3. 情報処理、実験技法、フィールド調査、コミュニケーションに関する知的技術を持つ人材を育成する。
[環境科学部の教員養成に関する教育理念]
環境科学部では、学際的な幅広い教養を基礎としつつ、公民又は理科に関する専門的知識及び知的技術を身に付けるための一連の教育を行います。 それにより、環境問題等に代表される現代社会の諸問題を積極的に解決し、持続可能な社会の実現とその発展に寄与できる主体的な課題解決能力を養うことが可能となります。
環境科学部は、文理双方の視座を備えた実践的な指導力と豊かな人間性を備えた教育者の養成を目指しています。

［出典］環境科学部　理念・教育目標　http://www.env.nagasaki-u.ac.jp/about/philosophy.html

水産学部

[教育目的]
本学部は，大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに，海洋環境，海洋生物に代表される水圏に関する基本的な知識及び研究方法を修得させ，水圏と社会の係わりを総合的に判断する力を培い，もって水産学の係る社会の各分野において広く貢献できる人材を養成することを目的とする。

［出典］長崎大学水産学部規程・第２条

多文化社会学研究科

[研究科の目的]
研究科は，精深な専門的知識及び技能を授けることにより，共時的かつ領域横断的に地球的規模で解決が必要な21世紀社会の多文化社会的状況における諸問題に対して，多文化社会学の超域的かつ俯瞰的な見地から発見，説明，予測及び解決に取り組むことのできる人材を育成することを目的とする。

［出典］多文化社会学研究科規程・第２条

[博士前期課程の教育理念]
２１世紀社会の多文化社会的状況における諸問題に対して、文化的他者への理解や共感を第一義に据えて多様な文化や社会、理念や利害を洞察し、自らが有する確かな専門知とともに異なる専門知をも横断的に繋ぎつつ、「多文化社会学」の超域的かつ俯瞰的な見地から問題の発見・説明・予測・解決に取り組むことができる人材を養成する。
[博士前期課程の教育研究上の目的]
「学問のエレメンツ」と「学問のプラクティス」の相互補完的な連携・統合・展開を通じて、21世紀社会の諸問題の取組で不可欠な、人文社会科学系が本来的に持つ「批判力」（現状への批判的反省力）、「構想力」（現状打破に向けた展望を提示する力）、「実践力」（領域横断的に知と人を繋ぎ、文化的他者との共生に基づき理念と利害を調整し、計画を実行する力）の三つの力の涵養により、２１世紀社会の多文化社会的状況における諸問題に対する問題の発見・説明・予測・解決に取り組むことができる人材を養成する。

［出典］多文化社会学研究科　博士前期課程　大学院の紹介　http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/vision.html

[博士後期課程の教育理念]
21世紀の多文化社会的状況がもたらす諸問題について、「多文化社会学」に関する高度に専門的な知識に基づき、「問題本質の見極め」と「問題解決に向けた多様な解の提示」を目指し、21世紀の学問に求められる価値の創生と普及及び生命、精神、社会文化の持続可能な世界の構築に資する、国際的発信能力を備えた研究者及び高度専門職業人を養成する。
[博士後期課程の教育研究上の目的]
多文化社会学の分野において、研究者として自立できる独創的な知見と能力及び高度に専門的な職業に従事できる卓越した能力を有する人材を養成する。

［出典］多文化社会学研究科　博士後期課程　大学院の紹介　http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/vision-doctoral-program.html

教育学研究科

[理念・目的]
教育学研究科では，精深な専門知識と技能を授けることにより，創造性豊かな研究能力と高度な教育実践力を備えた人材を育成することを理念とし，教職と教科に関する高い専門的な知識と能力を修得し，学校教育に係る優れた実践能力と資質を備えた人材を養成すること，また現職教員の再教育にも努め，教員の資質の向上及び学校教育の振興に資することを目的とします。

［出典］教育学研究科　組織概要＆ビジョン　https://www.gedu.nagasaki-u.ac.jp/about/

経済学研究科

［研究科の目的］
　研究科は，精深な学識並びに科学的及び体系的な理論を授けることにより，経済社会において必要な高度の専門知識及び研究能力を有する人材を育成し，経済社会の発展に資することを目的とする。

［出典］経済学研究科規程・第２条

［経済学研究科博士前期課程］
・教育理念
　経済社会の問題にかかる研究および解決に取り組む高度専門職業人を輩出することによって，経済社会の持続的発展に貢献する。
・教育研究上の目的
　社会的枠組みの再編が進む中，多様な学問領域からの接近が求められる経済社会の問題について，研究および実践的な解決に取り組む人材を育成するために，体系的知識の教授と応用力の涵養，ひいては深遠な問題を追及する研究能力や実践的問題解決能力を培う。

［出典］経済学研究科　博士前期課程　教育理念　http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/g_school/m/idea.html#01，http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/g_school/d/idea.html

［経済学研究科博士後期課程］
・教育理念
　合理的で迅速な意思決定能力を身につけた，トップマネジメントに代表される組織のリーダー，あるいはその侯補者などの育成をその目的とする。
・教育研究上の目的
　トップマネジメントをはじめとする組織のリーダーに必要不可欠な意思決定能力を養成することにより，十分に研究能力を有する高度専門職業人を育成し，経済社会の発展に資することを目的とする。

［出典］経済学研究科　博士後期課程　教育理念　http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/g_school/d/idea.html

工学研究科

・教育理念
　自然と共生し，人類社会の持続的発展に貢献する高度な工学教育研究拠点として，工学の幅広い分野における専門的・学際的知識および高度専門技術を修得し国際的に活躍できる高度専門技術者・研究者を養成するとともに，先導的・独創的研究の遂行により次世代の革新的科学技術の推進に貢献する。
・目標
　工学の幅広い分野における専門的・学際的知識および高度専門技術を修得させ，課題探求・問題解決能力および国際的・先導的な研究開発能力を修得させる。

［出典］工学研究科の教育理念・目標　http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/data/03_pdf/policy_03_01_r4.pdf

［工学研究科博士前期課程 総合工学専攻］
・教育理念及び目標
　工学研究科博士前期課程総合工学専攻は，「自然と共生する技術社会の発展に貢献する工学教育研究拠点として，高い専門実践能力を修得しグローバルに活躍できる技術者人材を養成するとともに，多様な知的資産を創造する独創的研究を推進する」ことを理念として掲げ，工学系学部卒業生等を受け入れて，産業界のニーズに対応した高度専門技術者および研究者として必要な能力を修得させる。そのため，高い国際通用力を有し，産業界や社会が求める高度専門技術者および研究者の養成を教育目標としている。

［出典］博士前期課程 総合工学専攻の教育理念・目標　http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/data/03_pdf/policy_03_01_r4.pdf

［博士後期課程 生産システム工学専攻］
・教育理念及び目標
　工学研究科博士後期課程生産システム工学専攻は，地球にやさしく人間に快適な社会を実現するために，高度に専門化した機械システム，社会基盤システム，電気情報システムの創出や新規物質創製および新機能創成に加え，アジア・アフリカ諸国の発展にも貢献できる技術も含めた，次世代の革新的科学技術の推進に貢献する人材を育成することを教育目標としている。

［出典］博士後期課程 生産システム工学専攻の教育理念・目標　http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/data/03_pdf/policy_03_02_r4.pdf

［博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻］
・教育理念及び目標
　工学研究科博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻は，地球温暖化等の地球規模のクライシスに対応するため，グリーンエネルギーの発生・有効利用の領域に特化し，領域全体を俯瞰できる高度基礎知識に裏打ちされた先導的研究を展開でき，かつ国際的なアカデミアに貢献できる研究者の養成を教育目標としている。

［出典］博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻教育理念・目標　http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/data/03_pdf/policy_03_03_r4.pdf

水産・環境科学総合研究科

［基本理念］
　水産科学、環境科学及び両者を融合させた学際的・総合的分野の教育研究を推進することにより、環境や食料等の問題解決に貢献する実践的指導力を持つ高度専門職業人並びに国際性の高い研究者等の人材を養成し、環境と調和した人類の生存を実現するための新たな学際科学の創出と発展に資する。

［出典］水産・環境科学総合研究科　概要　https://www.fe.nagasaki-u.ac.jp/gaiyo.html

医歯薬学総合研究科

［基本理念］
「長崎大学大学院医歯薬学総合研究科は医学，歯学及び薬学の知を結集し，生命・医療科学分野における教育研究内容の学際化・高度化・先端化及び国際化を図ることによって，高度の専門知識・技術を基盤にした医療科学の発展に資する。」
医・歯・薬のそれぞれの研究科を再編統合し，研究教育の拠点を大学院にシフトすることによって，「知」を再構築，結集し，生命・医療領域における急速な高度化・専門化に対応する。高度の専門的知識と技術を基盤にした世界をリードする研究の展開及び基礎研究，先端医療，創薬，保健行政，国際貢献などの分野で世界をリードする高度の専門的知識と経験を有した研究者，教育者，高度専門職業人の育成を図る。

［教育目標］
基本理念の実現を図るために，
１．教育研究組織に機動性，流動性と柔軟性を付与することにより，生命・医療科学の総合研究及び普遍的生命現象などの研究教育内容の学際化と高度化を図る。
２．医・歯・薬のそれぞれの専門的「知」の結集による独創的な研究教育を推進する。
３．大学の特長を生かした特定の研究領域で中心的に世界をリードする先端的研究を推進する。
４．外部研究組織と連携大学院体制を構築・充実し，高度な専門的研究を推進する。
５．国内及び国際的ニーズに対応した教育研究分野を創設することにより，社会的ニーズに応える高度専門職業人の育成を図る。
６．大学院生による国際学会発表数や国際的な学術雑誌への論文掲載数を増加させる。

［教育研究上の目的］
・医療科学専攻
医療科学分野の研究者として自立して研究活動を行うこと及び疾患の本質・病態を科学的なロジックで理解することができる学識を養うことを目的とする。
・新興感染症病態制御学系専攻
感染症分野の研究者及び専門医として自立して研究活動を行うこと及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍することができる高度の研究能力並びにその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
・放射線医療科学専攻
放射線医療科学分野の研究者として自立して研究活動を行うこと及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍することができる高度の研究能力並びにその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
・生命薬科学専攻（博士前期課程）
生命薬科学専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに，薬科学及び臨床薬学に関連する分野の基礎的素養を涵養し，創薬及び環境の高度専門職業人の育成を行うことを目的とする。
・生命薬科学専攻（博士後期課程）
生命薬科学研究者として自立して研究活動を行うこと及び高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍することができる高度の研究能力並びにその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
・保健学専攻
保健学専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに，専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養し，保健学の高度専門職業人の育成を行うことを目的とする。

［出典］医歯薬学総合研究科　研究科概要　http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/outline/rinen-mokuhyo.html

熱帯医学・グローバルヘルス研究科

［研究科の理念・目的］
　21世紀になり経済、産業や流通のグローバル化が進み、自然・社会環境に関する諸問題も地球規模で考えなければならない時代になりました。とりわけ、環境の変化に影響される感染症やメンタルヘルス、生活習慣病などの疾病対策には、時に国や地域の境界を越えた「グローバルヘルス」という新たな概念が必要となります。
　熱帯医学・グローバルヘルス研究科においては、あらゆる既存の学術境界を越えた新たな総合的アプローチにより世界の健康問題の解決をめざす「グローバルヘルス領域」で国際的に活躍できる人材を養成することを目的としています。

［出典］熱帯医学・グローバルヘルス研究科　設置の目的 http://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/about_tmgh/introducing_tmgh

３　特徴

本学の主な特徴は次のとおりである。（令和４年６月提出　達成状況報告書から引用）

１．　現場主義の実践的教育研究の伝統：

本学は日本の西南端に位置する中規模地方総合大学である。1857年にオランダ人医師により設置された日本初の医学校を創基とし，原爆被爆による壊滅の体験を経て，1949年各種専門教育機関を糾合し新制大学として再構築された。医，歯，薬，工，水産，多文化社会，教育，経済，環境科学部といった実学系学部構成が特徴である。学則に「実践教育を重視した最高水準の教育を提供し，幅広い視野と豊かな教養及び深い専門知識を備え，課題探求能力及び創造力に富んだ人材を養成し，もって地域及び国際社会に貢献すること」を本学の教育理念として謳っており，現場主義の実践的な教育・研究の伝統と蓄積が特徴である。

さらに，超スマート社会（Society.5.0）の到来に向けて，情報技術革新に適応し，新たな産業や社会の仕組みの創出等の変化に対応できる高度なデータサイエンススキルを有した人材育成という点から，10番目の学部として情報データ科学部を2020年度に設置するとともに，2022年10月には，科学的エビデンスを政策に結びつけ，政策立案，政策決定，政策実行に貢献できる実務家リーダーを養成する博士レベルの高度実務専門家育成課程であるプラネタリーヘルス学環（研究科等連携課程実施基本組織）を設置することが決定しており，実践教育に強い総合大学として更なる進化を続けている。

２．日本をリードし世界に貢献する特色ある教育研究分野の存在とその糾合：

長年にわたる現場主義の実学教育・研究の蓄積を通して，いくつかの特定の分野において，日本をリードし世界に貢献する教育研究が育っている。例えば，熱帯医学研究所，熱帯医学・グローバルヘルス研究科，医歯薬学総合研究科を中心とする熱帯医学・感染症分野においては，人間の健康に地球規模で貢献する世界的“グローバルヘルス”の教育研究拠点としての役割を果たしている。国内９大学（北海道大学，東北大学，東京大学，東京医科歯科大学，大阪大学，神戸大学，九州大学，長崎大学及び慶應義塾大学）を構成員とする「感染症研究コンソーシアム」を主宰し，「長崎大学感染症共同研究拠点」を設置している。2021年度にはBSL-4施設が竣工し，2022年４月には高度感染症研究センターを設置することが決定している。熱帯医学・グローバルヘルス研究科には，本学とロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（LSHTM）との，いわゆる，ジョイント・ディグリーを取得できる「長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻」（博士後期課程）」を設置した。さらに，同研究科を中核としてLSHTMとの連携で推進する「世界を動かすグローバルヘルス人材育成プログラム」が卓越大学院プログラムとして採択され，教育を通じてグローバルヘルスに貢献する体制も一層強化している。

原爆後障害医療研究所を中心とする放射線健康リスク分野，水産・環境科学総合研究科，海洋未来イノベーション機構を中心とする海洋資源・環境分野もグローバルヘルスに貢献する本学の特色分野である。

グローバルヘルスの重要性が益々増加するなかで，医療だけでは解決しない問題として，深刻な宗教対立や政治対立，地球温暖化の加速，エネルギー・食糧問題など，社会の持続的発展を困難にする地球規模の課題が深刻化しつつある。これらの諸問題の解決がなければ，本学が取り組んできたグローバルヘルスの更なる発展がないばかりでなく，社会の持続的発展を維持できないと危惧される。このような地球規模の課題により地球の健康が冒されているという認識に立ち，グローバルヘルスに加えて，文化・政治・経済の観点，資源・環境の観点等から，社会の持続的発展を可能とする「プラネタリーヘルス」に取り組むことが極めて重要である。前述した熱帯医学・感染症に関する教育研究組織に加えて，本学には，社会科学の観点から上記の諸問題を扱う教育研究組織として，我が国唯一の多文化社会学部・研究科を有するとの特徴がある。総合大学として，経済，教育，工学なども加えた全学の力を糾合し，「プラネタリーヘルス」に貢献する大学への進化を加速している。プラネタリーヘルス学環の設置（2022年10月）決定は，その例である。

３．特色ある教育研究のグローバル展開：

全学的な海外教育研究拠点として「長崎大学アフリカ海外教育研究拠点（ケニア）」と「長崎大学東南アジア海外教育研究拠点（ベトナム）」を設置するとともに，原爆後障害医療研究所，医歯薬学総合研究科，水産・環境科学総合研究科が，世界７か所にプロジェクト拠点・国際交流推進室等を設置し，本学の特色ある分野を中心に，その教育研究をグローバルに展開している。例えば，アフリカ及び東南アジア海外教育研究拠点における，熱帯医学研究所，熱帯医学・グローバルヘルス研究科及び医歯薬学総合研究科が連携した感染症に係る教育・研究・社会還元活動は，本学とLSHTMとの，いわゆる，ジョイント・ディグリー・プログラムや卓越大学院プログラムにも発展している。原爆後障害医療研究所がベラルーシ共和国に設置する「チェルノブイリプロジェクト拠点」での活動は，本学，福島県立医科大学，北西医科大学（ロシア）などのロシア連邦及びベラルーシ共和国の大学及び研究機関で実施する，文部科学省による大学の世界展開力強化事業「日露の大学間連携による災害・被ばく医療科学分野におけるリーダー育成事業」にも発展している。

第２期中期目標期間中に実施した大学の世界展開力強化事業「「アジア平和=人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成」を，水環境のグローバル教育に特化した工学研究科国際水環境工学コース（博士前期課程）及び国際水環境科学コース（博士後期課程）の設置（2015年度）に結実させ，第３期中期目標期間６年間で59名の留学生に学位（修士51名，博士８名）を授与したほか，第３期中期目標期間中においても新たに大学の世界展開力事業「日露の大学間連携による災害・被ばく医療科学分野におけるリーダー育成事業」「プラネタリーヘルスの実現に向けた日ア戦略的共同教育プログラム」「アジアの大学間連携による持続的社会基盤整備を支えるグローバル人材育成事業」「持続可能なアジアの水産と海洋環境を実現する国際協働人材養成プログラム」の採択を受け，同事業を実施していることも，特色ある教育研究のグローバル展開の一例である。

４．地方国立大学の重要ミッションとしての地域貢献：

本学は，地域に根ざす地方国立大学であり，地域貢献は最重要のミッションの一つである。これまでも研究成果や有為の人材を地域社会に供給，還元することにより，地域の教育，医療，行政，産業，経済等の活性化に大きな貢献をしてきた。長崎県における教育の質を担保するための長崎方式の教員免許状更新システムでの中心的役割，地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の推進，長崎県海域の海洋再生可能エネルギー実証フィールドへの選定（2016年度）と連動した海洋未来イノベーション機構の設置・運用などはその例である。2019年３月には，長崎県の産学官が共同で取り組む「海洋開発をリードする専門人材育成・実証フィールドセンター整備事業」が日本財団助成事業に採択され，2020年３月から大学内に「長崎海洋開発人材育成・フィールドセンター」が設置されている。さらに，2020年度には，地方創生の核の一つとなる学部として情報データ科学部を設置するとともに，本学に設置する長崎オープンイノベーション拠点を核として長崎県の地方創生の実現と持続的な発展に寄与すべく，長崎県産業労働部及び公益財団法人長崎県産業振興財団との産学官連携に関する協定締結を締結し，人事交流を開始した。

長崎県では老齢化と若者流出に伴う人口減少が急速に進行し，地域の存続さえ危うくしかねない状況である。地域における本学の役割はますます大きく，正念場を迎えている。

教育研究上の基本組織に関する基準

基準１－１　教育研究上の基本組織が、大学等の目的に照らして適切に構成されていること

【根拠資料等】

・本書の「Ⅰ　大学の現況、目的及び特徴」

基準１－２　　教育研究活動等の展開に必要な教員が適切に配置されていること

【根拠資料等】

・認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式１

・教員の年齢別・性別内訳

別紙様式１－２－２　教員の年齢別・性別内訳

基準１－３　教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

【根拠資料等】

・教員組織と教育組織の対応表

別紙様式１－３－１　教員組織と教育組織の対応表

・組織体制が確認できる規定類（学則、運営組織規定）

国立大学法人長崎大学基本規則

長崎大学学則

長崎大学大学院学則

・責任体制が確認できる規定類（学則、運営組織規定）

国立大学法人長崎大学基本規則

・責任者の氏名が分かる資料

部局長等名簿（長崎大学大学概要　役職員）

・教授会等の組織構成図、運営規定等

学部・研究科教授会規定

・全学的見地から、学長若しくは副学長の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織の規定等

長崎大学教育研究評議会規則

長崎大学教務委員会規則

長崎大学研究企画推進委員会規則

【基準１－１～基準１－３に係る判断】

令和3年度の上記根拠資料等に、令和3年6月に機関別認証評価に際して提出した根拠資料等*からの大きな変更は無く、よって、引き続き基準を満たしていると判断

＊URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/ninsho/index.html

領域２　内部質保証に関する基準

基準２－１　内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

【根拠資料等】

・内部質保証に係る責任体制等一覧

別紙様式２－１－１　内部質保証に係る責任体制等一覧

・明文化された規定類

長崎大学における内部質保証に関する基本方針

国立大学法人長崎大学における点検及び評価に関する規則

長崎大学計画・評価本部規則

長崎大学における内部質保証のための自己点検・評価と改善に関するガイドライン

長崎大学教育研究評議会規則

(教養教育体制に関する規定)

長崎大学教務委員会規則

長崎大学教務委員会専門部会規程

長崎大学教育開発推進機構規則

・教育研究上の基本組織一覧

別紙様式２－１－２　教育研究上の基本組織一覧

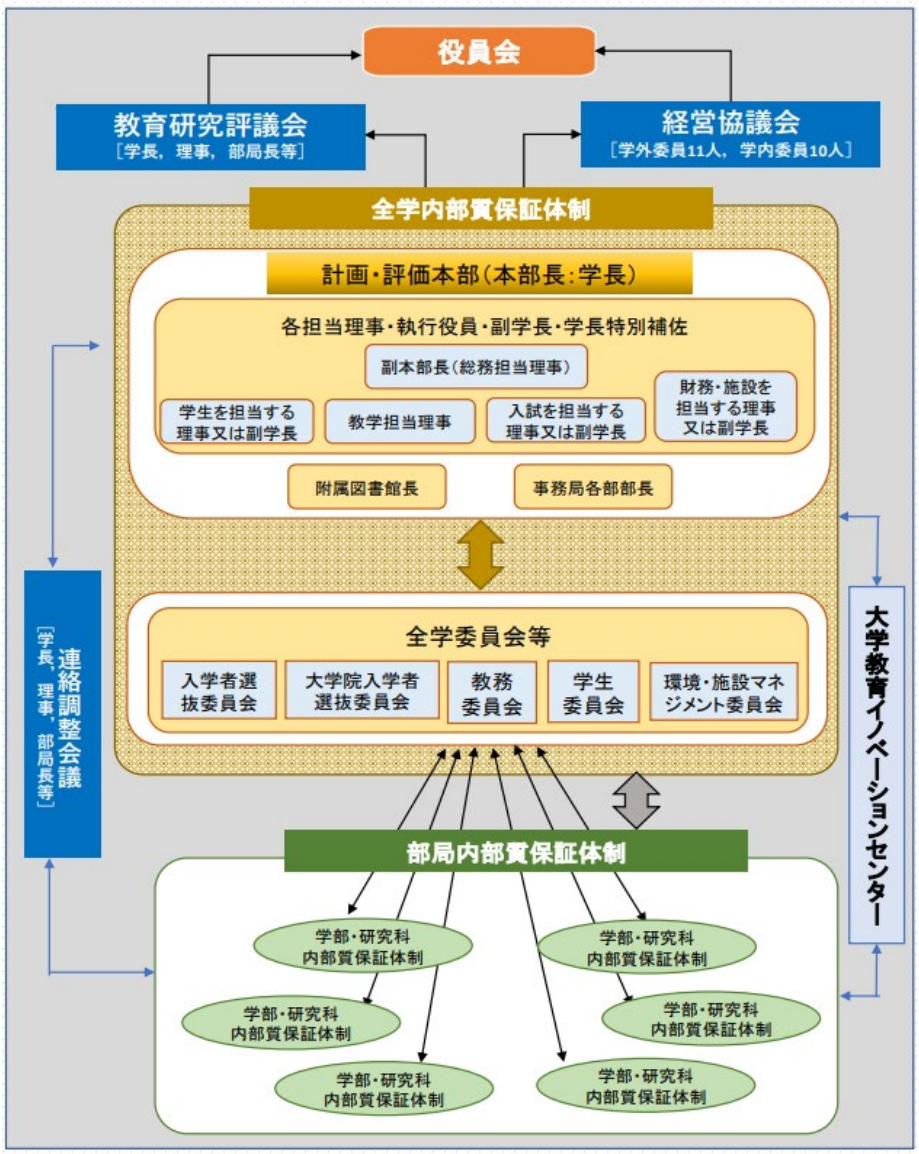
・明文化された規定類

学部・研究科における内部質保証に係る申合せ事項等

学部研究科評価委員会規定等

教養教育における内部質保証に係る実施要項

長崎大学内部質保証体制イメージ図



・質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧

別紙様式２－１－３　質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧

・明文化された規定類

長崎大学計画・評価本部規則

長崎大学における内部質保証のための自己点検・評価と改善に関するガイドライン

施設及び設備に関する質保証のための実施要項

学生支援に関する質保証のための実施要項

学生受入に関する質保証のための実施要項

長崎大学環境・施設マネジメント委員会規則

長崎大学附属図書館委員会規程

長崎大学ICT基盤センター規則

長崎大学学生委員会規則

長崎大学キャリアセンター規則

長崎大学障がい学生支援室規則

長崎大学留学生教育・支援センター規則

長崎大学入学者選抜規則

【基準２－１に係る判断】

令和3年度の上記根拠資料等に、令和3年6月に機関別認証評価に際して提出した根拠資料等＊からの大きな変更は無く、よって、引き続き基準を満たしていると判断

＊URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/ninsho/index.html

基準２－２　内部質保証のための手順が明確に規定されていること

【根拠資料等】

・それぞれの教育課程について、以下の事項を機関別内部質保証体制が確認する手順が明文化された規定類

（１）学位授与方針が大学等の目的に則して定められていること

（２）教育課程方針が大学等の目的及び学位授与方針と整合性をもって定められていること

（３）学習成果の達成が授与する学位に相応しい水準になっていること

長崎大学における内部質保証のための自己点検・評価と改善に関するガイドライン

・教育課程ごとの点検・評価において、領域６の各基準に照らした判断を行うことを定めた規定類一覧

別紙様式２－２－２　教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧

・明文化された規定類

学部・研究科における内部質保証に係る申合せ事項等

学部・研究科評価委員会規定等

教養教育における内部質保証に係る実施要項

・施設及び設備、学生支援、学生の受入に関して行う自己点検・評価方法を明確に定めた規定類一覧

別紙様式２－２－３　自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類等一覧

・明文化された規定類

長崎大学における内部質保証のための自己点検・評価と改善に関するガイドライン

施設及び設備に関する質保証のための実施要項

学生支援に関する質保証のための実施要項

学生受入に関する質保証のための実施要項

・意見聴取の実施時期、内容等一覧

別紙様式２－２－４　意見聴取の実施時期、内容等一覧

・明文化された規定類

教育課程に関する関係者からの意見聴取のための実施要項

「授業アンケート」実施要項

授業アンケートの実施に関する申合せ

学習状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン

「卒業生・修了生調査」ガイドライン

「就職先等調査」ガイドライン

学生支援に関する質保証のための実施要項

学生受入に関する質保証のための実施要項

・機関別内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価をもとに受審した第三者評価の結果を含む。）を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順を定めた規定類一覧

別紙様式２－２－５　検討、立案、提案の責任主体一覧
・明文化された規定類
長崎大学計画・評価本部規則
長崎大学における内部質保証のための自己点検・評価と改善に関するガイドライン
学部・研究科における内部質保証に係る申合せ事項等
学部・研究科評価委員会規定等
教養教育における内部質保証に係る実施要項
施設及び設備に関する質保証のための実施要項
学生支援に関する質保証のための実施要項
学生受入に関する質保証のための実施要項

・機関別内部質保証体制において承認された計画を実施する手順を定めた規定類一覧

別紙様式２－２－６　実施の責任主体一覧
・明文化された規定類
同上

【基準２－２に係る判断】

令和3年度の上記根拠資料等に、令和3年6月に機関別認証評価に際して提出した根拠資料等＊からの大きな変更

＊URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/ninsho/index.html

基準２－３　内部質保証が有効に機能していること

【基準２－３に係る判断】

下記理由により基準を満たしていると判断

【評価結果の根拠・理由】（令和３年度実施大学機関別認証評価評価報告書より引用）
　これまでの様々な評価結果に加えて、大学評価基準に則して自己点検・評価を行って課題点を抽出しており、自己点検・評価とそれに基づく改善及び向上の取組は別紙様式２－３－１のとおり実施され、その多くについて、対応済みあるいは対応中の状況にある。

基準２－４　教育研究上の基本組織の新設や変更等重要な見直しを行うにあたり、大学としての適切性等に関する検証が行われる仕組みを有していること

【根拠資料等】

・明文化された規定類

長崎大学役員会規則

・新設や改廃に関する機関別内部質保証体制で審議された際の議事録と当該関係資料(R3年度分)

R3.4.20.役員会議事要録・資料　（プラネタリーヘルス学環の設置申請）

R3.4.20.役員会議事要録・資料　（令和４年度水産・環境科学総合研究科海洋フィールド生命科学専攻（博士課程（５年一貫制））の学生募集停止）

R3.4.20.役員会議事要録・資料　（令和５年度学部入学定員の見直し）

R3.9.7.役員会議事要録・資料　（令和４年度における医学部医学科の入学定員の増員）

【基準２－４に係る判断】

上記根拠資料より基準を満たしていると判断

基準２－５　組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

【根拠資料等】

・教員の採用・昇任の状況

別紙様式２－５－１　教員の採用・昇任の状況

・明文化された規定類

長崎大学教員選考規則

長崎大学全学教授等選考委員会規則

各学部、研究科における選考に関する内規、申合せ等

・教員業績評価の実施状況

別紙様式２－５－２　教員業績評価の実施状況

・明文化された規定類

長崎大学教員活動状況システム管理規則

長崎大学教員等総覧データベース管理規則

長崎大学における教員活動状況分析の実施要領（非公表）

大学教員の勤務成績優秀者等の選考基準について（非公表）

大学教員の勤勉手当における勤務成績優秀者等の選考の取扱いについて（非公表）

・教員業績評価結果に基づく取組

別紙様式２－５－３　評価結果に基づく取組

【認証評価訪問調査での確認事項より】

確認内容：教員評価の結果，問題がある教員への対応については組織的に対応していることが確認できない。

対応状況：

改善を要すると判断された教員への対応については、各部局において部局長による教員指導が実施されてきたが、令和３年12月までに指導対象とする教員のための全学的に統一した基準を設定した。令和４年度からは新たに策定された基準基準未満のスコアの教員に改善要請を行う仕組みを導入することとした。

・ＦＤの内容・方法及び実施状況一覧

別紙様式２－５－４　ＦＤの内容・方法及び実施状況一覧

・教育支援者、教育補助者一覧

別紙様式２－５－５　教育支援者、教育補助者一覧

・教務関係等事務組織図及び事務職員の事務分掌、配置状況が確認できる資料

長崎大学事務組織規則

長崎大学事務局事務分掌規程

長崎大学人文社会科学域事務部事務分掌規程

長崎大学総合生産科学域事務部事務分掌規程

長崎大学生命医科学域・研究所事務部事務分掌規程

・教育活動に関わる技術職員、図書館専門職員等の配置状況が確認できる資料

長崎大学附属図書館規則

長崎大学における技術専門員及び技術専門職員に関する規程

長崎大学における教室系技術職員の組織等に関する要項

・教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧

別紙様式２－５－６　教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧

・ＴＡ等の教育補助者に対してのマニュアルや研修等内容、実施状況が確認できる資料

TA研修会資料

TAマニュアル

【基準２－５に係る判断】

上記根拠資料より基準を満たしていると判断

領域３　財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準

基準３－１　財務運営が大学等の目的に照らして適切であること

【根拠資料等】

・毎年度、財務諸表等について法令等に基づき必要な手続きを経ていること示す資料

・直近年度の財務諸表等

財務諸表

事業報告書

決算報告書

URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/open/index.html

・上記財務諸表に係る監事、会計監査人の監査報告書

監事監査報告書

会計監査人会計監査報告書

URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/open/index.html

基準３－２　管理運営のための体制が明確に規定され、機能していること

【根拠資料等】

・大学の管理運営のための組織が、適切な規模と機能を有していることが確認できる資料

・管理運営のための組織の設置、構成等が確認できる資料（根拠となる規定を含む。）

国立大学法人長崎大学基本規則（第25条、第27条、第28条）

長崎大学役員会規則

長崎大学経営協議会規則

長崎大学教育研究評議会規則

・役職者の名簿

役員・部局長等名簿

・法令遵守事項一覧、・危機管理体制一覧

別紙様式３－２－２　法令遵守事項一覧、危機管理体制一覧

基準３－３　管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

【根拠資料等】

・事務組織一覧

別紙様式３－３－１　事務組織一覧

・根拠となる規定類

長崎大学事務組織規則

・事務組織の組織図（2021年度大学概要　pp12-13を参照）

長崎大学機構図（長崎大学大学概要　組織図）

基準３－４　教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者の間の連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること

【根拠資料等】

・教職協働の状況

別紙様式３－４－１　教職協働の状況

・スタッフ・ディベロップメント（ＳＤ）の内容・方法及び実施状況一覧

別紙様式３－４－２　ＳＤの内容・方法及び実施状況一覧

基準３－５　財務及び管理運営に関する内部統制及び監査の体制が機能していること

【根拠資料等】

・監事が適切な役割を果たしていることが確認できる資料

・監事に関する規定

長崎大学監事監査規則

監事監査実施基準

・監事による監査の実施状況を確認できる資料

監事監査報告書

監事監査計画書

・法令の定めに従って、会計監査人による監査が実施されていることが確認できる資料

・会計監査人の監査の内容・方法が確認できる資料

会計監査人監査計画書(非公表)

・財務諸表等の監査の実施状況を確認できる資料

会計監査人会計監査報告書

・独立性が担保された主体により内部監査を実施していることが確認できる資料

・組織図又は関係規定

長崎大学機構図（長崎大学大学概要　組織図）

長崎大学事務組織規則（第19条）

長崎大学監査室規程

・内部監査に関する規定

長崎大学内部監査規程

・監査の実施状況等が確認できる資料

内部監査報告書（非公表）

基準３－６　大学の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること

・法令等が公表を求める事項を公表していることが確認できる資料

別紙様式３－６－１　法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧

【認証評価訪問調査での確認事項より】

確認内容①：教員養成にかかる授業科目及びそれぞれの授業科目についての授業担当者が適切に公表されていることが確認できない。

確認内容②：学校教育法109条1項の自己点検・評価の結果が大学機関別認証評価のものとなっている。令和3年度に実施する自己点検評価について，今年度から実施されている内部質保証体制の下でなされたものが公表されることを確認したい。

対応状況①：

教育職員免許状の所要資格を修得させるために、関係部局及び教養教育で開講している授業科目及び授業担当者の一覧表（PDF版）を作成し、大学ホームページで令和3年10月に公表した。

（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/education/teacher/index3.html

対応状況②：

本報告書冒頭の、「**はじめに**」に対応状況を記載

【基準３－１～基準３－６に係る判断】

令和3年度の上記根拠資料等に、令和3年6月に機関別認証評価に際して提出した根拠資料等＊から顕著な変更は無く、また、認証評価訪問調査での確認事項への対応も実施済みであることから、引き続き基準を満たしていると判断

＊URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/ninsho/index.html

施設及び設備、学生支援に関する自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版)

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
領域4　施設及び設備に関する基準						
4-1	教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること	1. 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること	認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式１		✓	◎
			・夜間の授業又は２以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧（別紙様式４－１－１）		✓	◎
		2. 法令が定める実習施設等が設置されていること	・附属施設等一覧（別紙様式４－１－２）		✓	◎
		3. 施設・設備における安全性について、配慮していること	・施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況及び安全・防犯面への配慮の状況（別紙様式４－１－３）		✓	
			・施設の耐震化の状況		✓	
			・長崎大学キャンパスマスタープラン2016抜粋 ・施設の老朽化対応状況図		✓	◎
			・外灯配置図 ・防犯カメラ設置状況（取り扱い注意）		✓	
			・バリアフリー対応状況図		✓	

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-1	教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること	4. 教育研究活動を展開する上で必要なＩＣＴ環境を整備し、それが有効に活用されていること	・学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）		✓	◎
		5. 大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること	・学術情報基盤実態調査（大学図書館編）		✓	◎
		6. 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること	・自主的学習環境整備状況一覧（別紙様式４－１－６）		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
領域4　学生支援に関する基準						
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること	1. 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること	・相談・助言体制等一覧（別紙様式４－２－１）		✓	◎
			・長崎大学学生相談支援等協議会規程		✓	
			・学生何でも相談室に関する申合せ		✓	
			・ピア・サポート実施要項		✓	
			・学生相談の流れ図		✓	
			・学生相談支援等協議会構成員及び学生何でも相談員名簿		✓	
			・長崎大学事務局事務分掌規程	第7条	✓	
			・長崎大学キャリアセンター規則		✓	
			・長崎大学キャリアセンター運営委員会委員名簿		✓	
			・キャリアセンター案内		✓	
			・キャリア相談・模擬面接利用状況	最新年度	✓	
			・長崎大学機構図		✓	
			・長崎大学保健センター規則		✓	
			・カウンセラーによる支援体制		✓	
			・保健センター利用状況		✓	
			・学生メンタルヘルス相談件数		✓	

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること		・ハラスメント苦情相談流れ図		✓	◎
			・長崎大学におけるハラスメントの防止等に関する規則		✓	
			・ハラスメント防止ガイドライン		✓	
			・ハラスメント相談員・カウンセラー名簿		✓	
			・(最新）学生生活案内		✓	◎
			・長崎大学HP > 学生生活 > 各種相談		✓	
			・学生何でも相談室カード		✓	
			・学生何でも相談室＆ピア・サポート相談件数		✓	
		2. 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること	・課外活動に係る支援状況一覧（別紙様式４－２－２）		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること	3 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	・留学生への生活支援の内容及び実施体制（別紙様式４－２－３）		✓	◎
			・オリエンテーション配布資料		✓	
		4 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	・障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制（別紙様式４－２－４）		✓	◎
		5 学生に対する経済面での援助を行っていること	・経済的支援の整備状況、利用実績一覧（**別紙様式４－２－５**）		✓	◎
			・奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知が確認できる資料 〇（長崎大学HP)日本学生支援機構奨学金 〇（長崎大学HP)民間財団・地方公共団体奨学金一覧		✓	
			・奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知が確認できる資料 〇留学生奨学金一覧(非公表) 〇トビタテ！官民協働海外留学支援制度募集について 〇JASSO学習奨励費(就職支援特別枠）の大学推薦応募申請について		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること	5 学生に対する経済面での援助を行っていること	・日本学生支援機構奨学金等の利用実績が確認できる資料 〇【学部】日本学生支援機構奨学金(最新年度)貸与実績 〇【大学院】日本学生支援機構奨学金(最新年度)貸与実績		✓	◎
			・日本学生支援機構奨学金等の利用実績が確認できる資料 〇JASSO学習奨励費支給状況 〇JASSO協定派遣・受入支給状況		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること	5 学生に対する経済面での援助を行っていること	・大学独自の奨学金制度等を有している場合は、その制度や利用実績が確認できる資料 〇長崎大学独自の奨学金支給実績一覧 〇多文化社会学部における海外短期留学奨学金の給付に関する内規 〇長崎大学海外留学奨学金制度実施要領 〇長崎大学医学部奨学金規程 〇長崎大学医学部研究医コース奨学金要領 〇長崎大学医学部等留学生に対する前田小枝子記念奨学金支給要領 〇長崎大学大学院工学研究科グリーンシステム創成科学専攻研究奨励金規程 〇長崎大学水産・環境科学総合研究科海洋フィールド生命科学専攻研究奨励金規程 〇井上満治医学研究奨励基金について 〇長崎大学入学時給付奨学金規程 〇長崎大学研究奨励金制度実施要領 〇長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系）研究奨励金制度に関する申合せ		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること		○長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）研究奨励金制度に関する申合せ ○長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）特別研究奨励金制度に関する申合せ ○新型コロナウイルス感染症の影響等による困窮医学科生に対する生活支援金の給付について ○医療実習中の行動制限に起因する生活困窮への支援について ○多文化社会学部における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行を受けた中長期留学学生への災害支援金の給付に関する申合せ ○長崎百合野病院・江崎辰男海外留学支援基金について ○田添グローバル交流推進基金奨学金制度に関する申合せ		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること		・大学独自の奨学金制度等を有している場合は、その制度や利用実績が確認できる資料 〇「葉國璽」私費外国人留学生奨学金支給要領 〇「葉國璽」私費外国人留学生奨学金に関する取扱基準 〇情報データ科学部における外国人留学生入学時の来日渡航費用の給付に関する申合せ 〇平成31年4月以降入学工学研究科博士前期課程国際水環境工学コース外国人留学生に対する奨学金給付要項		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること	5 学生に対する経済面での援助を行っていること	・入学料、授業料免除等を実施している場合は、その基準や実施状況が確認できる資料 〇長崎大学入学料，授業料及び寄宿料の免除等に関する規程 〇長崎大学入学料，授業料及び寄宿料免除者等選考細則 〇長崎大学入学料、授業料及び寄宿料免除者選考取扱要領 〇長崎大学卓越した学生に対する授業料免除に関する規程 〇長崎大学大規模災害による被災学生に対する入学料，授業料及び寄宿料の免除等の特例措置に関する規程 〇給与所得者の所得計算式 〇学業成績基準（学部） 〇学業成績基準（大学院） 〇（委員会資料）春季入学料免除(非公表) 〇（委員会資料）秋季入学料免除(非公表) 〇（委員会資料）前期授業料免除(非公表) 〇（委員会資料）後期授業料免除(非公表)		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること		○コロナによる家計急変（前期授業料免除）（非公表） ○コロナによる家計急変（後期授業料免除）（非公表） ○長崎大学大学院工学研究科博士前期課程社会環境デザイン工学コース奨学金給付要項 ○長崎大学大学院工学研究科博士前期課程社会環境デザイン工学コース奨学金に関する取扱い ○社会環境デザイン工学コース災害支援金の給付に関する申合せ ○多文化社会学部及び多文化社会学研究科海外インターンシップにおける奨励金の給付に関する申合せ ○環境科学部における海外短期留学奨学金の給付に関する内規 ○長崎大学原爆後障害医療研究所奨学金内規 ○長崎大学地方創生活動支援金要項		✓	◎

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定
4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること		・学生寄宿舎を設置している場合は、その利用状況（料金体系を含む。）が確認できる資料 〇国際学寮ホルテンシアの入居状況について 〇国際学寮ホルテンシア入居案内について		✓	◎
			・学生寄宿舎を設置している場合は、その利用状況（料金体系を含む。）が確認できる資料 〇長崎大学国際交流会館規則 〇長崎大学国際学寮ホルテンシア規則 〇国際交流会館案内 〇国際交流会館利用状況		✓	
			・上記のほか、経済面の援助の利用実績が確認できる資料	該当無し		

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類 (大部分の資料は、認証評価受審時の資料と同等)	備考	資料等のチェック欄	自己判定

【特記事項】

活動取組 （学生に対する経済面での援助）】（R2年度時点での記入例）
平成30年度より、長崎大学地方創生人材学士プログラムを受講し、卒業後長崎県内の企業等へ就職するなど、地方創生に貢献することを誓約できる学生に対し、就職活動、ボランティア活動、インターンシップ等の活動を支援する「長崎大学地方創生活動支援金」の支給（支給期間2年間）を開始しています。
　また、同支援金の受給学生を総称した「N-ReRe（N：Nagasaki 長崎，ReRe：RegionalRevitalization 地方創生）」を組織することで、地方創生推進本部が実施する諸事業（地域活動，ボランティア等）に対し、学生による企画・運営への協力体制を確立するとともに、学生が地域貢献活動に参加しやすい環境を整備しました。
（地方創生活動支援金受給状況【１人：24万円/年（２万円/月×12月）】）
　2018年度：３年次 40 名
　2019年度：３年次 34 名、４年次 37 名
　2020年度：３年次 13 名、４年次 30 名
　2021年度：３年次　5 名、４年次 13 名
　2022年度：３年次　0 名、４年次　4 名

活動取組 （長崎大学ヘルシーキャンパスプロジェクト）
医学伝習所を祖とする大学の伝統を活かし、学生及び教職員の更なる心身の健康増進を図るため、平成30年度より「長崎大学ヘルシーキャンパスプロジェクト」を実施しています。
「長崎大学ヘルシーキャンパスプロジェクト」における取組として、大学生協との連携により500kcal以下、野菜４種類以上、塩分相当３g以下をコンセプトとした18種類のオリジナル「5・4・3ヘルシー弁当」の販売を開始し現在に至っています。また、生活習慣病の予防を目的とし、学生及び教職員の食生活改善を図るため、ヘルシー弁当を活用したランチセミナーを開催しています。
　また，望まない受動喫煙を防止するため、「長崎大学禁煙実践方針」を平成30年11月に策定し、保健・医療推進センター（現：保健センター）に無料の禁煙外来の開設、及び専門医による禁煙相談及び禁煙補助薬の提供を行いました。さらに、学内の禁煙対策として、次に掲げる取組を実施し、令和２年４月からヘルシーキャンパスに繋がるスモークフリーキャンパスを実現しました。
・敷地内完全禁煙の開始（令和元年８月から）
・教職員採用における喫煙者不採用方針の制定
・入構業者への敷地内禁煙の徹底（契約書に敷地内禁煙の徹底を記載）

【基準４－１～基準４－２に係る判断】

令和3年度の上記根拠資料等に、令和3年6月に機関別認証評価に際して提出した根拠資料等からの大きな変更は無

＊URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/ninsho/index.html

学生の受入に関する自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版)

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	自己判定
領域5　学生の受入に関する基準						
5-1	1 学生受入方針が明確に定められていること	1 学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること	・学生受入方針(アドミッションポリシー）が確認できる資料 〇全学共通アドミッションポリシー 〇全部局のアドミッションポリシー **＊公表位置** (https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/)		✓	◎
5-2	2 学生の受入が適切に実施されていること	２－１ 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること	・入学者選抜の方法一覧（別紙様式５－２－１）		✓	◎
			・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） 〇面接の実施に関する基本的在り方（非公表） 〇全部局の面接要領等　（すべて非公表）		✓	
			・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 〇長崎大学学力・実技等検査科目別委員会規定　（非公表資料） 〇長崎大学入学者選抜実施規則　（非公表） 〇個別学力検査問題点検委員に関する申合せ　（非公表） 〇個別学力検査実施要項　（非公表） 〇実施本部一般選抜実施計画書　（非公表） 〇渡日前入試の実施に向けた実施要項　（非公表）		✓	

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	自己判定
5-2	2 学生の受入が適切に実施されていること	２－１ 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること	・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 〇個別学力検査における「不測の事態」に対する取扱要領 （非公表） 〇面接をおこなうための留意事項 （非公表） 〇全部局の入試実施計画書等 （非公表）		✓	◎
			・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学志願者の準備に大きな影響を及ぼす場合に２年程度前に予告・公表されたもので直近のもの 〇令和４年度入学者選抜要綱		✓	
		２－２ 学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てていること	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 〇長崎大学入学者選抜規則 〇全部局の教授会規程 〇全部局の入試委員会等の内規 （非公表）		✓	◎
			・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等 〇入学者選抜委員会及び大学院入学者選抜委員会の議事録 （非公表資料）		✓	

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	自己判定
5-3	3 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること	3 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと	・認証評価共通基礎データ様式 〇認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式２		✓	×
			・実入学者数が「入学定員を大幅に超える」、又は「大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料： ・学生募集広報活動資料 ・「グリーンサイエンスの研究拠点形成を志向した研究者育成事業フェローシップ」に関する資料 （令和３年６月３０日提出の機関別認証評価資料を記載）		✓	

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	自己判定

【特記事項】

活動取組 （入学者選抜方法の開発・導入）

入学希望者の学力を多面的・総合的に評価・判定する新しい入学者選抜方法（多元的評価方法）として、入学者選抜の一般選抜の個別学力検査（数 学、理科、外国語）への「思考力・判断力・表現力」を評価するための高度な記述式問題の導入、また、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため調査書を配点の対象とするとともに、面接又は受験者の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を筆記により問いかけるペーパー・インタビュー（面接に代わる筆記試験）を全学的に課すことを決定し、令和3年度入学者選抜から実施しました。なお、この新たな入試方法の導入に際しては、受験者に理解を深めてもらうため、本学ウェブサイトの受験生の入試情報サイトに、高度な記述式問題のサンプル問題及び数学の解説動画を、また、ペーパー・インタビューについても、受験の参考となるようサンプル問題を掲載しています。
上記の取組については、「国立大学法人長崎大学の令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果」の中の「教育研究等の質の向上の状況」において、新たな入試方法の実施が注目される事項として取り上げられ、令和3年6月に公表された「国立大学法人等の令和2年度評価結果について」においても、注目すべき点として紹介されています。さらに、上述のペーパー・インタビューの取組は，国立六大学連携コンソーシアム教育連携機構入試専門部会の連携入試事業（平成28年開始）にて本学を中心に開発したものであり、本学及び熊本大学にて令和3年度入学者選抜に導入され、また岡山大学でも令和4年度入学者選抜に導入された。さらに、コンソーシアムを形成する国立六大学以外の国立大学（三重大学，佐賀大学，大分大学）の令和3年度入学者選抜に、その他私立大学においても、比治山大学（令和3年度入学者選抜より）、九州ルーテル学院大学（令和4年度入学者選抜より）に導入されるなど，着実に社会に還元されつつあります。

【改善を要する事項とその対応】

改善を要する事項 （大学院の3専攻において実入学者数が「入学定員を大幅に下回る」状況になっている。）

適正化を図る取組

◆海洋フィールド生命科学専攻（5年一貫制）
入学定員充足率の改善がみられないことから、学生募集の停止（入学定員５人減）を令和4年度概算要求事項として申請することを令和3年4月20日の役員会で決定し、令和4度の募集を停止しています。

◆工学研究科グリーンシステム創成科学専攻（５年一貫博士課程）においては、学部3年生と他大学生を対象とした「工学研究科入試説明会」での専攻の周知及び教員による学部生への指導に伴う入学の促進、令和3年度から開始した「グリーンサイエンスの研究拠点形成を志向した研究者育成事業フェローシップ」による経済的な研究活動支援を実施したことにより、令和4年度入学者（令和3年度に入試を実施）は5名となり、入学定員５名を満たすことができていますが、過去5年間の「入学定員に対する平均比率」が、60%であるためまだ改善には至っていません。

◆医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻（博士後期課程）の令和4年4月 入学（１月募集）の状況について、募集人員９人のうち入学者は4名（44.4%）となっており、入学定員を大幅に下回る状況です。
入学者数の適正化を図るための取組については、以下の取組を行っているところです。

① オリエンテーションで、創薬研究者が世界で戦っていくためには「博士号を持っていること」 が必須であること、博士後期課程修了後の就職先の案内や、経済的支援があることを博士前期課程の学生に直接周知している。

対応する大学評価基準No	点検(分析)・評価項目	確認事項 (分析内容)	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	自己判定

② 本学薬学部を卒業して数年の若手を講師とした「卒業生講演会」を毎年開催しており、講師の若手卒業生の何名かは博士後期課程修了者から選び、博士号を取得する重要性についても語って貰っている。
なお、同じ内容の講演会を、１年生の必修講義に盛り込むことで、必ず在学中に学生らが一度は出席することが出来るカリキュラムを組んでいる。

③ 薬学部おいて「薬学フォーラム」を毎年開催し、製薬企業等で重役ポジションにある方々を講師（博士号取得者がメイン）として講演会を開催している。
さらに、この講演会を薬科学科4学年の必修講義 に盛り込むことで、必ず在学中に学生らが一度は出席することの出来る様にカリキュラムを組んでいる。

④ 学生の研究ニーズに幅広く応えるため、協力分野の再編に取り組んでいる。学内の他領域（医学系、歯学系、高度感染症研究センター）と連携すると伴に新たに協力分野を5分野設置し、令和3年度薬学部 入学者から配属（3年次）が可能となる予定である。博士後期課程に至るまで配属される研究室選びの多様化とともに、博士号取得までの研究意欲向上を図る。

⑤ 博士後期課程（又は博士課程）進学に興味を持つ者を対象とした講義科目「先端薬学実験スキルⅠ」及び「先端薬学実験スキルⅡ」を学部3、4年次の選択科目として令和5年度より開講予定である。

⑥ 創薬科学・医療科学に関する各研究室内又は所属研究室が共同研究を実施している薬学部内の研究室において、様々な先端薬学実験スキルを学び、グローバルに活躍する研究者としての素養や共同研究実施 の基礎をさらに身に付けさせ、より高度かつ独創的な多くの研究に挑戦できる機会が増えることにより、学生の博士号取得までの研究意欲向上を図る。

【基準５－１～基準５－３に係る判断】

基準5-3を除き、引き続き基準を満たしていると判断

＊URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/disclosure/published/legal/ninsho/index.html

教養教育における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版)

教養教育

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	１．学位授与方針が具体的かつ明確であること	１－１ 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✔	◎		
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✔			
6-2	２．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	２－１ 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✔	○	法人評価（現況分析）の留意事項より 指摘内容： ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より 確認内容： 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 対応状況： 組織的対応として、教務委員会で検討した参考例を基に、各学部のカリキュラム・ポリシーに全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。それらの改訂案については、教務委員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✔			
		２－２ 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔	◎		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－1 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			教養教育のカリキュラム・マップ： ・長崎大学全学共通カリキュラム・ポリシー（科目に関する別表） ・教養モジュールテーマ科目案内（モジュール科目星取表）		✔			
			教養教育のカリキュラム・ツリー （各学部(学科）のカリキュラム・ツリーを参照）		✔			
			教養教育　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✔			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			教養教育授業時間割		✔			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✔			
		3－2 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当無し	－	○	教養教育の実施に係る申合せ ２．授業計画(シラバス)の確認に関する事項 ３．授業実施方法に関する事項 対応状況： 教務委員会で、「教養教育の実施に係る申合せ」を策定し、決定した。 【対応済み】	
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			・教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ・シラバス作成支援マニュアル	45時間の学修時間についてはシラバス作成支援マニュアルに明記	✔			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当無し	－			
		3－3 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✔	◎		
			長崎大学教養教育履修規程	第21条～第24条	✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	教養教育カレンダー URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/event/file/R03calendar.pdf	※特記事項	✔	◎	クオーター制については、教養教育及び専門教育で科目の特性や学修効果を勘案し、クオーター制に合致する科目を選定している。また、「授業アンケート」において学生に対して学びのふり返りの機会を設けているが、セメスター開講科目との比較においても授業期間の違いにおけるデメリットは挙がっていない。	
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげているこ			✔	○		
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	教養教育シラバス（Webシラバス　＊１）		✔	○	法人評価（現況分析）の留意事項より 指摘内容①： 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より 確認内容①： 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 確認内容②： 一部の授業科目において，授業方法，授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 対応状況： 教務委員会で、「教養教育の実施に係る申合せ」を策定し、決定した。 【対応済み】	
			教養教育の実施に係る申合せ ２．授業計画(シラバス)の確認に関する事項 ３．授業実施方法に関する事項		✔			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✔	○	認証評価訪問調査での確認事項より（教養教育） **確認内容：** 別紙様式6－4－4において、教養教育について教育上主要と認められる授業科目の担当状況について確認できない。別紙様式６－４－４に追記する形で資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 教養教育について教育上必要と認められる授業科目の担当状況が報告されていなかったため，別紙様式６－４－４に教養教育科目を追加記載した。 【対応済み】	
			教養教育シラバス(Webシラバス　＊１）		✔			
		４－９ 夜間において授業を実施している課程を置いている場合は、配慮を行っていること	実施している配慮が確認できる資料： ・長崎大学における夜間主コースの教養教育の履修に関する規程	例：１日２コマ，最低必要単位数は昼間コースより少ない。	✔	◎		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－1）		✔	○	認証評価訪問調査での確認事項（教養教育） **確認内容：** 【教養教育の履修ガイダンス及び履修相談の体制が適切に実施されていることが確認にできない。 組織的に実施されていることが確認できる資料の提出をお願いしたい】 **対応状況：** 【左記資料の提出により対応済み】	
			教養教育の実施に係る申合せ ６．新入生に関する事項 Ⅰ　オリエンテーションの実施に関する事項 Ⅱ　初習外国語の決定法に関する事項		✔			
			教養教育のオリエンテーション資料集	令和３年度分	✔			
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）	該当無し	―			
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）	キャリア支援室へ確認　無	－			
			インターンシップの実施状況がわかる資料：無	キャリア支援室へ確認　無	－			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）	令和３年度分	✔	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： 留学生チューター制度 URL：　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✔			
			長崎大学教養教育履修規程 ・留学生用科目 ・外国人留学生等の履修の特例	第19条 第20条	✔			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・シラバス一部　有		✔			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✔			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：無	障がい学生支援室確認　無	―			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： 障がい学生支援室概要（アクセスサポーター　①学習支援欄に記載）	障がい学生支援室へ確認	✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✔	◎		【厳格な成績評価のためのガイドラインの改正】 CPとDPで明示した学士の資質を保証するため、2018年10月に「長崎大学成績評価ガイドライン」を改正しました。同改正では、達成度評価への転換、成績評価基準の明確化とともに、レポート・プレゼンテーション等の学生のパフォーマンスに対する評価にルーブリック等の客観的な基準を用いること等を定義しています。
			長崎大学教養教育履修規程	第15条	✔			
			長崎大学成績評価ガイドライン		✔			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	成績評価基準のウェブサイトへの掲載： 教養教育（全学教育）の履修（考査・試験・成績等） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/take/2021/exam/index.html		✔	◎		
			教養教育のシラバス(Webシラバス　＊１)		✔			
			教養教育のオリエンテーションの配布資料等： ・学生便覧の中の重要事項を抜粋してHPに掲載 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/	令和４年度版 P14	✔			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	各小委員会又は教養教育専門部会で作成する成績分布に関する資料	令和３年度分はこれから実施予定	—	○	認証評価訪問調査での確認事項（教養教育） 確認内容： 【教養教育の成績分布状況について、教務委員会または教養教育実施専門部会において審議した資料が確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい】 対応状況： 教養教育の成績分布については、教務委員会決定による長崎大学成績評価ガイドライン第９条において、教養教育実施専門部会及び科目別小委員会で確認することとなっており、必要に応じて改善を行う体制を明示している。しかしながら、実際には一部会議体での確認漏れが生じているため、教務委員会で、「教養教育の実施に関する申合せ」において成績分布の確認に関する事項を策定し、決定した。 【対応済み】	
			教養教育の実施に係る申合せ ４．成績分布の確認に関する事項		✔			
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・教養教育実施専門部会等の議事録	令和３年度分はこれから実施予定	—			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✔			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✔			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・教養教育における成績の疑義申し立てに関する申合せ		✔	○	法人評価（現況分析）および認証評価訪問調査での指摘及び確認事項 指摘及び確認内容： 【成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。】 対応状況： 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、教務委員会で「教養教育における成績の疑義申し立てに関する申合せ」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： ・成績公開日及び 成績に関する疑義を受付期間の周知のためのポスター		✔			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✔			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （教務委員会申し合わせ事項）		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	７－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		―	―		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		―			
			（国家試験合格状況が分かる資料名を該当部局のみ記入）		―			
			受賞等の状況 記載例：長崎大学ホームページ掲載　2件　等		―			
		７－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		―	―		
					―			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： *（記載例）新聞2件、長崎大学広報誌CHOHO 1件*		―			
6-8	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	７－３ 卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✔	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用）	大学教育イノベーションセンターHP	✔			
			学生からの意見聴取（学修ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・大学教育イノベーションセンターHP (学内専用）	大学教育イノベーションセンターHP	✔			
		７－４ 卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✔	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （＊一定年限を経過した卒業（修了）生の全学的アンケートは4年に1回実施しており、次回は令和4年度の実施予定。なお、卒業（修了）後1年目の全学的アンケートは、集計に時間を要するため、報告は令和４年度となる。）：		―			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・大学教育イノベーションセンターHPの「進路・卒業後」内の[学内専用]卒後・終了後１年目調査（2021年度）	大学教育イノベーションセンターHP	✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	7－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✔	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料　（全学的調査は、原則3年に1回実施し、令和3年度は未実施。）：	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	―			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料　：大学教育イノベーションセンターHPの「進路・卒業後」内の[学内専用]卒後・終了後１年目調査（2021年度）	大学教育イノベーションセンターHP	✔			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください

　アクティブ・ラーニングへの転換及び充実に向けた学生対象の『ラーニング・ティップス』及び『長大生の自立的な学びの仕組み』、教員対象の『ティーチング・ティップス』及び『アクティブ・ラーニングガイドマニュアル』の発行を行い、さらにホームページでの公開を行い、学びの質の向上を図っている。

計画・評価本部による基準の判断　総括表（学部）

領域６　教育課程と学習成果に関する基準												
大学評価基準No	自己点検・評価項目	計画・評価本部による確認										
		多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
6-1	１．学位授与方針が具体的かつ明確であるか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6-2	２．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であるか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であるか	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われているか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されているか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られているか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	◎	◎	◎

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）

多文化社会学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			多文化社会学部のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表の位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の多文化社会学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務委員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			多文化社会学部のカリキュラム・ポリシー ・国際公共政策コースのカリキュラム・ポリシー ・社会動態コースのカリキュラム・ポリシー ・共生文化コースのカリキュラム・ポリシー ・言語コミュニケーションコースのカリキュラム・ポリシー ・オランダ特別コースのカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表の位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			多文化社会学部のディプロマ・ポリシー 多文化社会学部のカリキュラム・ポリシー ・国際公共政策コースのカリキュラム・ポリシー ・社会動態コースのカリキュラム・ポリシー ・共生文化コースのカリキュラム・ポリシー ・言語コミュニケーションコースのカリキュラム・ポリシー ・オランダ特別コースのカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			多文化社会学部各コースのカリキュラム・マップ		✓			
			多文化社会学部各コースのカリキュラム・ツリー		✓			
			多文化社会学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			多文化社会学部開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			多文化社会学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当無し	－	◎		（**「英語カフェ」の開催**） 実践的かつ生きた英語力を養うべく、授業とは独立した「英語カフェ」を学部専用の「多文化ラウンジ」で毎日開催しています。プレゼンテーションやノート・テイキングなど英語での授業や留学に必要なスキルを身に付け、IELTS やTOEFL に必要な「英語での教養」に触れ、日本の文化や歴史について英語で語り、ニュースや社会問題について意見を交わす、といった様々なトピックを通して、英語力に広がりと深さを与えています。「英語カフェ」は、主として１・２年生を対象にした語学プログラムですが、本学部の全学生を対象に、海外協定校の職員や留学経験者を講師として、留学プログラムや留学生活の紹介・情報提供を行う「国際交流フェ」も随時開催しています。
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・多文化社会学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当無し	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学多文化社会学部規程	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	多文化社会学部学事カレンダー (学生便覧　＊２）	令和4年度版 トップページ	✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	URL：　http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/student/handbook.html		✓	◎		
			多文化社会学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	多文化社会学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって，全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　多文化社会学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 【対応済み】	**（オランダ特別コースの開設）** 本学部は、オランダ語圏について、人文学・社会科学の様々な角度から学ぶ日本に唯一のオランダ特別コースを開設しており、協定校であるライデン大学（オランダ）と、活発な学生・教職員の交流を行っています。ライデン大学より招へいした教授が、本学部におけるオランダの社会や文化に関する講義科目を担当することによって、実質的な交流の基盤が確立しました。
			多文化社会学部におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			多文化社会学部における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			多文化社会学部シラバス（Webシラバス）　＊１		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－９ 夜間において授業を実施している課程を置いている場合は、配慮を行っていること	実施している配慮が確認できる資料： ・長崎大学における夜間主コースの教養教育の履修に関する規程	例：１日２コマ，最低必要単位数は昼間コースより少ない。	✓	◎		
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		１年次終了時点で必須となる TOEFL ITP (PBT) 500 点相当の達成と留学に必須となる IELTS 及び TOEFL iBT での規定スコアの達成に向けた体系的な指導と支援を行っています。
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・令和3年度インターンシップ受入れ先一覧		✓			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL：　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：	該当なし	－			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当無し	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	6．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6－1 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学多文化社会学部規程	第18条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		6－2 成績評価基準を学生に周知していること	多文化社会学部学生便覧　＊２	令和4年度版 P.69-P.70	✓	◎		
			多文化社会学部のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			多文化社会学部のオリエンテーションの配布資料等： ・多文化社会学部学生便覧		✓			
		6－3 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	多文化社会学部成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・多文化社会学部教務委員会等の議事録	令和4年4月13日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： 学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		6－4 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・多文化社会学部・多文化社会学研究科成績評価に関するガイドライン ７．説明責任 ・多文化社会学部成績の疑義申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「多文化社会学部成績の疑義申し立てに関する申合せ」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： ・多文化社会学部学生便覧　＊２	令和4年度版 P.118	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・多文化社会学部・多文化社会学研究科成績評価に関するガイドライン ７．説明責任 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓	◯		
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則	第45条,第46条	✓	◎		
			長崎大学多文化社会学部規程	第6条				
			長崎大学多文化社会学部教授会規程	第3条				
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： 多文化社会学部学生便覧　＊２	令和4年度版 P.23	✓	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	多文化社会学部教授会議記録（非公表資料）	令和3年9月16日 令和4年3月3日 令和4年3月17日	✓	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・教員免許取得者一覧, ・日本語教員基礎資格取得者一覧		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料：	該当無し	－			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1X49-01-01.html		✓			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P.13	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述（学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当なし	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （全学的調査は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません。）：	該当無し	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

特記事項：具体的なてんけん大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

（オランダ特別コースの開設）

本学部は、オランダ語圏について、人文学・社会科学の様々な角度から学ぶ日 本に唯一のオランダ特別コースを開設しており、協定校であるライデン大学 （オランダ）と、活発な学生・教職員の交流を行っています。オランダ人教員が、本学部における講義科目を 担当することによって、実質的な交流の基盤が確立しています。

（学際的教育の推進）

本学部は、社会的・文化的・言語的多様性の視点から、既存の人文社会系の諸 学問分野を横断的に再編・統合することによって、新たな学びの領域としての 「多文化社会学」を創り出すことを目指しています。このため、法学、政治学、経済学、社会学、人類学、民俗学、歴史学、文化研究、思想、宗教学、言語学 など多様な専門分野をもち、かつ、高度な外国語運用能力とコミュニケーション能力を有する人文社会系グローバル人材を育成する観点から、多様な国籍、バックグラウンドをもった教員構成を目指しており、外国籍教員や女性教員も 積極的に採用しています。（2021年度終了時点での専任教員構成…全体：33名， 外国籍教員及び日本に帰化した元外国籍の教員：10 名（30.3％）、女性教員：８名（24.2％））

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

教育学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通ディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			教育学部のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓		法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 対応状況： 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の教育学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務委員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			教育学部のカリキュラム・ポリシー		✓	○		
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			教育学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラムポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			教育学部のカリキュラム・マップ		✓			
			教育学部各専攻のカリキュラム・ツリー		✓			
			教育学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			教育学部開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html）		✓			
			教育学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当なし	ー	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	ー			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・教育学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	ー			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学教育学部規定	第7条	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること			✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	教育学部　カレンダー		✓	◎		
			教育学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	教育学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　教育学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	
			教育学部・教育学研究科におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			教育学部・教育学研究科における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			教育学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		・学生の学習支援のためのポートフォリオの作成をオンラインシステムで入力できるように整備し、それを基にしたゼミ指導の教員やクラス担当教員による面接を実施しています。
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		・例年教員採用試験合格者を対象に長崎市教育委員会のインターンシップが行われていますが、加えて令和元年度より離島教育プログラム修了者及び長崎県の離島採用枠に合格した４名の学生を対象に教育学部から離島の教育委員会への依頼によるインターンシップを開始しました。
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・離島教育プログラムサポート部会議事要旨（非公表資料） ・教育学部学生便覧　＊２ ＊２（URL：　http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/handbook/）	令和4年度版 P.34	✓			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：	該当なし	－			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当なし	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当なし	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学教育学部規定	第17条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	教育学部学生便覧　＊２	P.7～P.8	✓	◎		
			教育学部のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			教育学部のオリエンテーションの配布資料等： 教育学部学生便覧		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	教育学部成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： 教育学部教務委員会等の議事録（非公表資料）	令和4年6月2日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： 学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・教育学部における履修等に関する内規 （成績評価に関する申立て）	第19条	✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「教育学部における履修等に関する内規」を改正し、成績評価に関する申立てに関する条文を追記した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 教育学部学生便覧　＊２	令和4年度版 P.15	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則	第45条,第46条	✓	◎		
			長崎大学教育学部規定	第19条	✓			
			長崎大学教育学部教授会規定	第3条	✓			
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・教育学部学生便覧　＊２	令和4年度版 P.8	✓	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	教育学部教授会議記録　（非公表資料）	令和4年3月3日	✓	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： 教育職員免許状出願（予定）者一覧表 教育職員免許状出願（予定）者数調		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況　　１６*件* ・学生の受賞状況　　２*件*		✓			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL：　https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1S02-01-01.html		✓			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： 教育学部キャンパスガイド2023（令和4年6月発行予定）	2023版 卒業生からのメッセージ欄	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－３ 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学生代表懇談会概要		✓			
		８－４ 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果(学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		８－５ 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料　（全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）：	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・教育学部並びに長崎県及び長崎市教育委員会連携推進協議会協議事項回答・意見書（非公表資料）		✓			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

（インクルーシブ教育の推進）

インクルーシブ教育を推進するために、教育学部・教育学研究科と附属学校園が連携して、文部科学省より平成 28 年度に「発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究事業」を、平成 29 年度には「特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業」を受託し、附属学校園や公立学校のインクルーシブ教育・特別支援教育の支援体制を充実させるとともに、教員や保護者に対する啓発・研修活動をしています。毎年、附属学校園の子ども（平成 28 年度 25 名、平成 29 年度 32 名、平成 30 年度 30 名、令和元年度 35 名）を対象に、個別支援と保護者支援を行い（原則週１回１時間）、すべての事例についてケース会議を毎年７月と２月に実施しました。また、全児童生徒を対象とした子どもの行動的・情緒的問題を把握するスクリーニング検査（SDQ）を導入し、附属学校や家庭での教育的支援に役立てる手法の検討会を行いました（教職員参加者 51 名）。附属小学校と附属中学校では、大学教員とインクルーシブ教育支援アドバイザーが参画する校内委員会を開催し（月１回を原則）、生徒指導の改善を図りました。さらにその成果を地域に展開・還元するため、長崎県教育センターと連動した現職教員研修を実施しました（平成 29 年度 147 名、平成 30 年度 300 名が参加）。特にインクルーシブ教育推進は、毎年、特別支援教育公開セミナーも行い（平成 28 年度参加者 166 名、29 年度 244 名、30 年度 149 名、令和元年度 141 名）、平成 30 年１月には附属小学校で公開研究発表会も開催しました（参加者数約 300 名）。以上のように、多様な子どもの指導と支援について、地域の学校や県教育センターと継続的に連携を図ることで、発達障害の可能性のある児童生徒の教育支援活動を促進できました。

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

経済学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			経済学部のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の経済学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			経済学部のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			経済学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 教育課程の編成が体系性を有していることが確認できない **対応状況：** 経済学部における教育課程の編成については、体系性を有しており、確認のための根拠資料としてカリキュラム・マップ及びツリーを提出した。 【対応済み】	**（国際ビジネス（plus）プログラム）** 地球「国際ビジネス（plus）プログラム」は、2012 年度に採択された「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業」を基に2014 年度に新設されました。このプログラムは、貧困問題や環境問題などの地球規模の諸課題に対して多様な文化や歴史的背景を理解しながら各々の利害対立を乗り越えて解決を目指す「志」、すなわちグローバル・ソーシャル・レスポンシビリティー（GSR）マインドを有し、英語による高いコミュニケーション能力や経済学・経営学の専門知識を活用して解決策を見出すことができるグローバル人材を育成することを目標としています。経済学部の４年間で学ぶ「国際ビジネスプログラム」と３年以上４年未満で早期卒業し大学院へ進学する「国際ビジネスplus プログラム」を総称して「国際ビジネス（plus）プログラム」と呼んでいます。「国際ビジネス（plus）プログラム」の修了要件は、(1)卒業要件を満たすこと。(2)指定された科目群の単位を取得していること。(3)通算３月以上の海外留学を行い，留学先の大学で単位を修得していること（ただし、やむを得ない事情があると教授会が認めた場合は、別に定める代替活動をもって代えることができる)。(4)Advanced Academic Writingを履修し、GSR 関連テーマで英語の卒業論文を作成していること、又はGSR 関連テーマで日本語の卒業論文及び英語の要約文を作成し、これについてプレゼンテーションを行っていることです。 毎年度30名程度の参加者がいますが、修了にまでたどり着ける人数は限られています。プログラム完成年度である2017年度に最初の修了者を出し、以降、修了者数は、2017年度(3人）、2018年度(5人）、2019年度(5人）、020年度（3人）、2021年度（3人）となっています。 **（ビジネス実践力育成プログラム）** 本学部では、2016年度に、経済学部学生と県内経営者・経営候補者との共修教育プログラムを設計し、2017年度にプログラム確立を目的とした社会人との共修科目を開講し、試行的に離島・へき地集中プログラムを実施しました。そして、2018年度からは、前年度に実施した試行的なプログラムを基に、60名を定員とする正規の教育プログラム「ビジネス実践力育成プログラム」を開始しました。　このプログラムはでは、課題を見つける力、原因を突き止める力、解決策を考える力、解決策を実行する力を獲得するため、２年次から実際に企業や行政において働く人々と共に少人数のグループワーク行い、３年次には，クライアント（長崎県内企業や自治体）と学生がチームを構成し、１年をかけクライアントの抱える経営課題の解決に向けて一緒に取り組むという実践的な教育を行っています。 「ビジネス実践力育成プログラム」は地域企業や自治体と協働で、経済・経営の実践的な知識・能力と社会人基礎力を持つ地域人材を育成するための教育プログラムとして多くの実績を上げ、マスコミ等にも取り上げられています。当プログラムの参加者数は、2018年度61名、2019年度48名、2020年度58名、2021年度40名となっており、社会からの要請に応えて、過疎化が進む地域における地方創生事業支援において主導的な役割を果たせています。
			経済学部のカリキュラム・マップ		✓			
			経済学部各コースのカリキュラムツリー		✓			
			経済学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システムURL： https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/）		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			経済学部開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			経済学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当なし	－	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・経済学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学経済学部規定	第20条	✓			
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	経済学部学事カレンダー （学生便覧　＊２）	2022年度版 トップページ	✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	＊２（URL：　http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/under_g/guidance.html#handbook）		✓	◎		
			経済学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	経済学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　経済学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	
			経済学部における学士課程教育の自己点検に関する申合せ		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			経済学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		・履修指導において重要な役割を果たす学修ポートフォリオの実施体制について、令和元年度に見直しを行い、学生に意義と入力方法を積極的に伝え、同時に教員側の意識の向上を図りました。その結果、学生の入力率に大幅な改善が見られています。
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： 実績（受入企業名など）のまとめ		✓			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・特別聴講学生（留学生）への履修登録案内		✓			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（アクセスサポーター実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当なし	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： ・特別入試での入学者に対するリメディアル科目（放送大学）め受講を推奨している。		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学経済学部規定	第17条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	経済学部学生便覧　＊２	2022年度版 昼）P.20 夜）P.25	✓	◎		
			経済学部シラバス（Webシラバス　＊２）		✓			
			経済学部のオリエンテーションの配布資料等： ・学生便覧		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	経済学部成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・経済学部教務委員会等の議事録（非公表資料）	該当無し	－			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化	全学ガイドラインに基づく対応	✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・成績評価に関する異議申立てについて	全学ガイドラインに基づく対応	✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「成績評価に関する異議申し立てについて」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： ・学生便覧　＊２	2022年度版 昼）P.20 夜）P.25	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）	全学ガイドラインに基づく対応	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則 長崎大学経済学部規定 長崎大学経済学部教授会規定	第45条,第46条 第23条 第3条	✓ ✓ ✓	◎		
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・経済学部学生便覧(昼間コース　＊２） ・経済学部学生便覧(夜間主コース　＊２）	2022年度版 （昼）P.2、P.77（修得すべき単位数）P.60（修業年限） （夜）P.3、P.78 修得すべき単位数）P.60（修業年限）	✓	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	経済学部教授会議記録 （非公表資料） ※日付を記載して下さい。	令和4年3月9日	✓	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・教育職員免許状出願者一覧表		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料：	該当無し	－			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1C09-01-01.html		✓			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P26	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン	全学ガイドラインに基づく対応	✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述（学内専用データ）	卒判資料による	✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・卒業生（成績優秀学生）との懇談会を実施し学部運営の参考にしている。		✓			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン	全学ガイドラインに基づく対応	✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン	全学ガイドラインに基づく対応	✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）：	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

医学部医学科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✔	◎		医学科4-5年次科目「臨床実習」及び5-6年次科目「高次臨床実習」で実習生を受け入れた離島・地域病院の指導医及び派遣実習生の双方から得たフィードバックを学生の進路等社会における顕在・潜在ニーズとして、新ディプロマポリシーへ反映させました。 また、上記社会のニーズに加え、高校生側のニーズに対しても、入学選抜前の高校生が自らの適性を踏まえ、自身で進路選択できるよう、令和３年７月に「地域医療ゼミナール」を開催し、高校３年生（１浪生含む）129名の参加があり、入学後にとったアンケートでもゼミナールの有用性が確認されたところです。
			医学部医学科のディプロマ・ポリシー		✔			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　） 令和４年３月９日に医学科会議で承認された、新しいディプロマポリシー及び下位項目を上記URLに更新します。		✔			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✔	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の医学部医学科のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			医学部医学科のカリキュラム・ポリシー	上記ディプロマ・ポリシーの更新に伴い、令和４年度にカリキュラム・ポリシーの更新を進める予定です。	✔			
			公表位置 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/ ）	同上	✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			医学部医学科のカリキュラム・マップ	令和４年４月20日医学科会議で更新案が承認済み。	✔			
			医学部医学科のカリキュラム・ツリー	該当無し	－			
			医学部医学科　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✔			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			医学部医学科開設授業科目一覧		✔			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html）		✔			
			・医学部医学科シラバス（Webシラバス　＊１） ・医学部医学科授業計画（シラバス）　＊２ ＊２　URL：https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/data/002_syllabus/2022/tougou.pdf）		✔			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果： 2017年医学教育分野別評価による評価報告書 URL：　https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/contents/07_evaluation.html		✔	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・医学部医学科シラバス（Webシラバス　＊１） ・医学部医学科授業計画（シラバス）　＊２		✔			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当無し	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学医学部規程（保健学科のみ記載）	該当無し	―			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	医学部医学科　授業時間割		✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	医学部医学科　授業時間割		✓	◎		
			・医学部医学科シラバス（Webシラバス）　＊１ ・医学部医学科授業計画（シラバス）　＊２		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	・医学部医学科シラバス（Webシラバス）　＊１ ・医学部医学科授業計画（シラバス）　＊２		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　医学部医学科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	**（臨床実習及び高次臨床実習）** 必須科目の臨床実習をとおして学内外インターンシップを実施しています。目指す医師像や自身の適性、キャリアプランをもとに本学大学各診療科及び県内医療機関をローテーションで回る臨床実習に加え、自身が実習先診療科を選択できる高次臨床実習があります。臨床実習及び高次臨床実習では、「離島医療（総合診療）・保健実習」や「地域包括ケア・家庭医療」のタームを設けるといった長崎の医療現場の特色を反映した実習受入先が設けられています。なお、高次臨床実習では本学が学術交流協定を提携している海外の医療機関等を実習先とすることが可能となっています。
			医学部医学科におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			医学部医学科における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			・医学部医学科シラバス（Webシラバス）　＊１ ・医学部医学科授業計画（シラバス）　＊２		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	・学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２） ・医学部医学科授業計画（シラバス）　＊２	シラバスでは、各科目で責任者のオフィスアワーを掲載している。	✓	◎		
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・令和3-4年度臨床実習の手引き ・令和3-4年度　高次臨床実習学習要項		✓			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４） ・合理的配慮依頼	合理的配慮依頼は、令和４年４月20日医学科会議で更新を報告、新規案件・更新が生じるたびに医学科会議で報告する。	✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・「医学科学生の手引き」中、6 学生事項（3）担任制について ・「医師国家試験対策メンターの着任について」		✓			
			・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204					
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：	該当無し	－			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要 ・新入生オリエンテーション次第、配付資料（保健センターカウセラーによるガイダンス資料） ・新入生研修会次第、配付資料（障がい支援室によるガイダンス資料） ・「アシスト広場」（障がい学生支援室リーフレット）	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当無し	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	6．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6 － 1 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学医学部規定	第12条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		6 － 2 成績評価基準を学生に周知していること	「医学科学生の手引き」中、長崎大学医学部規程	令和3年度Ｐ.10	✔	◎		
			・医学部医学科シラバス（Webシラバス）　＊１ ・医学部医学科授業計画（シラバス）　＊２		✔			
			医学部医学科のオリエンテーションの配布資料等： 「医学科学生の手引き」中、長崎大学医学部規程	令和3年度Ｐ.10	✔			
		6 － 3 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	医学部医学科成績分布表	令和３年度分布表は令和４年６月に教務委員会及び医学科会議で報告。	✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・医学部医学科教務委員会等の議事録	同上	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf	令和４年度更新予定。	✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		6 － 4 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・学生の成績評価に関する異議申立てに関する取扱い要領		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「学生の成績評価に関する異議申立てに関する取扱い要領」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 「医学科学生の手引き」中、「（5）専門教育科目の試験」項目⑩	令和3年度Ｐ.44	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ	令和３年度の申請事例なし	✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則	第45条,第46条	✓	◎		
			長崎大学医学部規定	第18条				
			長崎大学医学部教授会規定	第3条				
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： 「医学科学生の手引き」中、（3）「進級判定に関係する申合せ」	令和3年度P.24 HPについては、令和４年度変更を反映予定。	✓	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	医学部医学科会議記録　（非公表資料）	令和4年1月5日	✓	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）	令和３年度卒業生のデータを反映する。	✔			
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）	令和３年度卒業生のデータを反映する。	✔			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・医師国家試験合格状況 （2022入学案内） URL：　https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/data/2022pamph.pdf	第１１６回医師国家試験合格状況	✔	◎		
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況　　1件 ・学生の受賞状況　　1件		✔			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✔			
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL：　https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-4M02-01-01.html		✔			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料：			◎		
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学広報誌CHOHO vol.75（2021春季号） https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/publicity/file/c075-3.pdf	P.5	✓			
			・長崎大学広報誌CHOHO vol.79（2022春季号） https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/publicity/file/c079-3.pdf	P.5	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－３ 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・カリキュラム評価委員会議事録		✓			
		８－４ 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当無し	ー			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	ー			
		８－５ 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・全学的な就職先等調査については、原則3年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当無し	ー			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	ー			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

医学部保健学科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			医学部保健学科のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容**： 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の医学部保健学科のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			医学部保健学科のカリキュラム・ポリシー ・看護学専攻のカリキュラム・ポリシー ・理学療法学専攻のカリキュラム・ポリシー ・作業療法学専攻のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	○	認証評価訪問調査での指摘事項(医学部保健学科） **確認内容：** カリキュラム・マップで各科目に割り当てられた学位授与方針において示されている学生が習得するべき能力ついて，それらが段階的に修得できるものなっていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい **対応状況：** 確認のための根拠資料として、詳細シラバス「成人看護学総合演習（3年前期）」，ルーブリック「成人看護学実習Ⅰ（3年後期）」を追加提出した。 　なお，ディプロマ・ポリシーにおいて示されている学生が修得するべき能力について，それらが年次毎に段階的に修得できることが判るよう標準履修年次を追記したカリキュラム・マップも提出した。 【対応済み】	
			医学部保健学科のディプロマ・ポリシー 医学部保健学科のカリキュラムポリシー ・看護学専攻のカリキュラム・ポリシー ・理学療法学専攻のカリキュラム・ポリシー ・作業療法学専攻のカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		保健学科は，専攻ごとに定められたカリキュラム・マップに示されているように，１年～４年生へ教育を実践します。看護学専攻においては，１年次は，人間・環境・看護・健康とは何かについて学びます。２年次は，看護の対象と看護実践のための基礎的知識・技術を。３年次は，具体的な看護実践について学びます。４年次は，チームの中の看護専門職者としての責務とそれを科学的に探究する方法について学びます。 理学療法学専攻においては，１年次は，理学療法学の概論や基礎となる解剖学・生理学・運動学を、２年次は，理学療法学の対象となる疾患について学びます。３年次は，本格的に理学療法学の専門科目を学び，４年次は，臨床実習にて理学療法学の実践と理学療法に関わる研究法を学びます。 作業療法学専攻においては，１年次は，作業療法学の概論や基礎となる解剖学・生理学・運動学を学び、２年次は，作業療法学の対象となる疾患について学びます。３年次は，本格的に作業療法学の専門科目を学び，４年次は，臨床実習にて作業療法学の実践と作業療法に関わる研究法を学びます。 ３専攻ともに，入門科目から専門基礎科目，専門科目，そして発展的専門科目へと学びを深め，展開していきます。
			医学部保健学科のカリキュラム・マップ		✓			
			医学部保健学科カリキュラム概念図及び各専攻のカリキュラム・ツリー		✓			
			医学部保健学科　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			医学部保健学科開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			医学部保健学科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果： 令和3年度看護学教育評価（適合） （認定期間2022年4月1日～2029年3月31日）		✓	○	認証評価訪問調査での確認事項(医学部保健学科) **確認内容：** 【国際医療に関する能力を全学生が修得できる仕組みとなっていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい】 **対応状況：** 保健学科の全学生が受講する必修科目のうち，国際医療に関する授業内容について明示されたシラバス「医療と社会Ⅱ」を追加資料として提出した。 【対応済み】	
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・医学部保健学科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当無し	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学医学部規定	第13条	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	医学部保健学科　学年歴 （医学部保健学科学生の手引き　＊２）	令和3年度版 トップページ	✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	＊２　http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/student/index.html		✓	◎		
			医学部保健学科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	医学部保健学科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　医学部保健学科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	保健学科では、教務委員会を中心に本学科の教育理念、教育目標を基に教育内容を精選してきました。保健学科のカリキュラムは、講義科目単位数（約 50%）、演習科目単位数（約 20%）、実習科目単位数（約 30%）で構成されています。専門基礎科目では、主に知識修得を主観に置いた講義主体の科目となっていますが、専門科目では演習・実習科目がほとんどを占めています。関わる力、表現する力、想像する力を意識したアクティブラーニング（グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワーク、ディベート，技術演習等）が多くの科目で取り入れられています。主体的学習促進支援システム（LACS）は８割以上の教員が活用し、学生との双方向教育を行っています。 　また、シラバスには，学生の思考を活性化させるための授業手法として、６つ（A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動、B. 多角的に考えるために他者と関わる活動、C. 技能修得のために実践する活動、D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動、E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法、F. 教員からの講義のみで構成される）が示されており、どの様な活動を行っているか、シラバスに明記し、学生へ取り組むべき方向性を明確に示しています。
			医学部保健学科におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			医学部保健学科における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			医学部保健学科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		保健学科では教育の充実を図るために、看護学専攻では教員一人当たり、１年から４年生までの８～14 人の学生の担当となるアドバイザーグループをつくり、きめ細やかな学生サポートを行っています。理学療法学・作業療法学専攻では、学年ごとの担当・副担当教員を決め、学生を支援しています。このアドバイザー制や担任制により、成績不良、学修困難などをきたしている学生の個別指導等の対応が早期に図れるようになり、細やかな対応ができています。
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・令和3年度　医学部保健学科インターンシップ実施状況		✓			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		年間２名くらいですが、特別な配慮を必要とする学生のすくい上げや対応をきめ細やかに行っています。また、本学科の教員には、特別な配慮を必要とする学生の対応について、実践的にも、教育・研究的にも本領域に長期間携り、豊富な経験を持つ教員がいるため、アドバイザー制や担任制を実践する上での技能・知識について、学科内での情報交換や共有，連携をスムーズに行うことができます。
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・医学部保健学科英語シラバス		✓			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：該当学生なし	該当無し	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： ・学生支援等協議会次第(保健学科・非公表資料)		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学医学部規定	第12条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	医学部保健学科学生の手引き　＊２	令和3年度版 P.35	✓	◎		
			医学部保健学科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			医学部保健学科のオリエンテーションの配布資料等： ・配付資料：令和４年度医学部保健学科学生の手引き		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	医学部保健学科成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・医学部保健学科教務委員会の議事録（非公表資料）	令和4年4月14日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf）		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・医学部保健学科における成績の疑義申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「医学部保健学科における成績の疑義申し立てに関する申合せ」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： ・医学部保健学科学生の手引き　＊２ ・医学部保健学科における成績の疑義申立てに関する申合せ（掲示済）	令和3年度版 P.16	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則 長崎大学医学部規定 長崎大学医学部教授会規定	第45条,第46条 第18条 第3条	✓	◎		
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・医学部保健学科学生の手引き　＊２	令和3年度版 P.37	✓	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	医学部保健学科会議記録（非公表資料）	令和4年2月17日	✓	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・令和3年度の国家試験の合格状況について URL： http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/news/pdf/20220404-01.pdf		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料：	該当無し	－			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1M04-01-01.html		✓			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学広報誌CHOHO vol.75（2021 春季号） https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/publicity/file/c075-3.pdf	P.6	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）：	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

〇平成 26 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に医学部 の「高度リハビリテーション専門職の養成」事業が選定されたことに伴い、県 内の理学療法士・作業療法士に教育プログラムを展開しており、地域のニーズ に応じた指導者となるべき人材の育成を行っています。同事業は、補助期間（平 成 26～平成 30 年度）終了後も継続的に実施しており、毎年、前期（4-9 月）に 約 50 名、後期（10-翌 3 月）に約 50 名、年間 100 名の受講生に対し、教育を行 っています。うち 8 割は県内者です。

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

歯学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			歯学部のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の歯学部保健学科のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			歯学部のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			歯学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－1 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		・１年次の「初年次セミナー」から３年次の歯薬による「関連臨床医学」、４年と５年次の医歯薬共修の「医と社会」、そして５年と６年次の医歯薬及び保健学科、４学科合同の「離島実習」を通して、今後、具体化する地域包括ケアに向けて多職種連携の知識と技術の応用・実践を行っています。
			歯学部のカリキュラム・マップ		✓			
			歯学部のカリキュラム・ツリー		✓			
			歯学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/）		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			歯学部開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			・歯学部シラバス（Webシラバス　＊１） ・歯学部シラバス集　＊２ ＊２（URL：http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/student/data/syllabus2022/syllabus.pdf）		✓			
		3－2 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当なし	－	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・歯学部シラバス（Webシラバス　＊１） ・歯学部シラバス集　＊２		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			
		3－3 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学歯学部規程	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	4．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	4 － 1 1 年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	歯学部カレンダー	歯学部シラバス集のトップページに掲載	✓	◎		
		4 － 2 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	〃	〃	✓	◎		
			・歯学部シラバス（Webシラバス　＊１） ・歯学部シラバス集　＊２		✓			
		4 － 3 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	・歯学部シラバス（Webシラバス　＊１） ・歯学部シラバス集　＊２		✓		法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　歯学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	**（離島実習の充実）** 　本学部の設立理念の一つでもあった離島医療についての教育を、従来から統合科目の中に離島歯科医学を開講して行っていましたが、2007 年度からは、５、 6 年時の臨床実習期間内に全員１週間の離島実習を開始し、2019 年度末で満13 年の教育実績を蓄積してきました。 　本学部が設立した歯学部離島歯科保健医療研究所を拠点として、五島の福江島などの保健、介護、医療の各施設を回り、離島におけるそれらのあり方や、歯科医師の役割について体験学習させています。またこの実習は、医療、福祉で今後求められる多職種連携に役立てるため、医学部、薬学部との共修形式を一部取っています。歯科診療所と介護施設を中心に、医学科、保健学科との共修カリキュラムをベースにして充実した教育を行っています。五島は、本邦においても高齢化社会のモデルケースとなっており、この地域において地域包括ケアの実践を学ぶことの意義は非常に大きいと考えています。 **（アクティブラーニングの推進）** 本学部では以前より PBL 形式の授業が統合講義を中心に行われています。さらに一般の授業でも学生に自習させ発表させる形式の授業が増加しています。平成 28 年度に LACS 上でのクリッカーシステムが整備されたことで，このシステムを使った講義中でのアクティブラーニングの実施が容易になり，学生自身で考え，他人の意見を取り入れながら理論を構築する能力を養う教育カリキュラムが採用されるようになりました。少人数のグループ討論での応用だけでなく，教員からの各学生への到達目標の判定にも有効で,きめ細かな学修支援が行えるようになっています。この LACS クリッカーの FD を実施し，教育における PDCA サイクルの拡充に寄与しています。
			歯学部におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓	○		
			歯学部における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		4 － 4 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			・歯学部シラバス（Webシラバス　＊１） ・歯学部シラバス集　＊２		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料：	該当無し	－			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：	該当無し	－			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当無し	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	6．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6－1 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学歯学部規程	第12条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		6－2 成績評価基準を学生に周知していること	歯学部学生便覧　＊３ ＊３（URL：http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/student/）	令和4年度版 P.76	✓	◎		
			・歯学部シラバス（Webシラバス　＊１） ・歯学部シラバス集　＊２		✓			
			歯学部のオリエンテーションの配布資料等:	該当無し	－			
		6－3 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	歯学部成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・歯学部教務委員会等の議事録	令和3年5月13日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		6－4 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・歯学部成績の疑義申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「歯学部成績の疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 歯学部学生便覧　＊３	令和4年度版 P.96	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7－1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則	第45条,第46条	✓	◎		
			長崎大学歯学部規程	第15条	✓			
			長崎大学歯学部教授会規程	第4条	✓			
		7－3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・歯学部学生便覧　＊3	令和4年度版 P.7	✓	◎		
		7－4 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	歯学部教授会議記録　（非公表資料）	令和4年1月19日	✓	◎		
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・歯科医師国家試験合格状況 2022学部案内	P..14	✓	◎		
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・各コンペティション等での学生の受賞状況　2*件*		✓			
		8－2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓			
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-		✓	◎		
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P.38	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述（学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学生との懇談会メモ		✓			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）：	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください

（歯科法医学のカリキュラム充実）

歯科法医学の教育分野は医歯薬学総合研究科死因究明専門医育成センターと連携し死因究明医養成事業に貢献しています。歯科法医学、法医学分野主催で「歯学部生のための長崎歯科法医学セミナー」を日本法歯科医学会、長崎県歯科医師会後援で開催し、学内外の学生及び教員が意欲的に参加しました。また、本学学生を対象とした症例検討会「歯科法医学寺子屋」を平成27～29年度は定期的に開催し、平成30年度以降は講義、臨床実習、研修医セミナー、生涯学習（歯科医師会と連携）という形で教育内容を少しずつ高めていくスパ

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

薬学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			薬学部　薬学科のディプロマ・ポリシー		✓			
			薬学部　薬科学科のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の薬学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			薬学部　薬学科のカリキュラム・ポリシー		✓			
			薬学部　薬科学科のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			薬学部　薬学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			
			薬学部　薬科学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			薬学部　薬学科のカリキュラム・マップ		✓			
			薬学部薬科学科のカリキュラム・マップ		✓			
			薬学部　薬学科のカリキュラム・ツリー		✓			
			薬学部　薬科学科のカリキュラム・ツリー		✓			
			薬学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			薬学部開設授業科目一覧 （学生便覧　＊１：長崎大学薬学部規規程　別表３及び４） ＊１（URL：http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/s_book.html）	令和４年度版 P.47～P.51	✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊２） ＊２（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			・薬学部シラバス（Webシラバス　＊２） ・薬学部受講案内（シラバス）＊３ ＊３（URL：http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/syllabus.html　）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果： ・薬学部情報公開（薬学教育評価結果：薬学科のみ） URL：http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/publicinfo/data/kouhyo29.pdf		✓	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・薬学部シラバス（Webシラバス）　＊２ ・薬学部受講案内（シラバス）　＊３		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当無し	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学薬学部規定程	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	薬学部授業計画カレンダー		✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	URL：http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/event-timetable2021/cal-gakubu.pdf		✓	◎		
			・薬学部シラバス（Webシラバス）　＊２ ・薬学部受講案内（シラバス）　＊３		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	・薬学部シラバス（Webシラバス）　＊２ ・薬学部受講案内（シラバス）　＊３		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　薬学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	
			薬学部における授業科目の実施に係る申合せ （シラバスの確認）		✓			
			薬学部における授業科目の実施に係る申合せ （授業実施方法等の確認）		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			・薬学部シラバス（Webシラバス）　＊２ ・薬学部受講案内（シラバス）　＊３		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料：	該当無し	－			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		薬学部生及び大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）の学生に対して、学生相談、就学相談及びメンタルヘルスの円滑な実施に資することを目的として、学生支援等協議会を設置している。この協議会は年２回開催し、保健センターカウンセラーも含めて成績不良者との面談結果や配慮が必要な学生について教員間で情報共有しており、様々な学生の支援に役立てている。
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：	該当無し	－			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当無し	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： 2021版はございませんが、2019年度同様の学習支援を行っております。	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学薬学部規定程	第14条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	薬学部学生便覧　＊１	令和4年度版 P. 11	✓	◎		
			・薬学部シラバス（Webシラバス）　＊２ ・薬学部受講案内（シラバス）　＊３		✓			
			薬学部のオリエンテーションの配布資料等： ・新入生オリエンテーション説明スライド（抜粋）		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	薬学部成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・薬学部教務委員会の議事録	令和4年3月10日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・薬学部における授業科目の実施に係る申合せ （成績の疑義申立ての方法等）	第3条	✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「薬学部における授業科目の実施に係る申合せ」に　（成績の疑義申立ての方法等）を追記した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： ・学生向け掲示		✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項） ・薬学部における成績評価の根拠となる資料の取扱いについて		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則	第45条,第46条	✓	◎		
			長崎大学薬学部規程	第23条	✓			
			長崎大学薬学部教授会規程	第3条	✓			
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・薬学部学生便覧　＊１	令和4年度版 P.23	✓	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	薬学部教授会議記録　（非公表資料）	令和4年2月14日	✓	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・薬剤師国家試験合格状況 （URL：http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/publicinfo/data/data11to21.pdf）		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況　　7件 ・各コンペティション等での学生の受賞状況　7件		✓			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）：		✓			
			薬学科 （https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-4M48-01-01.html）					
			薬科学科 （https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1M10-01-01.html）					
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： 薬学部ガイドブック URL：　http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/main/data/NUSP2022.pdf	2022年版 P.15	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述（学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当無し	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・全学的な就職先等調査については、原則3年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当無し	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください

（大学間連携共同教育プログラムの開発・実践）

平成24年度に文部科学省補助事業に採択された「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」事業は、本学部が中心となり新しい大学間連携共同教育プログラムを開発・実践した取組で、県内３大学が17のステークホルダーと共同で新たに設立した「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の運営を薬学部が担いました。本取組は参加大学が学習アウトカムを重視した順次性カリキュラムに基づく大学間単位互換の合同授業・実習を多数開講し、大学間連携教育の実質化と質保証を図ったもので、平成26年度には当初計画を超える13科目の“多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア”をテーマとした大学間合同授業・実習を「NICEキャンパス長崎」（長崎県内全大学が参加する単位互換制度）に登録・開講し、397名の学生が履修しました。事業最終年度の平成28年度には、外部評価の提言を取り入れた形で、授業内容のエッセンスを「WEB講座」として動画配信する事業計画を新たに追加し、e-ラーニングによる学生の学修環境の強化を図りました。補助事業が終了した平成29年度以降も、本学部主導で「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が結成されており、本事業で開発した科目の一部を薬学部の専門教育に組み込むとともに「NICEキャンパス長崎」に登録し、現在も他大学の学生が受講できるよう学修環境を整備しています。また「WEB講座」の動画配信も継続しています。なお、本事業は日本学術振興会が行った大学間連携共同教育推進事業評価委員会の事後評価において、構築した教育プログラムや連携・実施体制、補助期間終了後の継続体制の内容が高く評価され、最高評価のS評価を受けることができました。

（チュラロンコン大学・チェンマイ大学からの留学生獲得に資する短期受入プログラム）

2022年２月、本学薬学部の魅力を伝える国際交流プログラムとして、出島を通じた日本の薬学の発展史と物理、化学、生物や環境、医療薬学各系における先端創薬等に関する講義の受講、長崎大学薬学部の施設見学、学生による研究紹介などをオンラインで実施し、本学学部生や大学院生とタイ国立大学学生の意見交換、共修の場を設け、国際的な交流を深めることができました。

（ニューメキシコ大学薬学部短期研修生受入プログラム）

2022年２月、オンデマンドとリアルタイムを組み合わせたオンラインプログラムを企画し、ニューメキシコ大学薬学部20名、本学学生119名が参加、共修しました。オンデマンドコンテンツでは、薬用植物園、下村脩名誉博士顕彰記念館、お薬の歴史資料館の見学ムービーと薬用植

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

情報データ科学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1 － 1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			情報データ科学部のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2 － 1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の情報データ科学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			情報データ科学部のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2 － 2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			情報データ科学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			情報データ科学部のカリキュラム・マップ		✓			
			情報データ科学部のカリキュラム・ツリー		✓			
			情報データ科学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			情報データ科学部開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			情報データ科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当無し	－	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・情報データ科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当無し	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学情報データ科学部規定	第16条	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	情報データ科学部授業及び定期試験日程		✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	情報データ科学部授業及び定期試験日程		✓	◎		
			情報データ科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	情報データ科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ①シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　情報データ科学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	
			情報データ科学部におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			情報データ科学部における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			情報データ科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		社会的・職業的自立を図るための取り組みとして、４年間を通して開設されるPBL科目「実社会課題解決プロジェクト」があります。本科目は、企業から提示された実践的なテーマについて、企業の担当者を交えながら議論をすすめて課題の解決を図るものであり、本学部独自の取り組みです。また、令和4年度からは企業見学とインターンシップに単位を付与する科目として「プロジェクト研究」（3年生対象）を開設する予定です。
			インターンシップの実施状況がわかる資料： （学年進行中により、令和4年度から実施する）	該当無し	—			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：英文シラバス		✓			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料： ・情報データ科学部令和3年度1年次授業時間割(数学ディベロップメンタル)		✓			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： ・数学ディベロップメンタル学生名簿		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学情報データ科学部規定	第15条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	情報データ科学部学生便覧　＊２ ＊２（URL：　https://www.idsci.nagasaki-u.ac.jp/current/cu_sthandbook/）	令和4年度版 P.49	✓	◎		
			情報データ科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			情報データ科学部のオリエンテーションの配布資料等: ・R3年度新入生オリエンテーション次第		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	情報データ科学部成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・情報データ科学部教務委員会等の議事録	令和3年6月14日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・情報データ科学部の成績評価に対する疑義申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「情報データ科学部の成績評価に対する疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： ・成績疑義申立てについて（掲示）		✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7 － 1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則 長崎大学情報データ科学部規定 長崎大学情報データ科学部教授会規定	第45条,第46条 第19条,第20条 第3条	✓	◎		
		7 － 3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・情報データ科学部学生便覧　＊2	令和4年度版 P14、P50	✓	◎		

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

(地方人材育成プラットフォームの創出)

令和3年度も引き続き観光ビッグデータに関する情報収集を継続的に行いました。また、コロナに関する情報も長崎県が公開しているWebサイトからダウンロードし、加工して利活用できるように体裁を整えました。これらのシステムを使って授業での演習および分析ができるようにし、情報データ科学部の2年生向けの「社会・観光情報学Ⅰ」や工学研究科の「ビッグデータ解析特論」において、データの可視化や従来の統計手法での解析、機械学習を使った解析演習を行い、データの扱い方や分析の技能を身に付ける機会を提供しました。

(社会人向けリカレント教育の実施)

社会人向けリカレント教育として「IT先端技術応用講座」を実施し35名が受講し、このうち要件を満たした4名について、履修証明プログラムの修了を認定しました。

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

工学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✔	◎		
			工学部のディプロマ・ポリシー		✔			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✔			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✔	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の工学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			工学部のカリキュラム・ポリシー ・機械工学コースのカリキュラム・ポリシー ・電気電子工学コースのカリキュラム・ポリシー ・情報工学コースのカリキュラム・ポリシー ・構造工学コースのカリキュラム・ポリシー ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・ポリシー ・化学・物質工学コースのカリキュラム・ポリシー		✔			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✔			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔	◎		
			工学部のディプロマ・ポリシー 工学部のカリキュラム・ポリシー ・機械工学コースのカリキュラム・ポリシー ・電気電子工学コースのカリキュラム・ポリシー ・情報工学コースのカリキュラム・ポリシー ・構造工学コースのカリキュラム・ポリシー ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・ポリシー ・化学・物質工学コースのカリキュラム・ポリシー		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		６年一貫的な教育として、大学院工学研究科への進学希望者には、卒業研究に着手した４年次の学生が大学院の授業を４単位まで受講できる「先取り履修制度」を設けており、令和3年度は180名程度（進学者の約80％）が「先取り履修制度」を利用しました。
			工学部： ・機械工学コースのカリキュラム・マップ ・電気電子工学コースのカリキュラム・マップ ・情報工学コースのカリキュラム・マップ ・構造工学コースのカリキュラム・マップ ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・マップ ・化学・物質工学コースのカリキュラム・マップ		✔			
			工学部： ・機械工学コースのカリキュラム・ツリー ・電気電子工学コースのカリキュラム・ツリー ・情報工学コースのカリキュラム・ツリー ・構造工学コースのカリキュラム・ツリー ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・ツリー ・化学・物質工学コースのカリキュラム・ツリー		✔			
			工学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✔			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			工学部開設授業科目一覧		✔			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html）		✔			
			工学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果： 構造工学コース及び社会環境ﾃﾞｻﾞｲﾝ工学ｺｰｽについては，一般社団法人日本技術者教育認定機構の分野別認証評価において適合認定を受けている。	構造工学コース，社会環境デザイン工学コースのみ	✔	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・工学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✔	◎		
			長崎大学工学部規定	第15条	✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	工学部専門教育カレンダー		✔	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/data/611_pdf/611_01_r03.pdf		✔	◎		
			工学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	工学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✔		法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　工学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	**（他学部と連携した副専攻プログラムが用意する科目の履修）** 　環境科学部と工学部間で地域における景観計画やランドスケープのスペシャリストとなる人材を育成することを目的とした「ランドスケープ学副専攻プログラム」を開始し、令和3年度は16名が環境科学部の授業科目を申請しました。 **（英語教育の充実）** 英語による授業の更なる充実を図るため、学部共通の選択科目として「グローバルセミナーＡ」及び「グローバルセミナーＢ」を開設し、令和3年度は「グローバルセミナーＡ」は13名、「グローバルセミナーＢ」は8名が履修しました。 また、教養教育から継続的な英語教育ができるように、令和3年度カリキュラムから専門教育での英語科目を3年次から2年次後期に変更しました。 **（IoT実験の充実）** 令和3年度からものづくりとプログラミングを繋ぐセンサの理解を深めることを目的とし、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングとの教育連携協定のもと、学生実験や電子回路工作の機器を備えたテクニカルラボを工学部内に共同設置し、IoT基礎実験を初年次教育に導入しました。令和3年度には1年生200名、2年生80名が履修しています。
			工学部及び工学研究科における授業実施方法及びシラバスの確認に関する申合せ		✔	○		
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✔	◎		
			工学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✔	◎		
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✔	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✔	◎		九州工業大学との連携によるオンライン合同説明会を開催し、令和3年度は長崎大学から延べ180名程度の学生が参加しました。
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・ R3インターンシップ実績		✔			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✔			
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター一覧表 ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✔			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・英文シラバス		✓	◎		
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当なし	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当なし	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✔	◎		
			長崎大学工学部規定	第14条	✔			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✔			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	工学部履修の手引き　＊２ ＊２（URL：　http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/02_02_schedule.html#guidance	令和4年度版 P.13	✔	◎		
			工学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
			工学部のオリエンテーションの配布資料等：	該当なし	－			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	工学部成績分布表		✔	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・工学部教務委員会等の議事録	令和3年6月4日および令和3年7月2日	✔			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学部別GPA計算方法 URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf		✔			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✔			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・工学部における成績評価の疑義申立てに関する申合せ		✔	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「工学部における成績評価の疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 2021・疑義申立期間について		✔			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✔			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則 長崎大学工学部規定 長崎大学工学部教授会規定	第45条,第46条 第19条,第20条 第3条	✔	◎		
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・工学部履修の手引き　＊２ （卒業に必要な最低修得単位数等）	令和４年度版 P.19-20, P.77. P.79	✔	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	工学部教授会議記録　（非公表記録）	令和4年3月3日	✔	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・R3資格取得者一覧		✔			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生の受賞状況　　9件		✔			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✔			
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL：　https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1G01-01-01.html		✔			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料					
			長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P 57-P.58	✓	◎		
			長崎大学工学研究科化学・物質工学コースHP（https://www.cms.nagasaki-u.ac.jp/lab/bukka/Bukka/member.html）		✔			
			長崎大学情報データ科学部HP（https://www.idsci.nagasaki-u.ac.jp/research_ac/facultylist/staff29/）		✔			
			千歳科学技術大学HP（https://www.chitose.ac.jp/course/teacher/538）		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✔	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： （学内専用データ）		✔			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・R3年度卒業時アンケート		✔			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✔	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	ー			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： （構造工学コースおよび社会環境デザイン工学コースのみ，4年に1回実施しており，前回は令和2年度に実施したため，次回は令和6年度に実施予定）	令和3年度については該当なし	ー			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）： （構造工学コースのみ，4年に1回実施しており，前回は令和2年度に実施したため，次回は令和6年度に実施予定）	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。 令和3年度については該当なし	ー			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・構造工学セミナー （キャリア討論会）学部・院共通/講義の一貫としてOBと意見交換	構造工学コースのみ	ー			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください

（学生のものづくりの支援）

学生のものづくりを支援する部門である工学教育支援センターが中心となり、地域企業との連携による課題解決型PBL科目「創成プロジェクト」を全コース、全学年を対象に実施しています。取り組みとしては地域企業から解決して欲しい課題を提供いただき、異なるコースおよび学年で構成されるチームを編成し、約９か月をかけて課題解決を行い、アイディア発表会や中間報告会の実施し、最終報告会では複数教員による評価を行います。令和3年度は、企業からの12テーマの提案に対し、30名の履修学生が希望するテーマに別れ、1テーマ毎に5名のチームを編成し、計6テーマの課題に取り組みました。優れた課題解決を示した最終報告会での上位2チームは、新潟大学・富山大学との合同企画である「学生ものづくりアイディア展」に出展することとしており、令和3年度は新潟大学で行われ、全25チームが3つのセッションに分かれて発表し、長崎大学工学部から参加した１つのチームが学生賞を受賞しました。その内容は地元企業と問題を抱える農家からの課題であり、高いプレゼンテーション能力が評価されました。

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

環境科学部

対応する大学評価基準No.	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			環境科学部のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓		法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の環境科学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシーを追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務委員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 **【対応済み】**	
			環境科学部： ・環境政策コースのカリキュラム・ポリシー ・環境保全設計コースのカリキュラム・ポリシー		✓	○		
			公表の確認 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）	（R3）	✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			環境科学部のディプロマ・ポリシー 環境科学部： ・環境政策コースのカリキュラム・ポリシー ・環境保全設計コースのカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No.	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			環境科学部各コースのカリキュラム・マップ		✓			
			環境科学部各コースのカリキュラム・ツリー		✓			
			環境科学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			環境科学部開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			環境科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当なし	－	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・環境科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学環境科学部規定	第17条	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	環境科学部カレンダー (環境科学部学生便覧　＊２　に掲載)	令和3年度版 トップページ	✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う	＊２（URL：　http://www.env.nagasaki-u.ac.jp/student/guide/handbook.html		✓	◎		
			環境科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	環境科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　環境科学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 【対応済み】	**(環境フィールドスクールの開催)** 　長崎県内の各種の課題を抱える地域に出向き、課題を認識し課題解決に係る実践活動に取り組む教育プログラム「環境フィールドスクール」を、水産・環境科学総合研究科アジア環境レジリエンス研究センターを運営主体として開催しています。2016 年度は 4 テーマ計 5 回を開催し延べ64 名の参加だったところ、2017 年度は 6 テーマに充実させて学生参加人数が延べ89 名に増加しました。2019 年度は更に拡充し 7 テーマを実施しましたが、集中講義授業科目との日程重複等があり、参加学生数は延べ75 名でした。2021年度は2019年度と同じく7テーマ計8回を開催し、参加学生数は延べ93名と2019年度と比べて増加しました。各回のテーマに即した地方自治体、NPO 等の諸団体の協力と連携を得て、課題を抱える地域現場で実践的な学修を行なっています。
			環境科学部におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			環境科学部における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			環境科学部シラバス（Webシラバス）　＊１		✓			

対応する大学評価基準No.	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・学部開設科目「インターンシップ」シラバス ・インターシップ先一覧		✓			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・英文シラバスの作成（一部）		✓			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当なし	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： ・学習相談の実施状況（2021年度）		✓			

対応する大学評価基準No.	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大環境科学部規定	第15条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	環境科学部学生便覧　＊２	令和3年度版 P.4	✓	◎		
			環境科学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			環境科学部のオリエンテーションの配布資料等: ・これを記載した学生便覧をオリエンテーションの配布資料としている		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	環境科学部成績分布表	R4.3.29学部教務委員会	✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・環境科学部教務委員会等の議事録	令和4年3月29日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料					
			学部別GPA計算方法 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf）		✓			
			学生便覧　＊２	令和3年度版 P4.～P.5				
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・環境科学部成績評価の異議申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「環境科学部成績評価の異議申立てに関する申合せ」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 学生便覧　＊２	令和3年度版 P.95	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）（環境科学部教授会R2.3.17、同運営会議R2.3.18）		✓			

対応する大学評価基準No.	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則	第45条,第46条	✓	◎		
			長崎大学環境科学部規定	第23条				
			長崎大学環境科学部教授会規定	第3条				
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： 学生便覧　＊２	令和3年度版 P.62,　P.64, P.61- 63	✓	◎		
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	環境科学部教授会議記録　（非公表記録）	令和４年３月２日、28日、令和３年８月２５日	✓	◎		
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・Ｒ３年度卒業生取得資格一覧		✓	◎		
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生の受賞状況　　1件 環境科学会2021年会において最優秀発表賞（富士電機賞）受賞		✓			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓			
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ） URL：　https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1X49-01-01.html		✓	◎		
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P.63	✓			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・https://ryokuyuukai.localinfo.jp/（同窓会ＨＰ）		✓			

対応する大学評価基準No.	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・（卒業時）環境科学部の教育に関するアンケート R3年度の教務委員会において分析。	令和3年6月4日	✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・（卒業学期）学修ポートフォリオの分析R4.3.29学部教務委員会・卒業時学修ポートフォリオの分析	令和4年3月29日	✓			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン	R3.3.22全学教務	✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）：	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

（レジリエントな地域の創生に寄与する人材育成の推進）

〇環境科学部では，地域社会が抱える環境課題の解決に貢献し、レジリエントな地域（様々な問題に対応できる力を有する地域）の創生を担う実践的能力を備えた人材を育成するため、平成31年度（2019）以降の入学者を対象に、「レジリエントな地域社会創生リーダー育成プログラム」を開設しました。同プログラムでは、まず、地域の課題に関する基礎的事項と課題への対応の現状を講義形式により学ぶ場として、標準履修年次1年次の「地域環境概論」と2・3年次の「環境科学特別講義C」を位置付けています。本学部生は、アジア環境レジリエンス研究センターの協力のもと、長崎県内において特徴的な地域の課題を抱える地域に出向き、課題の理解とその解決に係る実践活動に取り組む、環境フィールドスクールを受講できます。環境フィールドスクールは、一定回数の受講等の条件を満たした場合、単位認定（地域環境実習A～E）されます。同プログラムでは、環境フィールドスクールを、地域の課題を現地における活動体験を交えて学べる場との位置付け、同単位認定をプログラム修了の条件としています。また同プログラムでは、これら講義と現地での活動体験後に、受講者が個別に設定する地域課題に係る実践的な活動に取り組むこともプログラム修了の条件に課しております（これらは，地域環境実践として認定）。前記した内容を含む同プログラムは、①地域環境概論（1年前期）、②環境科学特別講義C（2・3年）、③～⑤地域環境実習A～Eのうち指定する内容の2科目と受講者が選択する1科目の計3科目（1～3年）、⑥地域環境実践（3・4年）の6科目の単位を取得した場合、卒業時にプログラム修了が認定されます。本学部では、以上のプログラムの開設等を通じて、レジリエントな地域の創生に寄与する人材育成

学部(学科）における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

水産学部

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	全学共通のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			水産学部のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	全学共通のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容：** 教養教育を含めて全学部、研究科について、改訂された教育課程方針について提出をお願いしたい。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、現在の水産学部のカリキュラム・ポリシーに、全学のカリキュラム・ポリシー及び評価に関する事項を追記する改訂を実施した。 その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			水産学部のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			水産学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－1 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		・具体性を高めるため，ディプロマポリシーをより詳しく記述した「学習・教育到達目標」を別途定めており、「学習・教育到達目標」に基づいて長崎大学水産学部・水産学プログラムが体系化されています。 ・水産科学の幅広い分野を４つのコースに分け、それぞれのコースで少人数教育を体系的に行うために、各コース特有の科目群（コース科目、実験・実習科目）を構築しています。
			水産学部のカリキュラム・マップ		✓			
			水産学部のカリキュラム・ツリー		✓			
			水産学部　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			水産学部開設授業科目一覧		✓			
			教養教育シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
			水産学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		3－2 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果： ・JABEE技術者教育プログラム認定審査結果「認定を可とする。」		✓	◎		・地域社会や産業界との連携を通して、課題発見・解決能力を育成する科目（地域課題実践演習）を設定し、長崎周辺の海洋や水産業が抱えている課題の現状を理解し、問題点を抽出・整理するとともに、それらの地域課題を解決するための方策について自主的に考える授業を行っています。 ・学際的な幅広い視野を身につけることができるように、４つのコースの専門性を横断する内容の科目群（概論科目や基礎科目）を低学年次に設けています。
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・水産学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当無し	－			
		3－3 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学学則	第36条～第38条	✓	◎		
			長崎大学水産学部規程	第13条	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	4．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	4 － 1 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	水産学部　講義予定		✓	◎		
		4 － 2 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	水産学部　講義予定		✓	◎		
			水産学部シラバス（Webシラバス　＊1）		✓			
		4 － 3 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	水産学部シラバス（Webシラバス　＊1）		✓		法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** **① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。** **②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。**よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　水産学部においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	・少人数でアクティブラーニングを行う授業科目（初年次セミナー、水産科学演習等Ⅰ・Ⅱ、卒業研究）や、フィールドワークを伴う授業科目（乗船実習Ⅰ・Ⅱ、学生実験等Ⅰ～Ⅳ）を必修科目として位置づけ、生涯学び続ける力や主体性を涵養するための教育方法の導入を組織的に行っています。 ・現場海域における実習環境を充実させるため、2018年３月に附属練習船「4代目長崎丸」を竣工し、最新の機器と高い安全性を備えた環境での実践的な洋上教育を行っています。
			水産学部におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓	○		
			水産学部における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		4 － 4 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			水産学部シラバス（Webシラバス　＊1）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		・新入生のオリエンテーション時および水産科学入門、初年次セミナーにおいて、学内におけるICTの利用方法や、各種メディアの活用方法の講習会を行うことで、ICTメディアの活用を促しています。 ・学生の主体的な学修を促すために、英語の自習教材であるe-ラーニングシステムを活用し、１年次の最初に行われる授業（水産科学入門）時に、新入生全員に対してその使用方法を説明し、積極的な使用を促すとともに、システムの一部を使って自習課題を課しています。 ・入学から卒業研究室に配属されるまでの期間、約10名の学生に対して１名の教員を助言教員として配置し、学生生活や就学上の諸問題について助言・指導する体制を整え、各学期末には成績不振学生を抽出して、個別面談による指導を行っています。
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		・履修指導における学修成果の可視化をはかるために，学務情報システム（NU-Web）やLACS（主体的学修支援システム）等を利用しており，助言教員との面談や懇談会の際には可視化された出力結果を参考にしながら，具体的な履修指導を行っています。
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓			・学外のさまざまな機関と連携し、実践的に能力を身に着けることを意図した実習科目（学外実習Ⅰ・Ⅱ）を設けており、受講者にはインターンシップガイダンスの参加や、インターンシップ前の学習・課題、インターンシップ後の課題を必須とすることで、教育的効果が上がるような工夫を行っています。 ・キャリア支援の取組として、学外から様々な分野の講師を招き、業界研究会や企業研究会、キャリアーセミナー等を開催して学生の職業に対する意識向上を図っています。
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・学外実習の手引 ・水産学部インターンシップ一覧		✓	◎		
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓			
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料					
			アクセスサポーターとは URL：　https://www.sao.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=6628		✓			
			アクセスサポーターの勤務時間・活動内容報告書		✓			
			留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：	該当無し	－			
			障害のある学生に対する支援の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26（実施状況）	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料： ・補習名簿		✓			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	6．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6－1 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学学則	第34条の２	✓	◎		
			長崎大学水産学部規程	第12条	✓			
			長崎大学成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		6－2 成績評価基準を学生に周知していること	水産学部履修の手引き　＊３ ＊３（URL：　https://www.fish.nagasaki-u.ac.jp/education/data/tebiki.pdf）	令和4年度版 P.35	✓	◎		
			水産学部シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			水産学部のオリエンテーションの配布資料等： ・水産学部履修の手引き		✓			
		6－3 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	水産学部成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・水産学部教務委員会等の議事録	令和3年12月23日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料					
			学部別GPA計算方法 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/gpa/gpakeisan.pdf）		✓			
			履修の手引き　＊３	令和4年度版 P.36				
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		6－4 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学成績評価ガイドライン ８．成績評価に対する説明責任 ・水産学部における成績の疑義申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「水産学部における成績の疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 【対応済み】	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 履修の手引　＊３	令和4年度版 P.50	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ	令和3年度0件	✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7－1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学学則	第45条,第46条	✓	◎		
			長崎大学水産学部規程	第17条				
			長崎大学水産学部教授会規程	第3条				
		7－3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	卒業要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・履修の手引き　＊3	令和4年度版P.59	✓	◎		
		7－4 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	水産学部教授会議記録　（非公表資料）	令和4年3月2日	✓	◎		
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		第３期中期目標期間中（2017 年３月 24 日、2019 年３月 25日、2021 年３月 25日、2022 年３月 25日）に、4名の学生が日本航海学会において優秀な学生として選考され、奨学ほう賞を受賞しています。
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料： ・JABEE修了者名簿、教育職員免許状出願者一覧表		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生の受賞状況　　令和3年度 1件		✓			
		8－2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-1K08-01-01.html		✓			
			卒業生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P.69	✓			
		8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述（学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・在学生への学習・教育到達目標に関するアンケート		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果　（学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。 ・卒業生への学習・教育到達目標に関するアンケート	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料　（全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）： 卒業生の就職先の上司への学習・教育到達目標に関するアンケート	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	✓			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料　（全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）： 保護者への学習・教育到達目標に関するアンケート	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： 水産学部業界研究会日程表		✓			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

○ 社会人とともに地域水産関連産業の諸問題に取り組むPBL科目「地域課題実践演習」を開講しており、地域の産業や社会人と連携を図りながら、水産に関する知識と技術の多面的・実用的応用力を養う教育を行っています。

〇教員の講義技術の向上のため、ベストティーチャー賞受賞者（授業アンケートの結果を基に各コース１名、計４名を選考し、候補者の選考を水産学部教務委員会が行い、教授会にて報告する。）の授業を参観・分析し、教員同士が学びあうことで授業スキルを向上させる教育改善を行っています。

〇技術士を講師に招いて技術士の仕事を学ぶ機会を設け（水産科学技術史）、さらに、海技士免許取得のためのプログラムを設けるなど、技術者教育を推進するための努力と工夫を行っています。

〇水産関連産業に従事する社会人が、水産に関係する諸問題に取り組むために、大学教員や学生とともに多面的・実用的な解決方法を探るPBL方式のプログラム「海洋サイバネティクスと長崎県の水産再生（水産業活性化のための人材養成プログラム）」を開講し，H28～R3年度における受講者数は28名、R4年3月までの修了者数は16名となっています。

〇水産生物を扱った実践的な教育施設環境を充実させるため、環東シナ海環境資源研究センターでは、教育関係共同利用拠点として「東シナ海における水産・海洋環境実践教育拠点 -海洋生物資源の持続的利用と環境保全に向けたフィールド教育の強化-」を開設し、北大・京大・広大との水産海洋実践教育ネットワークを利用して、「水産海洋環境学実習」や「水産海洋データ解析演習」等の授業科目を提供しています。

〇学部独自の高大連携事業として、長崎北陽台高校理数科プログラムを受講する生徒に対し、水産学部教員及び学生が学部の施設設備等を用いた実験やフィールドワークに係る指導を行い、その後同校で行われる研究成果発表会にも出席し助言及び意見交換を行っています。

計画・評価本部による基準の判断　総括表（研究科）

領域６　教育課程と学習成果に関する基準								
大学評価基準No	自己点検・評価項目	多文化社会学研究科	教育学研究科	経済学研究科	工学研究科	水・環総合研究科	医歯薬学総合研究科	熱帯医学ＧＨ研究科
6-1	１．学位授与方針が具体的かつ明確であるか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6-2	２．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であるか	◎	◎	◎	◎	○	◎	○
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であるか	○	○	○	○	○	○	○
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されているか	○	○	○	○	○	○	○
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われているか	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されているか	○	○	○	○	○	○	○
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されているか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られているか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

研究科における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

多文化社会学研究科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	多文化社会学研究科　博士前期課程のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			多文化社会学研究科　博士後期課程のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	多文化社会学研究科　博士前期課程のカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			多文化社会学研究科　博士後期課程のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	多文化社会学研究科　博士前期課程のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			多文化社会学研究科　博士後期課程のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－1 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			多文化社会学研究科　博士前期課程のカリキュラム・マップ		✓			
			多文化社会学研究科　博士後期課程のカリキュラム・マップ		✓			
			多文化社会学研究科　博士前期課程のカリキュラム・ツリー		✓			
			多文化社会学研究科　博士後期課程のカリキュラム・ツリー		✓			
			多文化社会学研究科　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			多文化社会学研究科　博士前期課程開設授業科目一覧		✓			
			多文化社会学研究科　博士後期課程開設授業科目一覧		✓			
			多文化社会学研究科シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当無し	－	◎		○　国際機関・シンクタンク・国際NGO等といった組織では、核軍縮・不拡散分野において人文社会科学系と自然科学系及び研究と実務の両側面を兼ね備えた、文理融合型の専門的な知識や能力を身に付けた人材が求められていることから、「軍縮・不拡散科目群」では、21世紀社会の多文化社会的状況における諸問題のなかでも、特に軍縮・不拡散が未完のプロジェクトであることで生じる人道面、安全保障、経済等の問題について、専門的解決を図っていくための知識や能力を身に付けさせる教育を行っています。同科目群には、国内唯一の、核兵器廃絶を目的に掲げ、平和に関する理論的実践的研究に取り組む長崎大学の核兵器廃絶研究センターの教員３名が参画しています。
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・多文化社会学研究科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学大学院学則	第15条、第17条	✓	◎		
			長崎大学大学院多文化社会学研究科規定	第13条～第14条, 第16条	✓			
		３－４ 大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）			○		
			長崎大学大学院多文化社会学研究科規定	第4条、第5条	✓			
			多文化社会学研究科における研究指導体制に関する申合せ		✓			
			多文化社会学研究科　博士前期課程学位審査に伴う論文発表会及び論文提出等に関する取扱い要領		✓			
			多文化社会学研究科　博士後期課程学位審査に伴う論文発表会及び論文提出等に関する取扱い要領		✓			
			研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料				法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** 提出された資料からは、大学院課程において研究指導計画の作成及び学生への明示について明文化されていることが認められない。	
			多文化社会学研究科研究指導計画書に関する申合せ		✓			
			修士論文中間構想発表会・成果発表会及び博士後期課程中間発表会		✓		**対応状況：** 全学教務委員会で示された規定案を基に、多文化社会学研究科教務委員会で、研究指導計画書に関する申合せを策定し、研究科教授会で決定した。	
			国内外の学会への参加の促進状況に関する資料					
			大学院学生の国際学会参加支援事業公募要領		✓			
			他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料					
			（協定・覚書等） 千葉、岡山、長崎、熊本、政策大学院の間における学生交流の協定書		✓			
			研究倫理に関する指導が確認できる資料					
				該当なし	－			
			ＴＡ・ＲＡとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、ＴＡ・ＲＡの採用、活用状況が確認できる資料					
			多文化社会学研究科TAの採用に関する申合せ		✓			
			多文化社会学研究科RAの採用に関する申合せ		✓			
			多文化社会学研究科 令和３年度TA・RA採用実績		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	多文化社会学研究科学事カレンダー		✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	URL：　http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/course.html		✓	◎		
			多文化社会学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	多文化社会学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** **① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。** **②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。**よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　多文化社会学研究科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	
			多文化社会学研究科におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			多文化社会学研究科における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			多文化社会学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－５ 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度（ＣＡＰ制度）を適切に設けていること	ＣＡＰ制に関する規定等の名称を記入	*該当無し（教育学研究科のみ記入*	－			
		４－６ 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	大学院において、夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていることを示す資料： ・長崎大学大学院学則 ・長崎大学大学院多文化社会学研究科規程	 第14条 第12条	✓	◎		
		４－８ 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	（教育学研究科で連携協力校との連携状況が確認できる資料名を記載）	該当なし	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	○		
			インターンシップの実施状況がわかる資料：	該当なし	－			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料: ・言語サポートチューター制度概要及び利用実績 *（言語サポートチューター制度に関する資料はないでしょうか。HPなど。あったら参考までに教えてください）*		✓			
			・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204					
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・多文化社会学研究科英語シラバス		✓			
			障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）の制度や実施状況が確認できる資料: ・障がい学生支援室概要	P.26実施状況	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料名 ・言語サポートチューター制度概要及び利用実績		－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： ・言語サポートチューター制度概要及び利用実績		－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	6．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6 － 1 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学大学院学則	第14条の２	✓	◎		
			長崎大学大学院多文化社会学研究科規程	第8条	✓			
			長崎大学大学院成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
			多文化社会学部・多文化社会学研究科成績評価に関するガイドライン ４．成績評価基準		✓			
		6 － 2 成績評価基準を学生に周知していること	多文化社会学研究科の履修案内　＊２ URL：　http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/course.html	2022年度版 P.12, P.55-56, P.92	✓	◎		
			多文化社会学研究科のシラバス（Webシラバス）　＊１		✓			
			多文化社会学研究科新入生オリエンテーション配布資料等：多文化社会学研究科2021年度新入生オリエンテーション資料		✓			
		6 － 3 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・多文化社会学研究科教務委員会議事要録（非公表資料）	令和4年4月13日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・多文化社会学研究科の履修案内　＊２	2022年度版 P.12, P.22	✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		6 － 4 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ７．成績評価に対する説明責任 ・多文化社会学部・多文化社会学研究科成績評価に関するガイドライン ７．説明責任 ・多文化社会学研究科成績の疑義申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「多文化社会学研究科成績の疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料：履修案内	*P.11*	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ	該当なし	－			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・多文化社会学部・多文化社会学研究科成績評価に関するガイドライン ７．説明責任 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7 － 1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学大学院学則 長崎大大学院学多文化社会学研究科規定 長崎大学大学院多文化社会学研究科教授会規定	第18条～第20条 第20条 第3条	✓	◎		
		7 － 2 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定されていること	学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準			◎		
			多文化社会学研究科学位審査規程		✓			
			多文化社会学研究科学位論文審査基準		✓			
			修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料					
			長崎大学大学院学則	第21条	✓			
			長崎大学学位規則		✓			
			長崎大学大学院多文化社会学研究科教授会規定	第3条	✓			
			多文化社会学研究科学位審査規程		✓			
			博士前期課程　学位論文審査基準		✓			
			博士後期課程　学位論文審査基準		✓			
			多文化社会学研究科博士前期課程学位審査に伴う論文発表会及び論文提出等に関する取扱要領		✓			
			多文化社会学研究科博士後期課程学位審査に伴う論文発表会及び論文提出等に関する取扱要領		✓			
		7 － 3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	修了要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所			◎		
			多文化社会学研究科履修案内　＊2 博士前期課程 ・修了要件 ・学位論文審査基準	2022年度版 P.12～13 P.10～11	✓			
			多文化社会学研究科履修案内　＊2 博士後期課程 ・修了要件 ・学位論文審査基準	2022年度版 P.22 P.20	✓			
		7 － 4 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	多文化社会学研究科研究科教授会等議事録　（非公表資料）	令和4年3月3日	✓	◎		
			学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等（専門職大学院課程は除く）					
			長崎大学学位規則		✓			
			多文化社会学研究科学位審査規程		✓			
			学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料					
			長崎大学学位規則		✓			
			多文化社会学研究科学位審査規程		✓			
			多文化社会学研究科修了者の学位論文一覧		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・標準修業年限内の修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			・「標準修業年限×1.5」年内修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況 多文化社会学研究科大学院生の研究実績一覧 研究発表　博士前期１３件，博士後期３件 論文発表　博士前期１０件，博士後期６件		✓			
		8－2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-2Z59-02-01.html					
			博士前期課程　（URL： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-2Z59-02-01.html）		✓			
			博士後期課程　（URL： https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-4Z18-02-01.html）		✓			
			修了生の社会での活躍等が確認できる資料：	令和3年度公表の資料に関しては該当なし	－			
		8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(修了時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－4 卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・修了後1年目の修了生への全学的アンケート調査の集計結果(学内専用データ） ・修了後、一定年限を経過した修了生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当なし	－			
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・全学的な就職先等調査については、原則3年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当なし	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

研究科における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

教育学研究科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のディプロマ・ポリシー： 《子ども理解・特別支援教育実践コース，学級経営・授業実践開発コース，教科授業実践コース》 《管理職養成コース》		✔	◎		
			公表位置 （https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✔			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のカリキュラム・ポリシー： 《子ども理解・特別支援教育実践コース，学級経営・授業実践開発コース，教科授業実践コース》 《管理職養成コース》		✔	◎		
			公表位置 （URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✔			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔	◎		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－1 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：**（教育学研究科への指摘） 教育課程の編成が、体系性を有していることが確認できない **対応状況：** 教育学研究科における教育課程の編成については、体系性を有しているが、「カリキュラム・ツリー」が未整備であった。その体系性を確認できるように「カリキュラム・ツリー」を作成し、大学院生等に対して公表できるように改善を図り、令和3年11月15日に、教育学研究科のホームページに掲載した。 【対応済み】	
			教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のカリキュラム・マップ		✔			
			教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のカリキュラム・ツリー		✔			
			教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/	最新版：10月までに作成	✔			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）の開設授業科目一覧		✔			
			教育学研究科 のシラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✔			
		3－2 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果： ・教職大学院認証評価	H29年度受審、 R4年度受審予定	✔	◎		**（管理者養成コースの設置）** 教員の大量退職期を迎え、管理職の資質向上を目指し、県教育委員会との連携の下、平成30 年度から教職実践専攻に新たに設置した管理職養成コースにおいて、長崎県教育委員会が策定した「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」を基に、「学校経営総論」「インクルーシブ教育システムの構築」等の授業科目を新設しました。また、高度な実践的指導力を有する教員の養成を目指し、重要課題であるいじめの未然防止等に係る生徒指導力の向上や特別支援教育の充実、学校危機管理、学力向上など、スクールリーダーとしての資質・能力の向上に資するため、平成31 年度から専攻共通科目に「特別支援教育の授業・教育課程論」「カリキュラム・マネジメント」「授業研究の理論と実践」「教育相談の理論と実際」「学校危機管理の理論と実践」「授業デザイン演習」「学校組織マネジメント演習」を新設し、指導の充実を図りました。
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・教育学研究科 のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			
		3－3 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学大学院学則	第15条、第17条	✔	◎		
			長崎大学大学院教育学研究科規程	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	教育学研究科　カレンダー	学部と共有	✔	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげているこ	教育学研究科　カレンダー	学部と共有	✔	◎		
			教育学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	教育学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔		法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　教育学研究科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的な	
			教育学部・教育学研究科におけるシラバスの確認に関する申合せ		✔	○		
			教育学部・教育学研究科における授業実施方法の確認に関する申合せ		✔			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✔	◎		
			教育学研究科のシラバス（Webシラバス）　＊１		✔			
		４－５ 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度（ＣＡＰ制度）を適切に設けていること	ＣＡＰ制に関する規定等の名称： ・長崎大学大学院教育学研究科規程	６条の２	✔	◎		
		４－６ 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	大学院において、夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていることを示す資料： ・長崎大学大学院学則 ・長崎大学大学院教育学研究科規程	第14条 第10条	✔	◎		
		４－８ 教職大学院を設置しいる場合は、連携協力校を確保していること	教育学研究科で連携協力校との連携状況が確認できる資料名： ・実習校一覧		✔	◎		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✔	◎		
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✔	◎		
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✔	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・実習日誌		✔			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✔	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✔			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所：	該当なし	ー			
			障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26実施状況	✔			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当なし	ー			
			学習支援の利用実績が確認できる資料： ・学習相談の実施状況		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学大学院学則	第14条の２	✔	◎		
			長崎大学大学院教育学研究科規程	第7条	✔			
			長崎大学大学院成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✔			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	教育学研究科の履修の手引き　＊２ ＊２（URL：　https://www.gedu.nagasaki-u.ac.jp/guidebook/）	令和4年度版 Ｐ71	✔	◎		
			教育学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
			教育学研究科新入生オリエンテーション配布資料等： ・履修の手引き	令和4年度版 Ｐ71	✔			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	成績分布表	令和3年度分作成	✔	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・教育学研究科教務委員会議事録 ※日付へを入力してくだし。	令和4年6月2日	✔			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・履修の手引き　＊２	令和4年度版 Ｐ12	✔			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✔			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ７．成績評価に対する説明責任 ・教育学研究科における成績の疑義申立てに関する申合せ		✔	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「教育学研究科における成績の疑義申立てに関する申 合せ」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 履修の手引き　＊２	令和4年度版 Ｐ13	✔			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ	該当なし	－			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7－1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学大学院学則 長崎大学大学教育学研究科規程 長崎大学大学院教育学研究科教授会規程	第20条 第12条 第3条	✔	◎		
		7－2 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定されていること	学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準				・各学生の研究テーマに基づく教育実践研究の中間発表と成果発表を行い、学校教育現場の課題解決に資する実践研究となっているか、様々な教育関係者からの意見等を聴取するため、学内の関係者のみならず、県市町教委をはじめ一般にも公開しています。	
			教育学研究科学位審査規程					
			教育学研究科専門職学位課程学位審査手続要領		✓			
			教育学研究科学位論文審査基準					
			修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料			◎		
			長崎大学大学院学則	第21条	✓			
			長崎大学大学院教育学研究科教授会規程	第3条	✓			
			教育学研究科学位審査規程					
		7－3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	修了要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： 履修の手引き　＊2	令和4年版 P.72	✔	◎		
		7－4 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	教育学研究科教授会等議事録　（非公表資料）	令和4年3月3日	✔	◎		
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・標準修業年限内の修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔			
			・「標準修業年限×1.5」年内修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔	◎		
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況　　2 *件*		✔			
		8－2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✔			
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）： URL：　https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-GS01-02-01.html		✔	◎		
			修了生の社会での活躍等が確認できる資料： ・長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P.20	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✔	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(修了時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✔			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・教育学部学生代表懇談会、教職実践専攻教員・院生懇談会		✔			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✔	◎		
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・修了後1年目の修了生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・修了後、一定年限を経過した修了生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。 ・修了者状況調査（前年度、4年前修了者）	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。 教育学研究科：修了生及び所属長アンケート調査	✔			
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：三様会（管理職養成コース）		✔			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✔	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 （全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）： ・修了者状況調査（前年度、4年前修了者）	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。 教育学研究科：修了生及び所属長アンケート調査	✔			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

研究科における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

経済学研究科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	経済学研究科 博士前期課程 経済経営政策専攻のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			経済学研究科 博士後期課程 経営意思決定専攻のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	経済学研究科 博士前期課程 経済経営政策専攻のカリキュラム・ポリシー： ・研究コース ・経営学修士（MBA）コース		✓	◎		
			経済学研究科 博士後期課程 経営意思決定専攻のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	経済学研究科 博士前期課程 経済経営政策専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			経済学研究科 博士後期課程 経営意思決定専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－1 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：**（経済学研究科への指摘） 教育課程の編成が、体系性を有していることが確認できない **対応状況：** 経済学研究科における教育課程の編成については、体系性を有しており、確認のための根拠資料としてカリキュラム・マップ及びツリーを提出した。 【対応済み】	
			経済学研究科 博士前期課程 経済経営政策専攻 ・研究コースのカリキュラム・マップ ・経営学修士コースのカリキュラム・マップ		✓			
			経済学研究科 博士後期課程 経営意思決定専攻のカリキュラム・マップ		✓			
			経済学研究科 博士前期課程 経済経営政策専攻 ・研究コースのカリキュラム・ツリー ・経営学修士（MBA）コースのカリキュラム・ツリー		✓			
			経済学研究科 博士後期課程 経営意思決定専攻のカリキュラム・ツリー		✓			
			経済学研究科　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			経済学研究科 博士前期課程 経済経営政策専攻開設授業科目一覧		✓			
			経済学研究科 博士後期課程 経営意思決定専攻開設授業科目一覧		✓			
			経済学研究科シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
		3－2 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当無し	－	◎		**（研究者コースと経営学修士コースの設置）** 博士前期課程では、研究者養成の「研究コース」と、高度専門職業人養成の「経営学修士コース」を設けています。研究コースの学生は研究課題に相応するクラスターに所属し、２年間個別研究を行うとともに、講義･演習を通じて研究課題に応じた基礎知識と専門知識を修得します。経営学修士コースの学生は、主に経営、会計やファイナンスに関する講義とともに、リサーチ・メソッド等を受講して研究手法を身に付けた上で、１年間のプロジェクト・スタディを通じて各自の設定した課題解決に向けて研究を行います。いずれのコースも論文の水準を維持するため、その要件を明示し、３回の報告会を通じて助言指導を行っています。また、2014 年度から西南財経大学金融学院（中国）、2017 年度から国立東華大学（台湾）との間でダブル・ディグリー制を導入しています。
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・経済学研究科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料名：	該当無し	－			
		3－3 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規	長崎大学大学院学則	第15条、第17条	✓	◎		
			長崎大学大学院経済学研究科規程	第11条、第12条	✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－４ 大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）			○		
			長崎大学大学院経済学研究科規程	第4条	✓			
			経済学研究科における研究指導体制に関する申合せ		✓			
			研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料：				法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** 提出された資料からは、大学院課程において研究指導計画の作成及び学生への明示について明文化されていることが認められない。 **対応状況：** 全学教務委員会で示された規定案を基に、経済学研究科教務委員会で、研究指導計画書に関する申合せを策定し、研究科教授会で決定した。 【対応済み】	
			経済学研究科研究指導計画書に関する申合せ		✓			
			国内外の学会への参加の促進状況に関する資料：					
				該当無し	－			
			他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料					
			（協定・覚書等）	該当無し	－			
			研究倫理に関する指導が確認できる資料					
			・経済学研究科履修案内　＊２ URL：　http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/g_school/rishu_2022.pdf	令和4年度版 P.20	✓			
			ＴＡ・ＲＡとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、ＴＡ・ＲＡの採用、活用状況が確認できる資料					
			経済学研究科TAの採用に関する申合せ		✓			
			経済学研究科RAの採用に関する申合せ		✓			
			経済学研究科科 令和３年度TA・RA採用実績		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	経済学研究科履修案内　＊２： ・博士前期課程　経済経営政策専攻　授業カレンダー ・博士後期課程　経営意思決定専攻　授業カレンダー	令和4年度版 P.2 P.14	✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	経済学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓ ✓	◎		
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	経済学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　経済学研究科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。	
			経済学研究科における博士前期課程及び博士後期課程教育の自己点検に関する申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当している	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			経済学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－５ 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度（ＣＡＰ制度）を適切に設けていること	ＣＡＰ制に関する規定等の名称を記入	*該当無し（教育学研究科のみ記入*	－	－		
		４－６ 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	大学院において、夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていることを示す資料： ・長崎大学大学院学則 ・長崎大学大学院経済学研究科規程	第14条 第15条	✓	◎		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－８ 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	（教育学研究科で連携協力校との連携状況が確認できる資料名を記載）	該当なし	－	－		
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料：	該当無し	－			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓			
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・シラバス（英語）		✓	◎		
			障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26実施状況	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当無し	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学大学院学則	第14条の２	✓	◎		
			長崎大学大学院経済学研究科規程	第9条	✓			
			長崎大学大学院成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	経済学研究科履修案内　＊２	令和4年度版 P.50	✓	◎		
			経済学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			経済学研究科新入生オリエンテーション配布資料等： ・プリント「経済学研究科の成績評価基準」		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料：	該当無し	－			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料：	該当無し	－			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ７．成績評価に対する説明責任 ・成績の異議申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「成績の異議申立てに関する申合せ」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 経済学研究科履修案内　＊2	令和４年度版 P.20	✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学大学院学則	第18条～第20条				
			長崎大学大学院経済学研究科規定	第20条	✓	◎		
			長崎大学大学院経済学研究科教授会規定	第3条				
		７－２ 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定されていること	学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準					
			経済学研究科学位審査規程		✓			
			博士前期課程　学位論文の審査及び最終試験の審査基準		✓			
			博士後期課程　学位審査基準		✓			
			博士前期課程の学位審査に伴う論文報告会及び論文提出に関する取扱要領		✓	◎		
			博士後期課程の学位審査に伴う論文報告会及び論文提出等に関する取扱要領		✓			
			修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料					
			長崎大学大学院学則	第18条～第21条	✓			
			長崎大学学位規則		✓			
			長崎大学大学院経済学研究科教授会規定	第3条	✓			
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	修了要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所					
			経済学研究科概要　＊３： 博士前期課程 ・修了要件 ・学位論文審査基準 研究コース 経営学修士コース	令和4年度版 P.6 P.7 P.8	✓	◎		
			＊３（URL：　http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/g_school/gaiyou_2022.pdf）					
			経済学研究科概要　＊３： 博士後期課程 ・修了要件 ・学位論文審査基準	令和4年度版 P.21 P.19	✓			
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	経済学研究科教授会等議事録　（非公開資料）	令和4年3月3日	✓			
			学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等					
			長崎大学学位規則		✓			
			経済学研究科学位審査規定		✓	◎		
			学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料					
			長崎大学学位規則		✓			
			経済学研究科学位審査規定		✓			
			経済学研究科修了者の学位論文一覧		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・標準修業年限内の修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			・「標準修業年限×1.5」年内修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料：	令和元年３年度は該当無し	－			○２名の修了生が口頭報告と論文にて以下のとおり賞を受賞しました。 ・令和元年度博士前期課程修了生 受賞名：優秀賞 報告テーマ：「採石（砕石）業の今後の経営戦略について」 大会名：砕石フォーラム2018（第45回全国砕石技術大会（横浜）） 学会等名称：一般社団法人日本砕石協会（後援：骨材資源工学会） 受賞年月日：平成30年10月11日 ・平成28年度博士後期課程修了生 受賞名：研究奨励賞 論文テーマ：「VRICマップによる戦略ロジックの可視化　国内空調機器　メーカー２社の事例」（日本経営診断学会論集第15号所収） 学会等名称：日本経営診断学会 受賞年月日：平成28年10月18日
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）：					
			博士前期課程 （https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-2C09-02-01.html）		✓			
			博士後期課程 （https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-4C09-02-01.html）					
			修了生の社会での活躍等が確認できる資料：	令和3年度公表の資料に関しては該当なし	－			
		８－３ 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(修了時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・修了後1年目の修了生への全学的アンケート調査の集計結果　（学内専用データ） ・修了後、一定年限を経過した修了生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料　（全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）：	令和3年度の全学的アンケートについては、該当無し。	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

研究科における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

工学研究科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	工学研究科　博士前期課程 総合工学専攻のディプロマ・ポリシー		✔	◎		
			工学研究科　博士後期課程 生産システム工学専攻のディプロマ・ポリシー		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻のディプロマ・ポリシー		✔			
			公表位置 （https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）	R4年度版に更新予定	✔			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	工学研究科　博士前期課程 総合工学専攻のカリキュラム・ポリシー ・機械工学コースのカリキュラム・ポリシー ・電気電子工学コースのカリキュラム・ポリシー ・情報工学コースのカリキュラム・ポリシー ・構造工学コースのカリキュラム・ポリシー ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・ポリシー ・化学・物質工学コースのカリキュラム・ポリシー ・国際水環境工学コースのカリキュラム・ポリシー		✔	◎		
			工学研究科　博士後期課程 生産システム工学専攻のカリキュラム・ポリシー		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻のカリキュラム・ポリシー		✔			
			公表位置 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✔			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	工学研究科　博士前期課程 総合工学専攻のディプロマ・ポリシー 工学研究科　博士前期課程 総合工学専攻のカリキュラム・ポリシー ・機械工学コースのカリキュラム・ポリシー ・電気電子工学コースのカリキュラム・ポリシー ・情報工学コースのカリキュラム・ポリシー ・構造工学コースのカリキュラム・ポリシー ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・ポリシー ・化学・物質工学コースのカリキュラム・ポリシー ・国際水環境工学コースのカリキュラム・ポリシー		✔	◎		
			工学研究科　博士後期課程 生産システム工学専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			工学研究科　博士前期課程 総合工学専攻のカリキュラム・マップ		✔			
			工学研究科　博士後期課程 生産システム工学専攻のカリキュラム・マップ		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻のカリキュラム・マップ		✔			
			工学研究科　博士前期課程 総合工学専攻： ・機械工学コースのカリキュラム・ツリー ・電気電子工学コースのカリキュラム・ツリー ・情報工学コースのカリキュラム・ツリー ・構造工学コースのカリキュラム・ツリー ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム・ツリー ・化学・物質工学コースのカリキュラム・ツリー ・国際水環境工学コースのカリキュラム・ツリー	作成中です。				
			工学研究科　博士後期課程 生産システム工学専攻のカリキュラム・ツリー	作成中です。				
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻のカリキュラム・ツリー	作成中です。				
			工学研究科　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✔			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			工学研究科　博士前期課程 総合工学専攻： ・機械工学コースのカリキュラム ・電気電子工学コースのカリキュラム ・情報工学コースのカリキュラム ・構造工学コースのカリキュラム ・社会環境デザイン工学コースのカリキュラム ・化学・物質工学コースのカリキュラム ・国際水環境工学コースのカリキュラム		✔			
			工学研究科　博士後期課程 生産システム工学専攻のカリキュラム		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻のカリキュラム		✔			
			工学研究科シラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当なし	－	◎		**（地域に貢献できる研究実践力の育成）** 大島造船所（長崎県西海市）と本学は、2018年４月に、本学の研究力や人材育成力と大島造船所が培ってきた技術力を相乗的に生かし、造船業の活性化や雇用創出につなげることを目的として、船舶海洋分野の人材育成、技術研究の推進を柱とする包括的連携協定を結びました。これに基づき、2019年４月には、工学研究科内に寄付講座「船舶海洋人材育成講座」を開講し、三菱造船の顧問が教授として着任しました。2020年４月から本講座が「先進船舶海洋技術開発特論Ⅰ」と「先進船舶海洋技術開発特論Ⅱ」の臨時開設科目２科目を博士前期課程に設置・開講しています。これらの科目は、船舶海洋技術者となるためのコア技術領域を理解することを通じて、地域特有企業の高い技術力を学び、地域に貢献できる研究実践力育成を特色とするものです。 **（グリーンサイエンスの研究拠点形成を志向した研究者育成事業）** グリーンサイエンスの研究拠点形成を志向した研究者育成事業を、科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ事業として、「グリーンサイエンスの研究拠点形成を志向した研究者育成事業」を令和3年度から開始しました。グローバル視点に基づく地球規模の課題を解決する、または国際的アカデミアや産業界で活躍する実力を培うシステムによって、研究力向上・キャリアパス支援を含めた人材育成を行うものであり、5年一貫制専攻グリーンシステム創成科学専攻および生産システム工学専攻（博士後期課程）におけるマテリアルおよび環境工学の分野で、学位授与レベルを満たした上で、更に高いレベルの人材を輩出するための支援と位置付けられます。
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・工学研究科シラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学大学院学則	第15条、第17条	✔	◎		
			長崎大学大学工学研究科規定	第11条～第13条	✔			
		３－４ 大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）					
			長崎大学大学院工学研究科規定	第5条	✔			
			工学研究科における研究指導体制に関する申合せ		✔			
			研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料				法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** 提出された資料からは、大学院課程において研究指導計画の作成及び学生への明示について明文化されていることが認められない。 **対応状況：** 全学教務委員会で示された規定案を基に、工学研究科教務委員会で、研究指導計画書に関する申合せを策定し、研究科教授会で決定した。 【対応済み】	
			工学研究科研究指導計画書に関する申合せ		✔			
			国内外の学会への参加の促進状況に関する資料			○		
			・「若手研究者の国際会議発表支援」申請書および実績一覧		✔			
			他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料					
			・大島造船寄附講座研究指導計画書		✔			
			研究倫理に関する指導が確認できる資料					
			APRINの修了率		✔			
			ＴＡ・ＲＡとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、ＴＡ・ＲＡの採用、活用状況が確認できる資料					
			工学研究科TAの採用に関する申合せ		✔			
			工学研究科RAの採用に関する申合せ		✔			
			工学研究科 令和３年度TA・RA採用実績		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	工学研究科　教務スケジュール		✔	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	工学研究科　教務スケジュール		✔	◎		
			工学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	工学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　工学研究科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	
			工学部及び工学研究科における授業実施方法及びシラバスの確認に関する申合せ		✔			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✔	◎		
			工学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
		４－６ 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	大学院において、夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていることを示す資料： ・長崎大学大学院学則 ・長崎大学大学院工学研究科規程	第14条 第17条	✔	◎		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✔	◎		
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✔	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✔	◎		
			インターンシップの実施状況が確認できる資料： ・インターンシップ実施状況調べ		✔			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✔			
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター一覧表 ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✔			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・英語のみで修了できるコースについては、時間割、工学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１） （どちらも工学研究科HPにて公開している） ・履修登録期間等案内 ・水環境工学コースのカリキュラム表		✔	◎		
			障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）の制度や実施状況が確認できる資料： ・障害学生支援室概要	P.26(実施状況)	✔			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当なし	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当なし	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	6．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6－1 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学大学院学則	第14条の２	✔	◎		
			長崎大学大学院工学研究科規程	第10条	✔			
			長崎大学大学院成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✔			
		6－2 成績評価基準を学生に周知していること	工学研究科履修案内	【R3年度】P.24、P.42、P.58、P.96	✔	◎		
			工学研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✔			
			工学研究科HP					
			工学研究科　博士前期課程　成績評価基準 （URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/03_01_zenki_grade.html）		✔			
			工学研究科　博士後期課程　成績評価基準 （URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/03_02_seisan_grade.html）		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）　成績評価基準 （URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/03_03_green_grade.html）		✔			
		6－3 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	成績分布表	R3年度分は4/25教務委員会で科目を選定した後に作成予定。	✔	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・工学研究科教務委員会等の議事録 ※R2年度の成績検証分。R3年度分は、R4年6月頃実施予定。	令和3年6月4日	✔			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料：	該当なし	－			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✔			
		6－4 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ７．成績評価に対する説明責任 ・工学研究科における成績評価の疑義申立てに関する申合せ		✔	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「工学研究科における成績評価の疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 掲示資料、NU-WEB電子掲示板での掲示とメール送付（コロナ禍のみ）		✔			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✔			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項） ・工学研究科における成績評価の根拠となる資料の取扱いに関する申合せ		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	７．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	７－１ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学大学院学則 長崎大学大学院工学研究科規程 長崎大学大学院工学研究科教授会規程	第18条～第20条 第21条 第3条	✔	◎		
		７－２ 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定されていること	学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準			◎		
			工学研究科学位審査規程		✔			
			工研究科学位審査に関する申合せ		✔			
			工学研究科　博士前期課程 学位論文審査基準		✔			
			工学研究科　博士後期課程 学位論文審査基準		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制）学位論文審査基準		✔			
			修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料					
			長崎大学大学院学則	第21条	✔			
			長崎大学学位規則		✔			
			長崎大学大学院工学研究科教授会規程	第3条	✔			
			工学研究科学位審査規程		✔			
		７－３ 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	修了要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所			◎		
			工学研究科　博士前期課程 ・学位審査基準および修了要件 （URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/03_01_zenki_grade.html）		✔			
			工学研究科　博士後期課程 ・学位審査基準および修了要件 （URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/03_02_seisan_grade.html）		✔			
			工学研究科　博士課程（５年一貫制） ・学位審査基準および修了要件 （URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/03_03_green_grade.html）		✔			
		７－４ 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	工学研究科教授会等議事録　（非公開資料）	令和4年2月16日	✔	◎		
			学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等					
			長崎大学学位規則		✔			
			工学研究科学位審査規程		✔			
			学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料					
			長崎大学学位規則		✔			
			工学研究科学位審査規程		✔			
			審査及び試験に合格した学生の学位論文： ・工学研究科修了者の学位論文一覧		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔			
			実績論文発表等調		✔			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✔	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）：					
			博士前期課程（URL：https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-2G01-02-01.html）		✔			
			博士後期課程（URL：https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-4G01-02-01.html）		✔			
			博士課程　（URL：https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-5Z18-02-01.html）		✔			
			修了生の社会での活躍等が確認できる資料：					
			長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P.57-58	✓			
			長崎大学工学研究科化学・物質工学コースHP（https://www.cms.nagasaki-u.ac.jp/lab/bukka/Bukka/member.html）		✔			
			長崎大学情報データ科学部HP（https://www.idsci.nagasaki-u.ac.jp/research_ac/facultylist/staff29/）		✔			
			千歳科学技術大学HP（https://www.chitose.ac.jp/course/teacher/538）		✔			
		８－３ 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✔	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(修了時）の基礎集計表と自由記述（学内専用データ） ・修了時アンケート		✔			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(卒業時）の基礎集計表と自由記述		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✔	◎		
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・修了後1年目の修了生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・修了後、一定年限を経過した修了生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の該当データなし	－			
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・修了後1年アンケート（全学から結果送付） https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/career-after-graduation/#img6(学内専用データ）		✔			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✔	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料　（全学的調は、原則3年に1回実施し、令和3年度は実施しません）： ・全学的な就職先等調査については、原則3年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	令和3年度の該当データなし	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・キャリア討論会/毎年12月に実施(化物） ・2010年～2021年キャリア討論会出席OB一覧(化物） ・構造工学セミナー 特別講演 II （キャリア討論会） 学部・院共通/講義の一貫としてOBと意見交換(構造）		✔			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください

(若手研究者の国際会議発表支援制度）

5年一貫制専攻グリーンシステム創成科学専攻および生産システム工学専攻（博士後期課程）の学生が、自ら国際学会で研究成果を発表する際には、その内容に応じて発表のために必要な旅費・経費の一部を支援する制度（工学研究科「若手研究者の国際会議発表支援」）を設けています。SCI・SSCI論文等の審査付欧文誌発表を積極的に行うためには、国際的視点で先端研究を行うことが必要です。若手研究者（助教・博士後期課程相当の学生）に対して、国際会議での研究成果発表の機会を用意し、国際的視点での研究力向上を図ることを目的として、各年度の研究活性化経費より支援を行う一環で、海外で開

研究科における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

水産・環境科学総合研究科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 水産学専攻のディプロマ・ポリシー		✔	◎		
			水産・環境科学総合研究科　環境科学専攻のディプロマ・ポリシー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程 環境海洋資源学専攻のディプロマ・ポリシー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士課程（５年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻のディプロマ・ポリシー		✔			
			公表位置 （https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✔			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 水産学専攻のカリキュラム・ポリシー		✔	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、、水産・環境科学総合研究科の幾つかのカリキュラム・ポリシーに、評価に関する事項を追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 環境科学専攻のカリキュラム・ポリシー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程 環境海洋資源学専攻のカリキュラム・ポリシー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士課程（５年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻のカリキュラム・ポリシー		✔			
			公表位置 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✔			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 水産学専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔	○		
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 環境科学専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程 環境海洋資源学専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士課程（５年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 水産学専攻のカリキュラム・マップ		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 環境科学専攻のカリキュラム・マップ		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程 環境海洋資源学専攻のカリキュラム・マップ		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士課程（５年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻のカリキュラム・マップ		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 水産学専攻のカリキュラム・ツリー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程 環境科学専攻のカリキュラム・ツリー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程 環境海洋資源学専攻のカリキュラム・ツリー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士課程（５年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻のカリキュラム・ツリー		✔			
			水産・環境科学総合研究科　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✔			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程開設授業科目一覧		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程 環境海洋資源学専攻の開設授業科目一覧		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士課程（５年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻開設授業科目一覧		✔			
			水産・環境科学総合研究科シラバス(Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✔			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当なし	－	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： 水産・環境科学総合研究科シラバス （Webシラバス　＊１）		✔			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料名：	該当なし	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学大学院学則	第15条、第17条	✔	◎		
			長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科規程	第10条、第11条	✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－４ 大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）			○		
			長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科規程	第5条	✔			
			水産・環境科学総合研究科　研究指導体制に関する申合せ		✔			
			研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料				法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** 提出された資料からは、大学院課程において研究指導計画の作成及び学生への明示について明文化されていることが認められない。 **対応状況：** 全学教務委員会で示された規定案を基に、水産・環境科学総合研究科教務委員会で、研究指導計画書に関する申合せを策定し、研究科教授会で決定した。 【対応済み】	
			水産・環境科学総合研究科研究指導計画書に関する申合せ		✔			
			国内外の学会への参加の促進状況に関する資料：					
				該当なし	－			
			他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料					
			（協定・覚書等） ・長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科の教育研究指導等への協力に関する協定書（国立研究開発法人水産研究・教育機構） ・連携教員委嘱回答文書 ・修士論文題目及び主査・副査調査票		✔			
			研究倫理に関する指導が確認できる資料					
			・研究倫理受講者一覧		✔			
			ＴＡ・ＲＡとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、ＴＡ・ＲＡの採用、活用状況が確認できる資料					
			水産・環境科学総合研究科TAの採用に関する申合せ		✔			
			水産・環境科学総合研究科RAの採用に関する申合せ		✔			
			水産・環境科学総合研究科 令和３年度TA・RA採用実績		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	水産・環境科学総合研究科： ・博士前期課程水産学専攻　講義予定 ・博士前期課程環境科学専攻　カレンダー ・博士後期課程環境海洋資源学専攻　年間スケジュール ・博士課程(5年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻　年間スケジュール		✔	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること			✔	◎		
			水産・環境科学総合研究科のシラバス （Webシラバス　＊１）		✔			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	水産・環境科学総合研究科のシラバス （Webシラバス　＊１）		✔	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** **① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。** **②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。**よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　水産・環境科学総合研究科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 **【対応済み】**	
			水産・環境科学総合研究科におけるシラバスの確認に関する申合せ		✔			
			水産・環境科学総合研究科における授業実施方法の確認に関する申合せ		✔			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✔	◎		
			水産・環境科学総合研究科のシラバス （Webシラバス　＊１）		✔			
		４－５ 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度（ＣＡＰ制度）を適切に設けていること	ＣＡＰ制に関する規定等の名称を記入	*該当無し （教育学研究科のみ記入*	－	－		
		４－６ 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	大学院において、夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていることを示す資料： ・長崎大学大学院学則 ・長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科規程	第14条 第15条	✔	◎		
		４－８ 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	（教育学研究科で連携協力校との連携状況が確認できる資料名を記載）	該当なし	－	－		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	５．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	５－１ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✔	◎		
		５－２ 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✔	◎		
		５－３ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✔	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・博士後期課程学外実習の手引		✔			
		５－４ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✔	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✔			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・水産・環境科学総合研究科英語シラバス		✔			
			障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26実施状況	✔			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当なし	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当なし	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学大学院学則	第14条の２	✔	◎		
			長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科規程	第9条	✔			
			長崎大学大学院成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✔			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	水産・環境科学総合研究科 博士前期課程 水産学専攻の履修案内（Web版　＊２） ＊２（URL：　https://www.fe.nagasaki-u.ac.jp/zaigakusei.html）	令和4年度版 P.58	✔	◎		
			水産・環境科学総合研究科 博士前期課程 環境科学専攻の学生便覧（Web版　＊２）	令和4年度版 P.118	✔			
			水産・環境科学総合研究科 博士後期課程 海洋環境資源学専攻の履修案内（Web版　＊２）	令和3年度版 P.124	✔			
			水産・環境科学総合研究科のシラバス（Webシラバス ＊１）		✔			
			水産・環境科学総合研究科新入生オリエンテーション配布資料等： 履修案内，学生便覧		✔			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	水産・環境科学総合研究科成績分布表		✔	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・水産・環境科学総合研究科教務委員会等の議事録	【博士前期課程】 水産学専攻：令和3年12月3日 環境科学専攻：令和4年3月29日 【博士後期課程・博士課程（5年一貫制）】 令和3年11月5日	✔			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料：	該当なし	－			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✔			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科成績評価ガイドライン ７．成績評価に対する説明責任 ・水産・環境科学総合研究科成績の疑義申立てに関する申合せ		✔	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「水産・環境科学総合研究科成績の疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料：		✔			
			・水産・環境科学総合研究科 博士前期課程 水産学専攻の履修案内（Web版　＊２）	令和4年度版 P.59	✔			
			・水産・環境科学総合研究科 博士前期課程 環境科学専攻の学生便覧（Web版　＊２）	令和4年度版 P.119-120	✔			
			水産・環境科学総合研究科 博士後期課程 海洋環境資源学専攻の履修案内（Web版　＊２）	令和3年度版 P.122-123	✔			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ	該当なし	－			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7－1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学大学院学則 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科規程 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授会規程	第18条～第20条 第19条 第3条	✔	◎		
		7－2 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定されていること	学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準			◎		
			水産・環境科学総合研究科学位審査規程		✔			
			水産・環境科学総合研究科（博士前期課程）環境科学専攻学位論文審査手続要領		✔			
			水産・環境科学総合研究科博士後期課程及び5年一貫制の学位審査に関する申合せ		✔			
			水産・環境科学総合研究科海洋フィールド生命科学専攻中間審査に関する申合せ		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士前期課程　学位論文審査基準		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程　学位論文審査基準		✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士後期課程（5年一貫制）　学位論文審査基準		✔			
			修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料					
			長崎大学大学院学則	第21条	✔			
			長崎大学学位規則		✔			
			長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授会規程	第3条	✔			
			水産・環境科学総合研究科学位審査規程		✔			
		7－3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	修了要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所			◎		
			水産・環境科学総合研究科 博士前期課程 水産学専攻の履修案内（Web版　＊2） ・修了要件 ・学位審査基準 ・学位論文に係る評価の基準	令和4年度版 P.38 P.2 P47-48	✔			
			水産・環境科学総合研究科 博士前期課程 環境科学専攻の学生便覧（Web版　＊2） ・修了要件 ・学位審査基準 ・学位論文に係る評価の基準	令和4年度版 P.41 P.ii P.90	✔			
			水産・環境科学総合研究科 博士後期課程 海洋環境資源学専攻の履修案内（Web版　＊2） ・修了要件 ・学位審査基準 ・学位論文に係る評価の基準	令和3年度版 P.89 P.2	✔			
			水産・環境科学総合研究科　博士課程（５年一貫制）海洋フィールド生命科学専攻 ・修了要件：令和２年度学生便覧 ・学位審査基準：令和2年度履修案内		✔			
		7－4 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	水産・環境科学総合研究科教授会等議事録　（非公開資料）	2022年2月16日 2022年3月2日	✔	◎		
			学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等					
			長崎大学学位規則		✔			
			水産・環境科学総合研究科学位審査規程		✔			
			学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料					
			長崎大学学位規則		✔			
			水産・環境科学総合研究科学位審査規程		✔			
			審査及び試験に合格した学生の学位論文： ・水産・環境科学総合研究科修了者の学位論文一覧		✔			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	８．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	８－１ 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・標準修業年限内の修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔	◎		
			・「標準修業年限×1.5」年内修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✔			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況 （2021年度）　博士前期課程　14件 博士後期課程　24件 博士課程（5年一貫制）　3件 ・学生の受賞状況　博士前期課程　1*件* （2021）年度　博士後期課程　1件 ・各コンペティション等での学生の受賞状況 （2021年度）　博士前期課程　1*件*		✔			
		８－２ 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分） （別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✔	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）：					
			博士前期課程　（URL：https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-2Z18-02-01.html）		✔			
			博士後期課程　（URL：https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-4Z18-02-01.html）		✔			
			博士課程　（URL：https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0380/0380-5Z18-02-01.html）		✔			
			修了生の社会での活躍等が確認できる資料：					
			・長崎大学大学案内2023 https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/pamphlet/file/2023annai.pdf	P.69	✓			
			・長崎大学広報誌CHOHO vol.79（2022春季号） https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/publicity/file/c079-3.pdf	P.12	✓			
		８－３ 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✔	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(修了時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✔			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✔	◎		
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ： ・修了後1年目の修了生への全学的アンケート調査の集計結果 （学内専用データ） ・修了後、一定年限を経過した修了生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当なし	－			
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✔	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・全学的な就職先等調査については、原則3年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当なし	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

(国際連携による教育活動)

水産・環境科学総合研究科では、文化と経済のグローバル化が拡大する中、日本で独特な近現代史と特有の自然環境を持つ長崎において、地球的課題の１つである環境問題の解決に資する国際環境エキスパートを養成するため、「長崎で学び、グローバルに活躍する国際環境エキスパート養成プログラム」を令和3年11月～令和4年1月に実施しました。本学学生8名に加え、環境科学系の海外重点協定校であるASEANのマヒドン大学（タイ）から15名，インドネシア大学（インドネシア）から10名，カントー大学（ベトナム）から7名が参加し、国際環境エキスパートセミナー（4つの環境科学分野の座学・演習）及びPBL（アジア各国の環境問題に関するグループワーク・フィールドワーク及び国際シンポジウムENRIC2021への参加）からなるオンデマンドとライブオンラインを組み合わせたウィンタースクール形式の英語カリキュラムにより、参加学生のうち計36名が、セミナーで１単位、PBLで１単位の合計2単位を修得しました。本学学生と留学生が異文化を理解しながら共修して議論することにより、プラネタリーヘルスやSDGs達成に資する環境レジリエンスの重要課題を自ら見出し、それを解決する方策を見出す能力を養う有益な機会を各国の学生に提供することができました。

(地域連携による教育活動)

「長崎まちづくり教育プログラム」に係る活動の一環として実施された成果発表会には、長崎市役所の関連部署（土木部、まちづくり部等）にも参加してもらっています。これまでに発表・議論したアイデアの一部は、平和町商店街通り整備計画や天主公園基本計画、野母崎恐竜公園基本構想、佐古小学校小島養生所遺跡移動実施計画などにおいて長崎市に取上 げられるなど、実社会に影響を及ぼしています。

研究科における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

医歯薬学総合研究科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻： ・一般コースのディプロマ・ポリシー　　・特別コースのディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のディプロマ・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻のディプロマ・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程・博士後期課程のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表位置 （https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻： ・一般コースのカリキュラム・ポリシー　　・特別コースのカリキュラム・ポリシー		✓	◎		
			医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のカリキュラム・ポリシー ・修士論文コースのカリキュラム・ポリシー ・遺伝看護・遺伝カウンセリングコースのカリキュラム・ポリシー ・がん看護専門看護師養成コースのカリキュラム・ポリシー ・助産師養成コースのカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻： ・医科学コースのカリキュラム・ポリシー　　・保健看護学コースのカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・医療科学専攻のカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院）のカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院を除く）のカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・放射線医療科学専攻のカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・先進予防医学共同専攻のカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士後期課程　生命薬科学専攻専攻： ・一般コースのカリキュラム・ポリシー　　・特別コースのカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表位置 （URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻： ・一般コースのディプロマ・ポリシーとカリキュラムポリシー ・特別コースのディプロマ・ポリシーとカリキュラムポリシー		✓	◎		
			医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のディプロマ・ポリシー 医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻のカリキュラム・ポリシー ・修士論文コースのカリキュラム・ポリシー ・遺伝看護・遺伝カウンセリングコースのカリキュラム・ポリシー ・がん看護専門看護師養成コースのカリキュラム・ポリシー ・助産師養成コースのカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻のディプロマ・ポリシー 医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻： ・医科学コースのカリキュラム・ポリシー ・保健看護学コースのカリキュラム・ポリシー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程・博士後期課程のディプロマ・ポリシー 医歯薬学総合研究科 博士課程・博士後期課程： ・医療科学専攻のカリキュラム・ポリシー ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院）のカリキュラム・ポリシー ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院を除く）のカリキュラム・ポリシー ・放射線医療科学専攻のカリキュラム・ポリシー ・先進予防医学共同専攻のカリキュラム・ポリシー ・生命薬科学専攻専攻： 　・一般コースのカリキュラム・ポリシー　　・特別コースのカリキュラム・ポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－1 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料					
			医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻： ・一般コースのカリキュラム・マップ　・特別コースのカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻： ・修士論文コースのカリキュラム・マップ　・遺伝看護・遺伝カウンセリングコースのカリキュラム・マップ ・がん看護専門看護師養成コースのカリキュラム・マップ　・助産師養成コースのカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻： ・医科学コースのカリキュラム・マップ　・保健看護学コースのカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程：・医療科学専攻のカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院）のカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院を除く）のカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程：・放射線医療科学専攻のカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程：・先進予防医学共同専攻のカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士後期課程　生命薬科学専攻専攻： ・一般コースのカリキュラム・マップ　・特別コースのカリキュラム・マップ		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻： ・一般コースのカリキュラム・ツリー　・特別コースのカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻： ・修士論文コースのカリキュラム・ツリー　・遺伝看護・遺伝カウンセリングコースのカリキュラム・ツリー ・がん看護専門看護師養成コースのカリキュラム・ツリー　・助産師養成コースのカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻： ・医科学コースのカリキュラム・ツリー　・保健看護学コースのカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程：・医療科学専攻のカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院）のカリキュラム・ツリー		✓	◎		
			医歯薬学総合研究科 博士課程： ・新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院を除く）のカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程：・放射線医療科学専攻のカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程：・先進予防医学共同専攻のカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士後期課程　生命薬科学専攻専攻： ・一般コースのカリキュラム・ツリー　・特別コースのカリキュラム・ツリー		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻の科目ナンバリングコード一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻の科目ナンバリングコード一覧　＊１ ＊１　（URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/）		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻： ・医療科学コースの科目ナンバリングコード一覧　・保健看護学コースの科目ナンバリングコード一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程　医療科学専攻の科目ナンバリングコード一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程　新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院）の科目ナンバリングコード一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程　新興感染症病態制御学系専攻（リーディング大学院を除く）の科目ナンバリングコード一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程　放射線医療科学専攻の科目ナンバリングコード一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程　先進予防医学共同専攻の科目ナンバリングコード一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士後期課程　生命薬科学専攻専攻の科目ナンバリングコード一覧		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			医歯薬学総合研究科開設授業科目一覧		✓			
			医歯薬学総合研究科シラバス（Webシラバス　＊２） ＊２（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	3．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3－2 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当無し	－	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当無し	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・医歯薬学総合研究科シラバス（Webシラバス　＊２）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料名：	該当無し	－			
		3－3 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学大学院学則	第15条、第17条	✓	◎		（保健学） ・交流協定により聖隷クリストファー大学大学院の履修科目の単位認定を行っています。
			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科規程	第15条、第16条	✓			
		3－4 大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）			○		
			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科規程	第5条、第11条	✓			
			研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料				法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** 提出された資料からは、大学院課程において研究指導計画の作成及び学生への明示について明文化されていることが認められない。 **対応状況：** 全学教務委員会で示された規定案を基に、医歯薬学総合研究科教務委員会で、医歯薬学総合研究科における研究指導計画書に関する申合せを策定し、運営会議で決定した。 なお、修士課程保健学専攻については保健学系会議で、博士前期課程薬科学専攻については薬学部教授会議で決定した。 【対応済み】	
			医歯薬学総合研究科における研究指導計画書に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科　修士課程　保健学専攻における研究指導計画書に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科　博士前期課程　薬科学専攻における授業科目の実施に関する申合せ		✓			
			国内外の学会への参加の促進状況に関する資料：					
			（薬学系）特別薬科学演習シラバス		✓			
			他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料					（保健学） ・交流協定により聖隷クリストファー大学大学院の履修科目の単位認定を行っています。 ・釜山カトリック大学校理学療法学科との学術交流協定による大学院生・教員の研究発表会を実施しています。
			（保健学：協定・覚書等） ・聖隷クリストファー大学大学院との大学院学生の交流に関する協定書 ・釜山カトリック大学校理学療法学科との学術交流協定		✓			
			研究倫理に関する指導が確認できる資料					
			・eAPRINのアカウントを作成し，受講するよう通知している（メール） ・生命薬科学トピックス　シラバス（生命薬科学） ・研究倫理教育の実施に関する指針（保健学）		✓			
			ＴＡ・ＲＡとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、ＴＡ・ＲＡの採用、活用状況が確認できる資料					
			医歯薬学総合研究科TAの採用に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科RAの採用に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科 令和３年度TA・RA採用実績		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	4．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	4－1 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	医歯薬学総合研究科： ・博士前期課程生命薬科学専攻 授業計画カレンダー ・修士課程保健学専攻　学年暦 ・修士課程災害・被ばく医療科学共同専攻　時間割カレンダー ・博士課程・博士後期課程　Callender		✓	◎		
		4－2 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること			✓			
			医歯薬学総合研究科のシラバス（Webシラバスス　＊2）		✓	◎		
		4－3 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	医歯薬学総合研究科のシラバス（Webシラバス　＊2）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** ① シラバスの記載については、全学教務委員会で全学的なシラバス作成支援ガイドラインを提示し、シラバスの記載内容の適正化を図ってきた。しかし、実際に記載されている内容を確認する体制が未整備であったため、一部記載漏れ等が生じていた。 よって、全学教務委員会で審議し、申合せ案を策定した。 ②授業方法等については、FD等の実施による教育改善指導及びマニュアルの周知などにより、授業実施の質の担保を図ってきたが、必ずしも徹底されていなかった。よって、全学教務委員会で授業方法等の確認のための申合せ案を策定した。 　医歯薬学総合研究科においては、全学教務委員会で示された申合せ案を踏まえて、シラバス及び授業実施方法の確認のための申合せを制定し、組織的なチェックを実施した。 【対応済み】	
			医歯薬学総合研究科博士課程・博士後期課程における授業シラバスの確認に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科保健学専攻におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科博士前期課程における授業科目の実施に係る申合せ (シラバスの確認)		✓			
			医歯薬学総合研究科博士課程・博士後期課程における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科保健学専攻における授業実施方法の確認に関する申合せ		✓			
			医歯薬学総合研究科博士前期課程における授業科目の実施に係る申合せ (授業実施方法等の確認)		✓			
		4－4 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			医歯薬学総合研究科のシラバス（Webシラバス　＊2）		✓			
		4－5 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度（ＣＡＰ制度）を適切に設けていること	ＣＡＰ制に関する規定等の名称を記入	*該当無し（教育学研究科のみ記入*	－	－		
		4－6 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	大学院において、夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていることを示す資料： ・長崎大学大学院学則 ・長崎大学大学院医歯薬学総合研究科規程	第14条 第20条	✓	◎		
		4－8 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	（教育学研究科で連携協力校との連携状況が確認できる資料名を記載）	該当なし	－	－		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： ・新興感染症病態制御学系専攻のリーディング大学院でインターンシップを実施（実施要項等あり）		✓			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		薬学部生及び大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）の学生に対して、学生相談、就学相談及びメンタルヘルスの円滑な実施に資することを目的として、学生支援等協議会を設置しています。この協議会は年２回開催し、保健センターカウンセラーも含めて成績不良者との面談結果や配慮が必要な学生について教員間で情報共有しており、様々な学生の支援に役立てています。
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・長崎大学留学生・教育支援センターHP （長崎大学にチューター制度を設けている） URL：　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： ・医歯薬HP （HPで英語併記している。学務課で英語対応を雇用し，英語によるメールや窓口での対応を行っている。） URL：　http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/student/index.html		✓			
			障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26実施状況	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料：	該当無し	－			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当無し	－			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-6	６．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	６－１ 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学大学院学則	第14条の２	✓	◎		
			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科規程	第13条	✓			
			長崎大学大学院成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		６－２ 成績評価基準を学生に周知していること	医歯薬学総合研究科の履修の手引　＊３ ＊３　URL：　http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/student/form_gakui/2022_tebiki.pdf	令和4年版 P.40	✓	◎		
			医歯薬学総合研究科のシラバス（Webシラバス　＊２）		✓			
			医歯薬学総合研究科新入生オリエンテーション配布資料等： オリエンテーション資料有り		✓			
		６－３ 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	医歯薬学総合研究科成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・（薬学系）薬学部教務委員会の議事録	令和4年3月10日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・長崎大学の学業成績基準で定められている		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		６－４ 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ７．成績評価に対する説明責任 ・学生の成績評価に対する異議申し立て及び教員の成績通知・変更に関する実施要領 ・医歯薬学総合研究科保健学専攻における成績の疑義申立てに関する申合せ ・医歯薬学総合研究科博士前期課程における授業科目の実施に係る申合せ （成績の疑義申立ての方法等）	第3条	✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「学生の成績評価に対する異議申し立て及び教員の成績通知・変更に関する実施要領」、「医歯薬学総合研究科保健学専攻における成績の疑義申立てに関する申合せ」、「医歯薬学総合研究科博士前期課程における授業科目のの実施に係る申合せ(疑義申立ての方法等）」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： ・学生向け掲示 ・医歯薬学総合研究科の履修の手引　P120 ・半期毎に成績発表時にメールにて通知している。HPの在学生向けページにも申し合わせを掲載している。 ・医歯薬HP （学務関係内規（申合せ）：学生からの成績評価に関する異議申立てに関する取扱要領） URL：　http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/student/index.html		✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ	令和３年度は該当無し	－			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7－1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学大学院学則	第18条～第20条	✓	◎		
			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科規程	第24条				
			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授会規程	第3条				
		7－2 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定されていること	学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準			◎		
			医歯薬学総合研究科学位審査規程		✓			
			医歯薬学総合研究科学位審査に関する申し合わせ URL：　http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/student/form_gakui/gakuishinsa.pdf		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻 学位論文評価基準 URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/file/80-1.pdf		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 保健学専攻　学位論文審査基準 URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/file/80-2.pdf		✓			
			医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻のディプロマ・ポリシー URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/file/80-3.pdf		✓			
			医歯薬学総合研究科 博士課程・博士後期課程のディプロマ・ポリシー URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/file/80-4.pdf		✓			
			修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料					
			長崎大学大学院学則	第21条	✓			
			長崎大学学位規則		✓			
			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授会規程	第3条	✓			
			医歯薬学総合研究科学位審査規程		✓			
		7－3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	修了要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所			◎		
			修了要件 ・医歯薬学総合研究科 令和４年度版履修の手引　＊３ ・学位論文審査基準 医歯薬学総合研究科概要 URL：http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/outline/gaiyou.pdf	令和4年版 P.39～P.40 令和3年度版 P.16、P.20、P.24、 P.31	✓			
		7－4 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	医歯薬学総合研究科教授会等議事録　（非公開資料）	令和3年6月2日 令和3年9月1日 令和3年12月1日 令和4年3月2日	✓	◎		
			学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等					
			長崎大学学位規則		✓			
			医歯薬学総合研究科学位審査規程		✓			
			学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料					
			長崎大学学位規則		✓			
			医歯薬学総合研究科学位審査規程		✓			
			審査及び試験に合格した学生の学位論文： 医歯薬学総合研究科修了者の学位論文一覧		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・標準修業年限内の修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			・「標準修業年限×1.5」年内修了率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況　　309件 ・学生の受賞状況　　12件 ・各コンペティション等での学生の受賞状況　21件 ・発表論文の１件は、European Journal of Organic Chemistry（2021年5号）のCover Featureに採用された。		✓			
		8－2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）：					
			修士課程（https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-1M32-02-01.html）		✓			
			博士前期課程（https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-2M32-02-01.html）		✓			
			博士後期課程（https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-4M32-02-01.html）		✓			
			博士課程（https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-6M32-02-01.html）		✓			
			修了生の社会での活躍等が確認できる資料：					
			・長崎大学広報誌CHOHO vol.75（2021春季号） https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/publicity/file/c075-all.pdf	P.13-P.14	✓			
			・長崎大学広報誌CHOHO vol.79（2022春季号） https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/publicity/file/c079-3.pdf	P.6、P.8	✓			
			・薬学部ガイドブック URL：　http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/main/data/NUSP2022.pdf	2022年版 P.16	✓			
			・長崎大学HP〔口腔腫瘍治療学の講師が日本歯科放射線学会優秀論文賞を受賞(2021/12/09)〕 URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/news/news3498.html		✓			
			・長崎大学HP〔歯科法医学分野の助教が一般財団法人JP生きがい振興財団から地域安全功労賞を受賞(2021/10/22)〕 URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/news/news3446.html		✓			
			・長崎大学HP〔生命医科学域 口腔保健学分野の准教授が第70回日本口腔衛生学会・総会にて学術賞“LION AWARD”を受賞(2021/06/23)〕 URL：　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/news/news3350.html					
		8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(修了時）の基礎集計表と自由記述(学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料 ・修了後1年目の修了生への全学的アンケート調査の集計結果　（学内専用データ） ・修了後、一定年限を経過した修了生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当無し	－			
			修了後、一定年限を経過した修了生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・全学的な就職先等調査については、原則3年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当無し	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当無し	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

（災害・被ばく医療科学分野に関する取組）

2016 年 4 月に、本学及び福島県立医科大学における共同教育課程として修士課程災害・被ばく医療科学共同専攻を設置し　放射線災害を含む複合型災害において必要な高度の専門知識及び能力を修得させるとともに、専攻分野の基礎的要素を涵養し、長期にわたって健康影響に適切に対応できる高度専門職業人の育成に取り組んでいます。また、2017 年度に採択された、文部科学省大学の世界展開力強化事業「ロシアとの大学間交流形成支援」により、修士課程災害・被ばく医療科学分野における日露両国及び世界の専門家育成を図るため、北西医科大学（ロシア）とのダブル・ディグリー・プログラムの実施に向けた取り組みを行っており、2021年秋入学からダブル・ディグリー・プログラムを開始しました。

研究科における自己点検・評価のためのチェック表(令和3年度版）（共通項目）

熱帯医学・グローバルヘルス研究科

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-1	1．学位授与方針が具体的かつ明確であること	1－1 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 博士前期課程 グローバル ヘルス専攻のディプロマ・ポリシー		✓	◎		
			熱帯医学・グローバル研究科 博士後期課程 グローバルヘルス専攻のディ プロマ・ポリシー		✓			
			熱帯医学・グローバル研究科 博士後期課程 NU-LSHTM 国際連携グローバルヘルス専攻のディプロマ・ポリシー		✓			
			公表の位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
6-2	2．教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	2－1 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 博士前期課程 グローバル ヘルス専攻のカリキュラム・ポリシー		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** ①②③の策定及び運用に関するガイドライン等に示されている内容が十分に明文化されていない。 **対応状況：** 組織的対応として、全学教務委員会で検討した参考例を基に、熱帯医学・グローバルヘルス研究科のカリキュラム・ポリシーに、評価に関する事項を追記する改訂を実施した。その改訂案については、全学教務委員会で確認した後、教育研究評議会で審議・決定した。 【対応済み】	
			熱帯医学・グローバル研究科 博士後期課程 グローバルヘルス専攻のカリ キュラム・ポリシー		✓			
			熱帯医学・グローバル研究科 博士後期課程 NU-LSHTM 国際連携グローバルヘルス専攻のカリキュラム・ポリシー		✓			
			公表の位置 （URL: https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/philosophy/policy/　）		✓			
		2－2 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 博士前期課程 グローバル ヘルス専攻のディプロマポリシーとカリキュラムポリシー		✓	◎		
			熱帯医学・グローバル研究科 博士後期課程 グローバルヘルス専攻のディプロマポリシーとカリキュラムポリシー		✓			
			熱帯医学・グローバル研究科 博士後期課程 NU-LSHTM 国際連携グローバルヘルス専攻のディプロマ・ポリシーとカリキュラムポリシー		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-3	３．教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	３－１ 教育課程の編成が、体系性を有していること	体系性が確認できる資料			◎		
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科のカリキュラムマップ		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科のコース・ツリー		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科　科目ナンバー　一覧 （長崎大学ナンバリング・システム） URL：https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/numbering/		✓			
			授業科目の開設状況が確認できる資料					
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科開設授業科目一覧 熱帯医学・グローバルヘルスシラバス（Webシラバス　＊１） ＊１（URL:　https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html　）		✓			
		３－２ 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	分野別第三者評価の結果：	該当なし	－	◎		
			日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料：	該当なし	－			
			一単位の授業科目には45 時間の学習時間が必要であることを検証できるシラバス： ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科シラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料：	該当なし	－			
		３－３ 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	長崎大学大学院学則	第15条、第17条	✓	○		
			長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程	第13条～第15条	✓			
		３－４ 大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）					
			長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程	第6条、第8条	✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科　履修の手引き		✓			
			研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料				法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容：** 提出された資料からは、大学院課程において研究指導計画の作成及び学生への明示について明文化されていることが認められない。 **対応状況：** 全学教務委員会で示された規定案を基に、熱帯医学・グローバルヘルス研究科教務委員会で、研究指導計画書に関する申合せを策定し、研究科教授会で決定した。 【対応済み】	
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科研究指導計画書に関する申合せ		✓			
			国内外の学会への参加の促進状況に関する資料：					
			Presentation at academic conferences (1年次のオリエンテーションにて，学会への単なる参加・入会だけでなく修士論文の内容等の発表をするように指導)		✓			
			他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料					
			（協定・覚書等） 修士論文審査員一覧，博士論文審査員一覧，NCGMとの連携協定，卓越大学院連携協定		✓			
			研究倫理に関する指導が確認できる資料					
			「研究倫理」授業資料		✓			
			ＴＡ・ＲＡとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、ＴＡ・ＲＡの採用、活用状況が確認できる資料					
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科TAの採用に関する申合せ		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科RAの採用に関する申合せ		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科 令和３年度TA・RA採用実績		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-4	４．学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	４－１ １年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科　学事カレンダー		✓	◎		
		４－２ 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科　学事カレンダー		✓	◎		
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－３ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓	○	法人評価（現況分析）の留意事項より **指摘内容①：** 提出されたシラバスの一部の授業科目について、授業の方法及び内容の記載が十分ではない。 認証評価訪問調査での確認事項より **確認内容①：** 一部の授業科目において、シラバスの記載が適切でないものがある。シラバスが適切に記載されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **確認内容②：** 一部の授業科目において、授業方法、授業時間等が適切に実施されていない。授業方法等について適切に実施されていることを組織的にチェックする体制を確認したい。 **対応状況：** 全学教務委員会で示された規定案を踏まえて「熱帯医学・グローバルヘルス研究科（TMGH)におけるシラバスの確認における申合せ」及び「熱帯医学・グローバルヘルス研究科（TMGH)における授業実施方法の確認における申合せ」を制定し、組織的なチェックを実施した。 【対応済み】	
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科（TMGH)におけるシラバスの確認に関する申合せ		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科（TMGH)に関する授業実施方法の確認における申合せ		✓			
		４－４ 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	教育上主要と認める授業科目（別紙様式６－４－４）		✓	◎		
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
		４－５ 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度（ＣＡＰ制度）を適切に設けていること	ＣＡＰ制に関する規定等の名称を記入	*該当無し（教育学研究科のみ記入*	－	－		
		４－６ 大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第14条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	大学院において、夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていることを示す資料： ・長崎大学大学院学則 ・長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程	第14条 第19条	✓	◎		
		４－８ 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	（教育学研究科で連携協力校との連携状況が確認できる資料名を記載）	該当なし	－	－		

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-5	5．学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること	5－1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	・履修指導の実施状況（別紙様式６－５－１）		✓	◎		
		5－2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	・学習相談の実施状況（別紙様式６－５－２）		✓	◎		
		5－3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式６－５－３）		✓	◎		
			インターンシップの実施状況がわかる資料： 長期海外派遣（インターシップ）の実施状況一覧		✓			
		5－4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式６－５－４）		✓	◎		
			チューター等の制度や配置状況が確認できる資料： ・チューター一覧表 ・留学生チューター制度 URL:　https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/?page_id=204		✓			
			留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）の該当箇所： 熱帯医学・グローバルヘルス研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）及び時間割（すべて英語表記）		✓			
			障害のある学生に対する支援(ノートテーカー等)の制度や実施状況が確認できる資料： ・障がい学生支援室概要	P.26実施状況	✓			
			特別クラス、補習授業の実施状況（受講者数等）が確認できる資料： Key Skillの授業受講生数一覧（初年次の学生全員）		✓			
			学習支援の利用実績が確認できる資料：	該当なし	－			
6-6	6．教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6－1 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	長崎大学大学院学則	第14条の２	✓	◎		
			長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程	第10条	✓			
			長崎大学大学院成績評価ガイドライン ３．成績評価の基準		✓			
		6－2 成績評価基準を学生に周知していること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科の履修案内	P.7	✓	◎		
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科のシラバス（Webシラバス　＊１）		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科新入生オリエンテーション配布資料		✓			
		6－3 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	熱帯医学・グローバルヘルス研究科成績分布表		✓	◎		
			成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科教務委員会等の議事録	令和4年3月2日	✓			
			ＧＰＡ制度の目的と実施状況についてわかる資料： ・学長賞選出候補一覧表		✓			
			（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化		✓			
		6－4 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	学生からの成績評価に関する申立ての手続きが明示されている資料： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ７．成績評価に対する説明責任 ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科成績の疑義申立てに関する申合せ		✓	○	法人評価（現況分析）での留意事項および認証評価訪問調査での確認事項 **指摘及び確認内容：** 成績異議申し立て制度が組織的に実施されていることが確認できない。確認できる資料の提出をお願いしたい。 **対応状況：** 「個別の授業担当教員の判断をもって申立てに関する対応としないことが必要である」という認証評価機構からの指導に基づき、全学教務委員会で申合せ案を策定した。それを踏まえて「熱帯医学・グローバルヘルス研究科成績の疑義申立てに関する申合せ」を制定した。 **【対応済み】**	
			成績評価に関する申立ての手続きの学生への周知等が明示されている資料： 熱帯医学・グローバルヘルス研究科の学生便覧		✓			
			申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		✓			
			成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類： ・長崎大学大学院成績評価ガイドライン ５．成績評価の厳格化 ・成績評価の根拠となる資料の取り扱いについて （全学教務委員会申し合わせ事項）		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-7	7．大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	7－1 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	長崎大学大学院学則	第18条～第20条	✓	◎		
			長崎大学大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程	第23条	✓			
			長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授会規程	第3条	✓			
		7－2 大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文審査基準」という。）を組織として策定されていること	学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準			◎		
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科学位審査規程		✓			
			長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 ・博士前期課程　グローバルヘルス専攻 学位審査基準 ・博士後期課程 グローバルヘルス専攻 学位審査基準 ・博士後期課程 長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻 学位審査基準		✓			
			修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料					
			長崎大学大学院学則	第21条	✓			
			長崎大学学位規則		✓			
			長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授会規程	第3条	✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究科学位審査規程		✓			
		7－3 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	修了要件(学位論文評価基準を含む）を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所： ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科 ウェブサイト URL：https://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/application_details/degree-examination-criteria		✓	◎		
		7－4 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	熱帯医学・グローバルヘルス研究教授会等議事録 (非公開資料)	令和4年9月1日	✓	◎		
			学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等					
			長崎大学学位規則		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究学位審査規程		✓			
			学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料					
			長崎大学学位規則		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究学位審査規程		✓			
			熱帯医学・グローバルヘルス研究修了者の学位論文一覧		✓			

対応する大学評価基準No	自己点検・評価項目（分析項目）	点検（分析）内容	点検（分析）項目に係る根拠資料・データ類	備考	資料等のチェック欄	当該部局による自己判定	第三者評価の結果、外部者等からの意見とそれらへの対応状況	特色ある取組や優れた成果が確認できる取組
6-8	8．大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	8－1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	標準修業年限内の卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓	◎		
			「標準修業年限×1.5」年内卒業率（過去５年分）（別紙様式６－８－１）		✓			
			資格の取得者数が確認できる資料：	該当なし	－			
			論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料： ・学生が発表した論文の採択状況　　43*件* ・学生の受賞状況　　1*件*		✓			
		8－2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去５年分）（別紙様式６－８－２）主な進学/就職先（起業者も含む）		✓	◎		
			学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当ＵＲＬ）：					
			博士前期課程　URL：　https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-2M79-02-01.html		✓			
			博士後期課程　URL：　https://portraits.niad.ac.jp/faculty/academic-program/0380/0380-4M79-02-01.html		✓			
			修了生の社会での活躍等が確認できる資料： 国際健康開発広報誌、新聞、SNS		✓			
		8－3 卒業(修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	学修状況報告(入学時、学年末、卒業時）の実施ガイドライン		✓	◎		
			学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査）の概要及びその結果が確認できる資料： ・学修状況報告(修了時）の基礎集計表と自由記述 （学内専用データ）		✓			
			学生からの意見聴取（学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料： ・修了状況発表会（インタビューを進学説明会に合わせて実施）		✓			
		8－4 卒業(修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「卒業生・修了生調査」ガイドライン		✓	◎		
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・卒業後1年目の卒業生への全学的アンケート調査の集計結果　（学内専用データ） ・卒業後、一定年限を経過した卒業生への全学的アンケートは4年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。	該当なし	－			
			卒業後、一定年限を経過した卒業生についての意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			
		8－5 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	「就職先等調査」ガイドライン		✓	◎		
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート）の概要及びその結果が確認できる資料： ・全学的な就職先等調査については、原則3年に1回実施することとしており、今年度は該当する資料はありません。：該当なし	該当なし	－			
			就職先や進学先等の関係者への意見聴取（懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料：	該当なし	－			

特記事項：大学評価基準の内容に関して、上記の点検（分析）のみでは自己評価できない活動や取組を記述してください。

（国際連携グローバルヘルス専攻の設置）

既存の博士前期課程を基盤に、ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院(LSHTM)やNCGMとの連携を軸に、国際的・社会的なニーズへ資すること及び世界的グローバルヘルス教育研究拠点となることを目的に、平成30年４月に「グローバルヘルス専攻（博士後期課程）」及びLSHTMとのジョイント・

段階判定基準

自己判定	判定基準	備考
◎	当該基準を満たしている。	
○	第三者等からの意見によって、対応措置を行い、当該基準を満たした。	
△	基準を概ね満たしている。	
×	当該基準を満たしていない。	

認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式1（令和4年5月1日現在）

事項	記入欄	備考
大学の名称	国立大学法人　長崎大学	
学校本部の所在地	長崎県長崎市文教町1-14	

教育研究組織

学士課程

学部・学科等の名称	開設年月日	所在地	備考
多文化社会学部			
多文化社会学科	平成26年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
教育学部			
学校教育教員養成課程	平成10年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
経済学部			
総合経済学科　昼間コース	平成9年10月1日	長崎県長崎市片淵4-2-1 （片淵キャンパス）	
総合経済学科　夜間主コース		〃	
医学部			
医学科	昭和24年5月1日	長崎県長崎市坂本1-12-4 （坂本キャンパス1）	
保健学科	平成13年10月1日	長崎県長崎市坂本1-7-1 （坂本キャンパス2）	
歯学部			
歯学科	昭和54年10月1日	長崎県長崎市坂本1-7-1 （坂本キャンパス2）	
薬学部			
薬学科	平成18年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
薬科学科	昭和61年4月1日	〃	
情報データ科学部			
情報データ科学科	令和2年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
工学部			
工学科	平成23年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
環境科学部			
環境科学科	平成9年10月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
水産学部			
水産学科	昭和48年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	

大学院課程

研究科・専攻等の名称	開設年月日	所在地	備考
多文化社会学研究科			
多文化社会学専攻（M）	平成30年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
多文化社会学専攻（D）	令和2年4月1日	〃	
経済学研究科			
経済経営政策専攻（M）	平成7年4月1日	長崎県長崎市片淵4-2-1 （片淵キャンパス）	
経営意思決定専攻（D）	平成16年4月1日	〃	
工学研究科			
総合工学専攻（M）	平成23年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
生産システム工学専攻（D）	平成23年4月1日	〃	
グリーンシステム創成科学専攻（D）	平成23年4月1日	〃	
水産・環境科学総合研究科			
水産学専攻（M）	平成23年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
環境科学専攻（M）	平成27年4月1日	〃	
環境海洋資源学専攻（D）	平成23年4月1日	〃	
海洋フィールド生命科学専攻（D）	平成23年4月1日	〃	令和4年度より学生募集を停止
医歯薬学総合研究科			
保健学専攻（M）	平成18年4月1日	長崎県長崎市坂本1-7-1 （坂本キャンパス2）	
災害・被ばく医療科学共同専攻（M）	平成28年4月1日	長崎県長崎市坂本1-12-4 （坂本キャンパス1）	
生命薬科学専攻（M）	平成24年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
医療科学専攻（D）	平成14年4月1日	長崎県長崎市坂本1-12-4 （坂本キャンパス1）	
新興感染症病態制御学系専攻（D）	平成14年4月1日	〃	
放射線医療科学専攻（D）	平成14年4月1日	〃	
先進予防医学共同専攻（D）	平成28年4月1日	〃	
生命薬科学専攻（D）	平成24年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科			
グローバルヘルス専攻（M）	平成27年4月1日	長崎県長崎市坂本1-12-4 （坂本キャンパス1）	
グローバルヘルス専攻（D）	平成30年4月1日	〃	
長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 国際連携グローバルヘルス専攻（D）	平成30年4月1日	〃	

専門職学位課程

研究科・専攻等の名称	開設年月日	所在地	備考
教育学研究科			
教職実践専攻	平成20年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	

教育研究組織

別科等

別科・専攻科・附置研究所等の名称	開設年月日	所　在　地	備　　考
大学教育イノベーションセンター	平成25年10月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
言語教育研究センター	平成24年4月1日	長崎県長崎市文教町1-14 （文教キャンパス）	
熱帯医学研究所	昭和24年5月1日	長崎県長崎市坂本1-12-4 （坂本キャンパス1）	
原爆後障害医療研究所	平成25年4月1日	長崎県長崎市坂本1-12-4 （坂本キャンパス1）	
長崎大学病院	昭和24年5月1日	長崎県長崎市坂本1-7-1 （坂本キャンパス2）	

学生募集停止中の学部・研究科等

学士課程

学部・学科等の名称	専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち教授数	助手	非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備　考
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
多文化社会学部											在学学生数
多文化社会学科	12	17	0	8	37	13	7	0	18	11.94595	442
教育学部											
学校教育教員養成課程	29	39	0	3	71	60	17	0	34	11.21127	796
経済学部											
総合経済学科　昼間コース	14	20	2	5	41	18	9	0	24	27.95122	1,146
総合経済学科　夜間主コース										7.04878	289
医学部											
医学科	49	38	14	71	172	150	30	0	133	4.505814	775
保健学科	20	15	0	14	49	24	12	0	35	8.693878	426
歯学部											
歯学科	16	18	0	41	75	75	18	0	77	4.173333	313
薬学部											
薬学科	12	10	0	6	28	22	11	0	48	8.857143	248
薬科学科	4	5	0	3	12	8	4	0		13.75	165
情報データ科学部											
情報データ科学科	11	12	0	6	29	15	8	0	3	11.68966	339
工学部											
工学科	30	38	0	22	90	21	11	1	24	16.12222	1,451
環境科学部											
環境科学科	18	20	0	2	40	14	7	0	7	14.15	566
水産学部											
水産学科	22	16	0	2	40	15	8	0	15	11.575	463
（大学全体の収容定員に応じた教員数）	―	―	―	―	―	66	33	―	―	―	
その他の組織等（大学教育イノベーションセンター）	1	2	0	0	3	－	―	―	70	―	
その他の組織等（言語教育研究センター）	6	1	1	7	15	－	―	―	0	―	
計	244 人	251 人	17 人	190 人	702 人	501 人	175 人	1 人	488 人	152 人	

大学院課程

研究科・専攻等の名称	研究指導教員及び研究指導補助教員 研究指導教員	うち教授数	研究指導補助教員	計	研究指導教員基準数	うち教授数	研究指導補助教員基準数	基準数計	助手	非常勤教員	備　考
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
多文化社会学研究科											
多文化社会学専攻（M）	30	13	1	31	3	2	3	6	0	4	
多文化社会学専攻（D）	30	16	0	30	3	2	3	6	0		
経済学研究科											
経済経営政策専攻（M）	33	14	5	38	5	4	4	9	0	1	
経営意思決定専攻（D）	13	9	11	24	5	4	4	9	0		
工学研究科											
総合工学専攻（M）	85	33	2	87	32	22	0	32	0	25	
生産システム工学専攻（D）	68	29	2	70	5	4	2	7	0		
グリーンシステム創成科学専攻（D）	26	13	1	27	4	3	3	7	0		
水産・環境科学総合研究科											
水産学専攻（M）	31	14	0	31	5	4	1	6	0	1	
環境科学専攻（M）	40	18	0	40	4	3	3	7	0		
環境海洋資源学専攻（D）	50	26	13	63	4	3	4	8	0		
海洋フィールド生命科学専攻（D）	17	15	1	18	4	3	4	8	0		
医歯薬学総合研究科											
保健学専攻（M）	32	20	5	37	6	4	6	12	0	32	
災害・被ばく医療科学共同専攻（M）	13	10	1	14	3	2	3	6	0		
生命薬科学専攻（M）	27	13	6	33	8	6	6	14	0		
医療科学専攻（D）	124	77	28	152	48	－	48	96	0		
新興感染症病態制御学系専攻（D）	30	22	3	33					0		
放射線医療科学専攻（D）	7	5	4	11					0		
先進予防医学共同専攻（D）	16	9	5	21	10	－	9	19	0		
生命薬科学専攻（D）	22	10	4	26	8	6	6	14	0		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科											
グローバルヘルス専攻（M）	54	31	0	54	7	5	5	12	0	24	
グローバルヘルス専攻（D）	27	10	0	27	6	4	6	12	0		
長崎大学−ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（D）	27	10	0	27	6	4	6	12	0		
計	802 人	417 人	92 人	894 人	176 人	85 人	126 人	302 人		87 人	

専門職学位課程

研究科・専攻等の名称	専任教員 専任教員	うち教授数	うち実務家専任教員数	うちみなし専任教員数	基準数	うち教授数	うち実務家教員数	うちみなし教員数	助手	非常勤教員	備　考
教育学研究科	人	人	人	人	人	人	人	人		人	
教職実践専攻	32	17	13	6	32	16	13	9	0	4	
計	32 人	17 人	13 人	6 人	32 人	16 人	13 人	9 人		0 人	

区　分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備　考
校舎敷地面積（片淵キャンパス）	―	32,121 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	32,121 ㎡	
校舎敷地面積（坂本1キャンパス）	―	50,161 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	50,161 ㎡	
校舎敷地面積（坂本2キャンパス）	―	58,627 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	58,627 ㎡	
校舎敷地面積（文教町2キャンパス）	―	129,504 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	129,504 ㎡	

校地等	校舎敷地面積（時津町キャンパス）	—		1,680	㎡	0	㎡	0	㎡	1,680	㎡	
	校舎敷地面積計	—		272,093	㎡	0	㎡	0	㎡	272,093	㎡	
	運動場用地（片淵キャンパス）	—		13,672	㎡	0	㎡	0	㎡	13,672	㎡	
	運動場用地（坂本1キャンパス）	—		20,166	㎡	0	㎡	0	㎡	20,166	㎡	
	運動場用地（文教町1キャンパス）	—		24,901	㎡	0	㎡	0	㎡	24,901	㎡	
	運動場用地（文教町2キャンパス）	—		37,200	㎡	0	㎡	0	㎡	37,200	㎡	
	運動場用地（柳谷町キャンパス）	—		2,132	㎡	0	㎡	0	㎡	2,132	㎡	
	運動場用地（島原キャンパス）	—		12,748	㎡	0	㎡	0	㎡	12,748	㎡	
	運動場用地計	—		110819	㎡	0	㎡	0	㎡	110,819	㎡	
	校地面積計	184,439	㎡	382,912	㎡	0		0		382,912	㎡	
	その他（片淵キャンパス）	—		5,930	㎡	0	㎡	0	㎡	5,930	㎡	緑地、道路、駐車場　他
	その他（坂本1キャンパス）	—		21,849	㎡	0	㎡	0	㎡	21,849	㎡	附置研究所、緑地、道路、駐車場　他
	その他（坂本2キャンパス）	—		28,180	㎡	0	㎡	0	㎡	28,180	㎡	寄宿舎、緑地、道路、駐車場　他
	その他（文教町1キャンパス）	—		26,284	㎡	0	㎡	0	㎡	26,284	㎡	附属学校
	その他（文教町2キャンパス）	—		20,421	㎡	0	㎡	0	㎡	20,421	㎡	緑地、道路、駐車場　他
	その他（西町キャンパス）	—		6,052	㎡	0	㎡	0	㎡	6,052	㎡	寄宿舎、職員宿舎
	その他（銭座キャンパス）	—		48	㎡	0	㎡	0	㎡	48	㎡	管理施設
	その他（上西山町1キャンパス）	—		713	㎡	0	㎡	0	㎡	713	㎡	職員宿舎
	その他（白鳥町1キャンパス）	—		3,618	㎡	0	㎡	0	㎡	3,618	㎡	職員宿舎
	その他（立岩町キャンパス）	—		1,677	㎡	0	㎡	0	㎡	1,677	㎡	職員宿舎
	その他（柳谷町キャンパス）	—		10,397	㎡	0	㎡	0	㎡	10,397	㎡	附属学校
	その他（野母崎町2キャンパス）	—		15,899	㎡	0	㎡	0	㎡	15,899	㎡	緑地、道路、駐車場　他
	その他（島原キャンパス）	—		107,538	㎡	0	㎡	0	㎡	107,538	㎡	緑地、道路、駐車場　他
	その他（平野町キャンパス）	—		326	㎡	0	㎡	0	㎡	326	㎡	職員宿舎
	その他（上西山町3キャンパス）	—		190	㎡	0	㎡	0	㎡	190	㎡	職員宿舎
	その他（中川1キャンパス）	—		614	㎡	0	㎡	0	㎡	614	㎡	職員宿舎
	その他（中川2キャンパス）	—		1,681	㎡	0	㎡	0	㎡	1,681	㎡	職員宿舎
	その他（多以良町キャンパス）	—		10,900	㎡	0	㎡	0	㎡	10,900	㎡	緑地、道路、駐車場　他
	その他（坂本3キャンパス）	—		1,055	㎡	0	㎡	0	㎡	1,055	㎡	職員宿舎
	その他（滑石キャンパス）	—		1,614	㎡	0	㎡	0	㎡	1,614	㎡	職員宿舎
	その他（長与キャンパス）	—		11,849	㎡	0	㎡	0	㎡	11,849	㎡	職員宿舎
	その他（白鳥町2キャンパス）	—		3,142	㎡	0	㎡	0	㎡	3,142	㎡	職員宿舎
	その他	—		279,977	㎡	0	㎡	0	㎡	279,977	㎡	

施設・設備等	区　分	基準面積		専用		共用		共用する他の学校等の専用		計	
	校舎面積（片淵キャンパス）	—		13,370	㎡	0	㎡	0	㎡	13,370	㎡
	校舎面積（坂本1キャンパス）	—		24,653	㎡	0	㎡	0	㎡	24,653	㎡
	校舎面積（坂本2キャンパス）	—		51,710	㎡	0	㎡	0	㎡	51,710	㎡
	校舎面積（文教町2キャンパス）	—		97,225	㎡	0	㎡	0	㎡	97,225	㎡
	校舎面積（多以良町キャンパス）	—		769	㎡	0	㎡	0	㎡	769	㎡
	校舎面積（新宿キャンパス）	—		122	㎡	0	㎡	0	㎡	122	㎡
	校舎面積（薩摩川内キャンパス）	—		144	㎡	0	㎡	0	㎡	144	㎡
	校舎面積計	127,009	㎡	187,993	㎡	0	㎡	0	㎡	187,993	㎡

校舎等	教員研究室	学部・研究科等の名称	室　数
		多文化社会学部、多文化社会学研究科	31 室
		教育学部、教育学研究科	81
		経済学部、経済学研究科	71
		医学部、歯学部、薬学部、医歯薬学総合研究科	359
		工学部、工学研究科	92
		情報データ科学部	66
		環境科学部、水産学部、水産・環境科学総合研究科	72
		熱帯医学・グローバルヘルス研究科	10
		附置研究所他	159

教室等施設	区　分	講義室		演習室		実験演習室		情報処理学習施設		語学学習施設	
	片淵キャンパス教室等施設	6	室	39	室	0	室	3	室	1	室
	坂本1キャンパス教室等施設	2		40		58		4		0	
	坂本2キャンパス教室等施設	19		39		103		5		0	
	文教町2キャンパス教室等施設	80		103		320		8		4	
	多以良キャンパス教室等施設	1		0		1		0		0	
	サテライトキャンパス等	2		2		0		0		0	

図書館・図書資料等	図書館等の名称	面積		閲覧座席数	
	附属図書館本館	6,304	㎡	818	席
	附属図書館医学分館	2,696		316	
	附属図書館経済学部分館	1,758		225	
	サテライトキャンパス				

図書館・図書資料等	図書館等の名称	図書〔うち外国書〕		学術雑誌〔うち外国書〕		電子ジャーナル〔うち国外〕	
	附属図書館本館	587,251	〔138,234〕 冊	14,689	〔3,312〕 冊	22,400	〔21,032〕 種
	附属図書館医学分館	149,847	〔 71,109〕	7,135	〔3,208〕	0	〔 0 〕
	附属図書館経済学部分館	278,160	〔 83,910〕	4947	〔1,152〕	0	〔 0 〕
	サテライトキャンパス		〔 〕		〔 〕		〔 〕
	計	1,015,258	〔 293,253〕	24,891	〔7,262〕	22,400	〔21,032〕

体育館	面積	
片淵キャンパス	1,078	㎡
坂本1キャンパス	2,082	㎡
坂本2キャンパス	1,989	㎡
文教町2キャンパス	3,456	㎡
島原キャンパス	942	㎡

［注］

1　学部・学科、大学院研究科・専攻、別科・専攻科、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。

2　教育研究組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の３の２）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」に
そのことがわかるよう記載するとともに、備考欄に、①連携する学部や研究科、②どの学部や研究科から何名の教員が当該課程に
所属しているか、を明記してください。

3　教育研究組織の欄に、専門職学科（大学設置基準第10章）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」や「備考欄」
にそのことがわかるよう記載してください。

4　教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、
「別科・専攻科等」の欄に記載してください。

5　所在地について、２以上の校地において行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「○○キャンパス」
と記載してください。

6　教員組織の欄には、教育研究組織の欄で記載した組織単位で専任教員等及び非常勤教員の数を記入してください。その際、専門職学科等を
設置していない場合は「学士課程」、専門職学科等を設置している場合は「学士課程（専門職学科等含む）」の欄を使用してください。

7　上記４に記載した、学部教育を担当する独立の組織がある場合には､組織名は、「学部・学科等の名称」の欄に「その他の組織等（○○）」と
記載し、専任教員等及び非常勤教員の数を記載してください。
なお、その場合は、「基準数（及び「教授数」）」及び「専任教員一人あたりの在籍学生数」の欄は 「―」としてください。

8　教員組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の３の２）に関する記載をする際には、「学士課程」または「学士課程（専門職学科等含む）」
の「備考」欄に学部等連携課程としての専任教員数や所属組織等を記入してください。

9　専任教員数の記入に際しては、休職、サバティカル制度等により一時的に大学を離れている場合も専任教員に算入してください。
ただし、大学設置基準第11条における「授業を担当しない教員」は含めないでください。

10　「非常勤教員」の欄には、客員教員や特任教員等で専任の教員は含みません。

11　他の学部・学科等に所属する専任の教員であって、当該学部・学科等の授業科目を担当する教員（兼担）は、
「非常勤教員」の欄には含めないでください。また、「専任教員等」の各欄にも含めないでください。

12　専任教員、研究指導教員及び研究指導補助教員の基準数については、それぞれ以下に定める教員数を記載してください。
・大学設置基準第１3条別表第一及び別表第二(備考に規定する事項を含む。)
・大学通信教育設置基準第９条別表第一(備考に規定する事項を含む。)
・大学院設置基準第９条の規定に基づく「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示第175号）
別表第一、別表第二及び別表第三(備考に規定する事項を含む。)
・「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第１条及び第２条

13　「うち実務家専任教員数」「うちみなし専任教員数」の欄については、大学設置基準第42条の６、並びに「専門職大学院に関し必要な事項に
ついて定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第２条に定める実務の経験及び高度の実務の能力を有する専任教員（実務家専任教員）、
及び学士課程（専門職学科等）においては、１年につき６単位以上、専門職学位課程においては１年につき４単位以上の授業科目を担当し、
教育課程の編成その他組織の運営に責任を担う専任教員以外の者（みなし専任教員）の教員数を記入してください。

14　「学士課程（専門職学科等含む）」のうち、「○○学部○○専門職学科」以外の学科・課程においては、 「うち実務家教員数」、
「うち2項該当数」、「うちみなし専任教員数」の欄は「－」としてください。

15　「学士課程」または「学士課程（専門職学科等）」のうち、薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の
学部・学科等については、「専任教員等」欄に記入した専任教員のうちの実務家教員の数を「備考欄」に記入してください。
実務家教員中にみなし専任教員がいる場合は、さらにその内数を実務家教員の数に（　）で添えて記入してください。
なお、ここにいう「実務家教員」及び「みなし専任教員」については、それぞれ「大学設置基準別表第一イ備考第九号の規定に基づき
薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部に係る専任教員について定める件」（平成16年文部科学省告示第175号）
第１項及び同第２項に定める教員を指します。

16　「専任教員１人あたりの在籍学生数」の欄には、様式２の在籍学生数／本表の専任教員数計により、算出してください。

17　「校舎敷地面積」、「運動場用地」の欄は、大学設置基準上算入できるものを含めてください。

18　寄宿舎その他大学の附属病院以外の附属施設（大学設置基準第39条第１項を参照）用地、附置研究所用地、駐車場、大学生協用地など
大学設置基準上「校地」に算入できない面積は「校地等」の「その他」の欄に記入してください。

19　「校舎面積計」の欄は、学校基本調査の学校施設調査票（様式第20号）における学校建物の用途別面積の「校舎」の面積の合計
としてください。

20　校地面積、校舎面積の「専用」の欄には、当該大学が専用で使用する面積を記入してください。「共用」の欄には、当該大学が
他の学校等と共用する面積を記入してください。「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該大学の敷地を共用する他の学校等が
専用で使用する敷地面積を記入してください。

21　「基準面積」の欄は、大学設置基準第37条における「大学における校地」の面積（附属病院以外の附属施設用地及び寄宿舎の面積を除く。）
または大学通信教育設置基準第10条の校舎等の施設の面積としてください。

22　「教員研究室」の欄は、専任教員数に算入していない教員の研究室は記入する必要はありません。なお、複数の助教等が共同して
１室で執務する場合は、教員数を室数に換算してください。

認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式２（令和4年5月１日現在）

学部名	学科名	項目	30年度	31年度	02年度	03年度	04年度	入学定員に対する平均比率	備　考
多文化社会学部	多文化社会学科	志願者数	224	339	290	283	270		
		合格者数	122	118	114	117	118		
		入学者数	103	106	101	105	101	103%	
		入学定員	100	100	100	100	100		
		入学定員充足率	103%	106%	101%	105%	101%		
		在籍学生数	408	435	448	448	442		
		収容定員	400	400	400	400	400		
		収容定員充足率	102%	109%	112%	112%	111%		
多文化社会学部合計		志願者数	224	339	290	283	270		
		合格者数（H）	122	118	114	117	118		
		入学者数（I）	103	106	101	105	101	103%	
		入学定員（J）	100	100	100	100	100		
		入学定員充足率（I/J）	103%	106%	101%	105%	101%		
		在籍学生数（K）	408	435	448	448	442		
		収容定員（L）	400	400	400	400	800		
		収容定員充足率（K/L）	102%	109%	112%	112%	55%		
教育学部	学校教員養成課程	志願者数	624	764	629	418	409		（R2入定減） ※▲60（240→180）
		合格者数	249	245	185	183	184		
		入学者数	241	242	180	180	180	100%	
		入学定員	240	240	180	180	180		
		入学定員充足率	100%	101%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	982	983	929	856	796		
		収容定員	960	960	900	840	780		
		収容定員充足率	102%	102%	103%	102%	102%		
教育学部合計		志願者数	624	764	629	418	409		
		合格者数（H）	249	245	185	183	184		
		入学者数（I）	241	242	180	180	180	100%	
		入学定員（J）	240	240	180	180	180		
		入学定員充足率（I/J）	100%	101%	100%	100%	100%		
		在籍学生数（K）	982	983	929	856	796		
		収容定員（L）	960	960	900	840	780		
		収容定員充足率（K/L）	102%	102%	103%	102%	102%		
経済学部	総合経済学科（昼間）	志願者数	757	760	788	655	754		
		合格者数	302	306	296	293	297		
		入学者数	275	276	271	265	265	102%	
		入学定員	265	265	265	265	265		
		入学定員充足率	104%	104%	102%	100%	100%		
		在籍学生数	1,165	1,166	1,152	1,143	1,146		
		収容定員	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080		
		収容定員充足率	108%	108%	107%	106%	106%		
	総合経済学科（夜間）	志願者数	92	132	119	121	151		
		合格者数	72	75	77	79	82		
		入学者数	60	64	60	60	62	102%	
		入学定員	60	60	60	60	60		
		入学定員充足率	100%	107%	100%	100%	103%		
		在籍学生数	288	290	278	276	289		
		収容定員	250	250	250	250	250		
		収容定員充足率	115%	116%	111%	110%	116%		
経済学部合計		志願者数	849	892	907	776	905		
		合格者数	374	381	373	372	379		
		入学者数（I）	335	340	331	325	327	102%	
		入学定員（J）	325	325	325	325	325		
		入学定員充足率（I/J）	103%	105%	102%	100%	101%		
		在籍学生数（K）	1,453	1,456	1,430	1,419	1,435		
		収容定員（L）	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330		
		収容定員充足率（K/L）	109%	109%	108%	107%	108%		
医学部	医学科	志願者数	624	492	380	501	547		
		合格者数	122	122	121	123	123		
		入学者数	120	120	120	120	120	100%	
		入学定員	120	120	120	120	120		
		入学定員充足率	100%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	775	771	765	772	775		
		収容定員	731	735	739	743	745		
		収容定員充足率	106%	105%	104%	104%	104%		
	保健学科	志願者数	420	531	519	445	224		（H30入定減） ※▲4（14→10）
		合格者数	122	116	119	121	119		
		入学者数	107	106	106	106	106	100%	
		入学定員	106	106	106	106	106		
		入学定員充足率	101%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	435	433	425	424	426		
		収容定員	448	444	444	444	444		
		収容定員充足率	97%	98%	96%	95%	96%		
医学部合計		志願者数	1,044	1,023	899	946	771		
		合格者数	244	238	240	244	242		
		入学者数（I）	227	226	226	226	226	100%	
		入学定員（J）	226	226	226	226	226		
		入学定員充足率（I/J）	100%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数（K）	1,210	1,204	1,190	1,196	1,201		
		収容定員（L）	1,179	1,179	1,183	1,187	1,189		
		収容定員充足率（K/L）	103%	102%	101%	101%	101%		

歯学部	歯学科	志願者数	304	339	254	311	261		
		合格者数	51	54	54	55	52		
		入学者数	50	50	50	50	50	100%	
		入学定員	50	50	50	50	50		
		入学定員充足率	100%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	313	309	308	311	313		
		収容定員	300	300	300	300	300		
		収容定員充足率	104%	103%	103%	104%	104%		
歯学部合計		志願者数	304	339	254	311	261		
		合格者数	51	54	54	55	52		
		入学者数（I）	50	50	50	50	50	100%	
		入学定員（J）	50	50	50	50	50		
		入学定員充足率（I/J）	100%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数（K）	313	309	308	311	313		
		収容定員（L）	300	300	300	300	300		
		収容定員充足率（K/L）	104%	103%	103%	104%	104%		
薬学部	薬学科	志願者数	353	282	213	375	352		
		合格者数	47	43	45	46	48		
		入学者数	44	40	44	40	40	104%	
		入学定員	40	40	40	40	40		
		入学定員充足率	110%	100%	110%	100%	100%		
		在籍学生数	257	252	250	251	248		
		収容定員	240	240	240	240	240		
		収容定員充足率	107%	105%	104%	105%	103%		
	薬科学科	志願者数	156	181	173	257	166		
		合格者数	58	65	62	50	48		
		入学者数	43	42	42	40	41	104%	
		入学定員	40	40	40	40	40		
		入学定員充足率	108%	105%	105%	100%	103%		
		在籍学生数	169	170	175	168	165		
		収容定員	160	160	160	160	160		
		収容定員充足率	106%	106%	109%	105%	103%		
薬学部合計		志願者数	509	463	386	632	518		
		合格者数	105	108	107	96	96		
		入学者数（I）	87	82	86	80	81	104%	
		入学定員（J）	80	80	80	80	80		
		入学定員充足率（I/J）	109%	103%	108%	100%	101%		
		在籍学生数（K）	426	422	425	419	413		
		収容定員（L）	400	400	400	400	400		
		収容定員充足率（K/L）	107%	106%	106%	105%	103%		
情報データ科学部	情報データ科学	志願者数			377	254	381		（R2.4設置）
		合格者数			120	119	124		
		入学者数			116	111	113	103%	
		入学定員			110	110	110		
		入学定員充足率			105%	101%	103%		
		在籍学生数			116	226	339		
		収容定員			110	220	330		
		収容定員充足率			105%	103%	103%		
情報データ科学部合計		志願者数	0	0	377	254	381		
		合格者数	0	0	120	119	124		
		入学者数（I）	0	0	116	111	113		
		入学定員（J）	0	0	110	110	110	103%	
		入学定員充足率（I/J）			105%	101%	103%		
		在籍学生数（K）	0	0	116	226	339		
		収容定員（L）	0	0	110	220	330		
		収容定員充足率（K/L）			105%	103%	103%		
工学部	工学科	志願者数	1,110	1039	853	793	1,024		（R2入定減） ※▲50（380→
		合格者数	447	444	364	372	368		
		入学者数	402	395	330	333	330	102%	
		入学定員	380	380	330	330	330		
		入学定員充足率	106%	104%	100%	101%	100%		
		在籍学生数	1,659	1,649	1,585	1,521	1,451		
		収容定員	1,520	1,520	1,470	1,420	1,370		
		収容定員充足率	109%	108%	108%	107%	106%		
工学部合計		志願者数	1,110	1,039	853	793	1,024		
		合格者数	447	444	364	372	368		
		入学者数（I）	402	395	330	333	330	102%	
		入学定員（J）	380	380	330	330	330		
		入学定員充足率（I/J）	106%	104%	100%	101%	100%		
		在籍学生数（K）	1,659	1,649	1,585	1,521	1,451		
		収容定員（L）	1,520	1,520	1,470	1,420	1,370		
		収容定員充足率（K/L）	109%	108%	108%	107%	106%		

環境科学部	環境科学科	志願者数	516	461	376	275	398		
		合格者数	150	151	146	141	148		
		入学者数	139	131	136	130	133	103%	
		入学定員	130	130	130	130	130		
		入学定員充足率	107%	101%	105%	100%	102%		
		在籍学生数	568	569	579	561	566		
		収容定員	530	530	530	530	530		
		収容定員充足率	107%	107%	109%	106%	107%		
環境科学部合計		志願者数	516	461	376	275	398		
		合格者数	150	151	146	141	148		
		入学者数（I）	139	131	136	130	133	103%	
		入学定員（J）	130	130	130	130	130		
		入学定員充足率（I/J）	107%	101%	105%	100%	102%		
		在籍学生数（K）	568	569	579	561	566		
		収容定員（L）	530	530	530	530	530		
		収容定員充足率（K/L）	107%	107%	109%	106%	107%		
水産学部	水産学科	志願者数	554	474	437	304	373		
		合格者数	126	123	120	121	125		
		入学者数	118	113	112	115	119	105%	
		入学定員	110	110	110	110	110		
		入学定員充足率	107%	103%	102%	105%	108%		
		在籍学生数	481	476	478	473	463		
		収容定員	440	440	440	440	440		
		収容定員充足率	109%	108%	109%	108%	105%		
水産学部合計		志願者数	554	474	437	304	373		
		合格者数	126	123	120	121	125		
		入学者数（I）	118	113	112	115	119	105%	
		入学定員（J）	110	110	110	110	110		
		入学定員充足率（I/J）	107%	103%	102%	105%	108%		
		在籍学生数（K）	481	476	478	473	463		
		収容定員（L）	440	440	440	440	440		
		収容定員充足率（K/L）	109%	108%	109%	108%	105%		

多文化社会学研究科	（多文化社会学専攻博士前期課程）	志願者数	25	23	25	18	14		（H30.4設置） （R02.4課程変更） ※修士課程→博士前期課程
		合格者数	12	12	13	12	11		
		入学者数	11	10	10	10	10	102%	
		入学定員	10	10	10	10	10		
		入学定員充足率	110%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数	11	21	22	22	22		
		収容定員	10	20	20	20	20		
		収容定員充足率	110%	105%	110%	110%	110%		
	（多文化社会学専攻博士後期課程）	志願者数			12	7	8		（R2.4設置）
		合格者数			5	3	3		
		入学者数			4	3	3	111%	
		入学定員			3	3	3		
		入学定員充足率			133%	100%	100%		
		在籍学生数			4	7	10		
		収容定員			3	6	9		
		収容定員充足率			133%	117%	111%		
多文化社会学研究科合計		志願者数	25	23	37	25	22		
		合格者数	12	12	18	15	14		
		入学者数（I）	11	10	14	13	13	104%	
		入学定員（J）	10	10	13	13	13		
		入学定員充足率（I/J）	110%	100%	108%	100%	100%		
		在籍学生数（K）	11	21	26	29	32		
		収容定員（L）	10	20	23	26	29		
		収容定員充足率（K/L）	110%	105%	113%	112%	110%		
教育学研究科	（教職実践専攻（専門職学位課程））	志願者数	19	41	43	35	36		（H30入定減） ※▲10（38→28）
		合格者数	17	35	39	27	29		
		入学者数	15	32	36	27	27	98%	
		入学定員	28	28	28	28	28		
		入学定員充足率	54%	114%	129%	96%	96%		
		在籍学生数	44	51	58	52	53		
		収容定員	66	56	56	56	56		
		収容定員充足率	67%	91%	104%	93%	95%		
教育学研究科合計		志願者数	19	41	43	35	36		
		合格者数	17	35	39	27	29		
		入学者数（I）	15	32	36	27	27	98%	
		入学定員（J）	28	28	28	28	28		
		入学定員充足率（I/J）	54%	114%	129%	96%	96%		
		在籍学生数（K）	44	51	58	52	53		
		収容定員（L）	66	56	56	56	56		
		収容定員充足率（K/L）	67%	91%	104%	93%	95%		
経済学研究科	（経済経営政策専攻博士前期課程）	志願者数	27	20	16	20	19		
		合格者数	19	16	14	13	12		
		入学者数	17	16	11	11	11	88%	
		入学定員	15	15	15	15	15		
		入学定員充足率	113%	107%	73%	73%	73%		
		在籍学生数	34	35	30	25	28		
		収容定員	30	30	30	30	30		
		収容定員充足率	113%	117%	100%	83%	93%		
	（経営意思決定専攻博士後期課程）	志願者数	5	4	2	5	2		
		合格者数	4	3	2	3	2		
		入学者数	3	3	2	2	2	80%	
		入学定員	3	3	3	3	3		
		入学定員充足率	100%	100%	67%	67%	67%		
		在籍学生数	15	13	13	13	13		
		収容定員	9	9	9	9	9		
		収容定員充足率	167%	144%	144%	144%	144%		
経済学研究科合計		志願者数	32	24	18	25	21		
		合格者数	23	19	16	16	14		
		入学者数（I）	20	19	13	13	13	87%	
		入学定員（J）	18	18	18	18	18		
		入学定員充足率（I/J）	111%	106%	72%	72%	72%		
		在籍学生数（K）	49	48	43	38	41		
		収容定員（L）	39	39	39	39	39		
		収容定員充足率（K/L）	126%	123%	110%	97%	105%		

工学研究科	総合工学専攻（博士前期課程）	志願者数	242	252	255	268	265		１０月入学あり
		合格者数	240	234	227	234	238		
		入学者数	227	224	210	203	223	99%	
		入学定員	220	220	220	220	220		
		入学定員充足率	103%	102%	95%	92%	101%		
		在籍学生数	454	457	439	414	435		
		収容定員	440	440	440	440	440		
		収容定員充足率	103%	104%	100%	94%	99%		
	生産システム工学専攻（博士後期課程）	志願者数	15	15	14	19	8		１０月入学あり
		合格者数	15	15	14	19	8		
		入学者数	14	13	13	18	8	88%	
		入学定員	15	15	15	15	15		
		入学定員充足率	93%	87%	87%	120%	53%		
		在籍学生数	53	48	44	53	49		
		収容定員	45	45	45	45	45		
		収容定員充足率	118%	107%	98%	118%	109%		
	創成科学専攻（５年一貫）	志願者数	6	1	4	3	5		
		合格者数	4	1	4	3	5		
		入学者数	4	1	4	1	5	60%	
		入学定員	5	5	5	5	5		
		入学定員充足率	80%	20%	80%	20%	100%		
		在籍学生数	19	16	16	11	14		
		収容定員	25	25	25	25	25		
		収容定員充足率	76%	64%	64%	44%	56%		
工学研究科合計		志願者数	263	268	273	290	278		
		合格者数	259	250	245	256	251		
		入学者数（I）	245	238	227	222	236	97%	
		入学定員（J）	240	240	240	240	240		
		入学定員充足率（I/J）	102%	99%	95%	93%	98%		
		在籍学生数（K）	526	521	499	478	498		
		収容定員（L）	510	510	510	510	510		
		収容定員充足率（K/L）	103%	102%	98%	94%	98%		
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻（博士前期課程）	志願者数	37	39	34	56	56		１０月入学あり
		合格者数	35	37	27	42	47		
		入学者数	31	35	24	36	45	98%	
		入学定員	35	35	35	35	35		
		入学定員充足率	89%	100%	69%	103%	129%		
		在籍学生数	63	68	62	66	85		
		収容定員	70	70	70	70	70		
		収容定員充足率	90%	97%	89%	94%	121%		
	環境科学専攻（博士前期課程）	志願者数	23	32	27	46	22		（H27.4設置） ※環境系2専攻→1専攻 １０月入学あり
		合格者数	23	31	26	33	21		
		入学者数	20	29	22	28	18	94%	
		入学定員	25	25	25	25	25		
		入学定員充足率	80%	116%	88%	112%	72%		
		在籍学生数	41	50	52	51	48		
		収容定員	50	50	50	50	50		
		収容定員充足率	82%	100%	104%	102%	96%		
	環境海洋資源学専攻（博士後期課程）	志願者数	9	10	16	9	9		１０月入学あり
		合格者数	9	10	15	9	9		
		入学者数	9	10	11	12	6	80%	
		入学定員	12	12	12	12	12		
		入学定員充足率	75%	83%	92%	100%	50%		
		在籍学生数	49	41	39	40	39		
		収容定員	36	36	36	36	36		
		収容定員充足率	136%	114%	108%	111%	108%		
	海洋生命科学専攻（博士５年一貫課程）	志願者数	4	0	0	0	-		
		合格者数	4	0	0	0	-		
		入学者数	2	0	0	0	-	10%	
		入学定員	5	5	5	5	-		
		入学定員充足率	40%	0%	0%	0%	-		
		在籍学生数	11	12	7	3	3		
		収容定員	25	25	25	25	20		
		収容定員充足率	44%	48%	28%	12%	15%		
水産・環境科学総合研究科合計		志願者数	73	81	77	111	87		
		合格者数	71	78	68	84	77		
		入学者数（I）	62	74	57	76	69	89%	
		入学定員（J）	77	77	77	77	72		
		入学定員充足率（I/J）	81%	96%	74%	99%	96%		
		在籍学生数（K）	164	171	160	160	175		
		収容定員（L）	181	181	181	181	176		
		収容定員充足率（K/L）	91%	94%	88%	88%	99%		
医	保健学専攻（修士課程）	志願者数	29	33	37	38	46		（R3入定増） ※＋10（20→30）
		合格者数	23	23	22	34	30		
		入学者数	23	22	22	33	30	109%	
		入学定員	20	20	20	30	30		
		入学定員充足率	115%	110%	110%	110%	100%		
		在籍学生数	46	48	45	55	65		
		収容定員	40	40	40	40	60		
		収容定員充足率	115%	120%	113%	138%	108%		
	災害医療科学共同専攻（修士課程）	志願者数	11	13	10	11	3		（H28.4設置） １０月入学あり
		合格者数	10	13	9	11	3		
		入学者数	10	13	9	10	3	90%	
		入学定員	10	10	10	10	10		
		入学定員充足率	100%	130%	90%	100%	30%		
		在籍学生数	13	19	23	19	19		
		収容定員	20	20	20	20	20		
		収容定員充足率	65%	95%	115%	95%	95%		
	医療科学専攻（博士課程）	志願者数	70	75	81	70	70		１０月入学あり
		合格者数	66	70	75	70	68		
		入学者数	66	70	75	68	69	116%	
		入学定員	60	60	60	60	60		
		入学定員充足率	110%	117%	125%	113%	115%		
		在籍学生数	384	382	381	369	383		
		収容定員	244	240	240	240	240		
		収容定員充足率	157%	159%	159%	154%	160%		

歯薬学総合研究科	新興感染症病態制御学専攻（博士課程）	志願者数	19	10	21	14	11	１０月入学あり
		合格者数	19	9	20	14	11	
		入学者数	19	9	19	15	10	72%
		入学定員	20	20	20	20	20	
		入学定員充足率	95%	45%	95%	75%	50%	
		在籍学生数	110	99	98	86	75	
		収容定員	80	80	80	80	80	
		収容定員充足率	138%	124%	123%	108%	94%	
	放射線医療科学専攻（博士課程）	志願者数	5	6	7	7	1	１０月入学あり
		合格者数	5	6	7	7	1	
		入学者数	5	6	6	8	1	104%
		入学定員	5	5	5	5	5	
		入学定員充足率	100%	120%	120%	160%	20%	
		在籍学生数	20	22	26	30	29	
		収容定員	26	20	20	20	20	
		収容定員充足率	77%	110%	130%	150%	145%	
	先進予防医学共同専攻（博士課程）	志願者数	11	8	14	14	4	H28.4設置 １０月入学あり
		合格者数	11	8	14	14	4	
		入学者数	11	8	14	14	4	
		入学定員	10	10	10	10	10	102%
		入学定員充足率	110%	80%	140%	140%	40%	
		在籍学生数	27	37	43	47	45	
		収容定員	20	40	40	40	40	
		収容定員充足率	135%	93%	108%	118%	113%	
	生命薬科学専攻（博士前期課程）	志願者数	35	32	31	37	40	１０月入学あり
		合格者数	34	32	31	37	36	
		入学者数	32	28	30	34	32	87%
		入学定員	36	36	36	36	36	
		入学定員充足率	89%	78%	83%	94%	89%	
		在籍学生数	66	60	61	63	69	
		収容定員	72	72	72	72	72	
		収容定員充足率	92%	83%	85%	88%	96%	
	生命薬科学専攻（博士後期課程）	志願者数	3	5	8	11	4	１０月入学あり
		合格者数	3	4	8	11	4	
		入学者数	2	4	8	11	4	58%
		入学定員	10	10	10	10	10	
		入学定員充足率	20%	40%	80%	110%	40%	
		在籍学生数	22	15	14	24	24	
		収容定員	30	30	30	30	30	
		収容定員充足率	73%	50%	47%	80%	80%	
医歯薬学総合研究科合計		志願者数	183	182	209	202	179	
		合格者数	171	165	186	198	157	
		入学者数（I）	168	160	183	193	153	98%
		入学定員（J）	171	171	171	181	181	
		入学定員充足率（I/J）	98%	94%	107%	107%	85%	
		在籍学生数（K）	688	682	691	693	709	
		収容定員（L）	532	542	542	542	562	
		収容定員充足率（K/L）	129%	126%	127%	128%	126%	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻（博士前期課程）	志願者数	54	51	51	39	19	H27.4設置 （H29入定増） ※＋10（27→37） （R02.4課程変更） ※修士課程→博士前期課程 10月入学
		合格者数	41	38	40	34	12	
		入学者数	38	35	35	38		
		入学定員	37	37	37	37	37	79%
		入学定員充足率	103%	95%	95%	103%	0%	
		在籍学生数	58	67	72	84	79	
		収容定員	62	62	62	62	62	
		収容定員充足率	94%	108%	116%	135%	127%	
	グローバルヘルス専攻（博士後期課程）	志願者数	7	5	9	9		H30.4設置 10月入学
		合格者数	7	5	6	6		
		入学者数	6	4	5	6		
		入学定員	5	5	5	5	5	84%
		入学定員充足率	120%	80%	100%	120%	0%	
		在籍学生数	0	6	10	18	18	
		収容定員	5	10	15	15	15	
		収容定員充足率	0%	60%	67%	120%	120%	
	LSHTM国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）	志願者数	13	28	11	9	12	H30.4設置 10月入学
		合格者数	6	6	5	7	6	
		入学者数	5	5	5	5		
		入学定員	5	5	5	5	5	80%
		入学定員充足率	100%	100%	100%	100%	0%	
		在籍学生数	0	5	10	20	18	
		収容定員	5	10	15	15	15	
		収容定員充足率	0%	50%	67%	133%	120%	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科合計		志願者数	74	84	71	57	31	
		合格者数	54	49	51	47	18	
		入学者数（I）	49	44	45	49	0	80%
		入学定員（J）	47	47	47	47	47	
		入学定員充足率（I/J）	104%	94%	96%	104%	0%	
		在籍学生数（K）	58	78	92	122	115	
		収容定員（L）	72	82	92	92	92	
		収容定員充足率（K/L）	81%	95%	100%	133%	125%	

＜編入学＞

学部名	学科名	項目	30年度	31年度	02年度	03年度	04年度	備　考
経済学部	総合経済学科（昼間）	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	9	11	9	9	10	
		入学定員（３年次）	10	10	10	10	10	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
	総合経済学科（夜間）	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	6	4	6	5	5	
		入学定員（３年次）	5	5	5	5	5	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
経済学部合計		入学者数（２年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（２年次）	0	0	0	0	0	
		入学者数（３年次）	15	15	15	14	15	
		入学定員（３年次）	15	15	15	15	15	
		入学者数（４年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（４年次）	0	0	0	0	0	
医学部	医学科	入学者数（２年次）	5	5	5	5	5	
		入学定員（２年次）	5	5	5	5	5	
		入学者数（３年次）						
		入学定員（３年次）						
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
	保健学科	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	6	0	1	0	1	
		入学定員（３年次）	10	10	10	10	10	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
医学部合計		入学者数（２年次）	5	5	5	5	5	
		入学定員（２年次）	5	5	5	5	5	
		入学者数（３年次）	6	0	1	0	1	
		入学定員（３年次）	10	10	10	10	10	
		入学者数（４年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（４年次）	0	0	0	0	0	
環境科学部	環境科学科	入学者数（２年次）						
		入学定員（２年次）						
		入学者数（３年次）	4	5	3	4	5	
		入学定員（３年次）	5	5	5	5	5	
		入学者数（４年次）						
		入学定員（４年次）						
環境科学部合計		入学者数（２年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（２年次）	0	0	0	0	0	
		入学者数（３年次）	4	5	3	4	5	
		入学定員（３年次）	5	5	5	5	5	
		入学者数（４年次）	0	0	0	0	0	
		入学定員（４年次）	0	0	0	0	0	

［注］
1　学生を募集している学部・学科（課程）、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
　なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
2　昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
3　学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
4　学部・学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
5　募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
6　入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
7　入学定員に対する平均比率は、過去５年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
8　最新年度の秋入学については別途確認します。
9　編入学の定員を設定している場合、上の表（〈編入学〉の表ではない方）の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。
10　博士前期課程を看護課程として、博士後期課程を医学課程としている博士課程については、博士前期課程と博士後期課程にそれぞれ分けて記入してください。